

# 中小企業の知財出願状況

平成26年5月16日

総務部普及支援課

## 目 次

1. 概観
2. 特許関連
3. 実用新案関連
4. 意匠関連
5. 商標関連
6. 海外出願関連

※使用している統計データは、特記しない限り筆頭出願人の情報に基づいている。  
なお、一部のスライドは2012年までの実績を使用。

# 1. 概観

## (1) 国内出願件数及び2013年の内国人出願件数に占める中小企業比率 (p4-7)

- ①特許：国内特許出願件数は2006年以降漸減傾向。しかし、中小企業に限ってみると2011年以降反転。出願件数に占める中小企業の割合は約12%。
- ②意匠：国内意匠登録出願は直近5年間(2009~13)は多少の増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移。中小企業の出願件数についても同様の傾向。出願件数に占める中小企業の割合は約36%。
- ③商標：国内商標登録出願も直近5年間(2009~13)は多少の増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移。中小企業の出願件数についても同様の傾向。出願件数に占める中小企業の割合は約53%。

※なお、件数ではなく、出願者数でみた場合、2013年の内国人の出願者数に占める中小企業の比率は、

①特許で57%、②意匠で57%、③商標64%であり、いずれも50%を超えている。

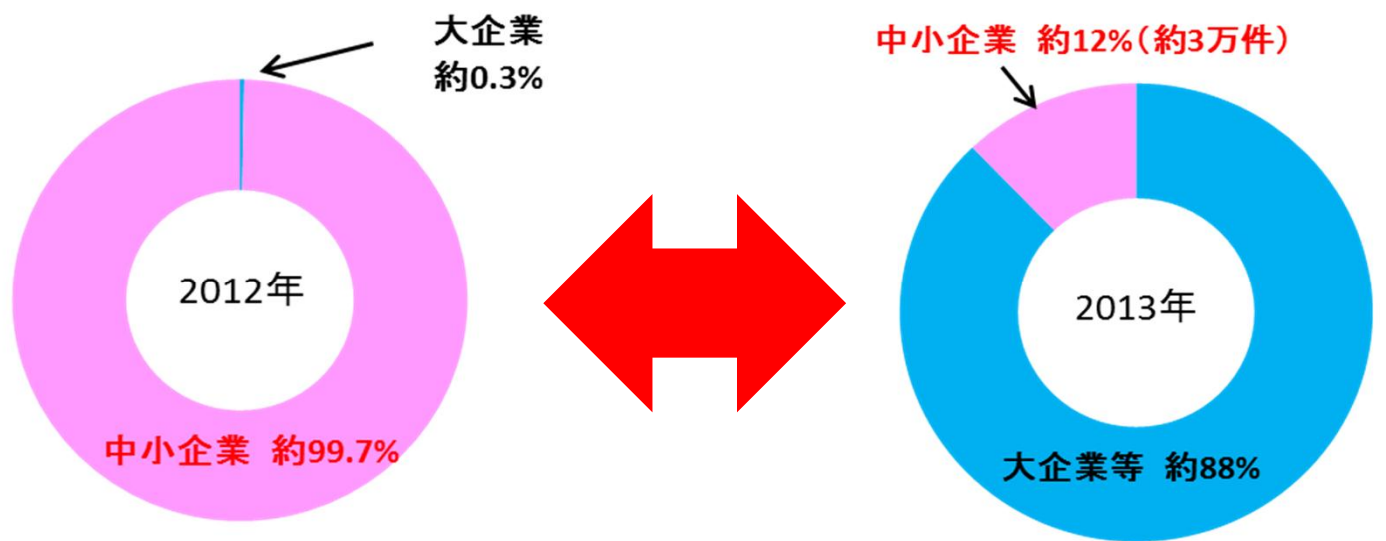
## (2) 中小企業の海外出願件数及び海外出願率 (海外出願件数／国内出願件数) (p8-9)

- ①特許：(全体の傾向と同様に) 中小企業の海外出願件数は2009年以降増加傾向。海外出願率については、中小企業では15%程度と、大企業の30%程度に比べて、まだ低い状況。
- ②商標：(全体の傾向と同様に) 中小企業の海外出願件数は増減あり。海外出願率については、中小企業では約2%と、大企業の約9%強と比べるとまだ低い状況。

# (1) 中小企業の出願～概要(特許)～

- 日本の中小企業数は、およそ385 万社と全企業数の99.7%以上を占め、イノベーションを促進させる上で中小企業の果たす役割は大きい。
- しかし、2013 年の内国人の特許出願件数に占める中小企業の割合は12%にすぎない。

## 【企業数、特許出願件数に占める中小企業の割合】



全企業数 約386万社

中小企業白書2014年版付属統計資料

内国人による特許出願件数 約27万件

総務部普及支援課調べ

### (参考)

日本の特許出願件数に占める  
中小企業・個人の割合は米国の  
の半分以下

日本 12%

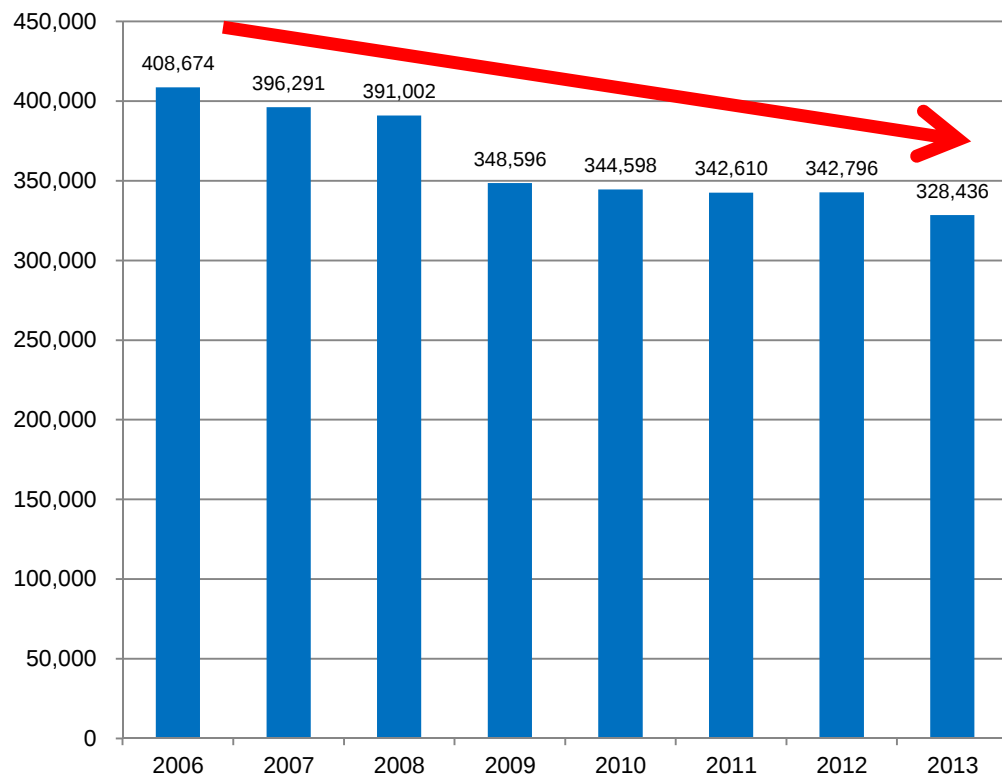
韓国 15%

米国 25%

## (2) 中小企業の出願～特許出願件数の推移～

- 国内の特許出願件数は、全体では2006年以降漸減傾向にある。
- しかし、中小企業による特許出願に限ってみると、2011年以降は反転している。

### 特許出願件数(全体)の推移



特許行政年次報告書2014年版（特許庁）

### 中小企業による特許出願件数の推移

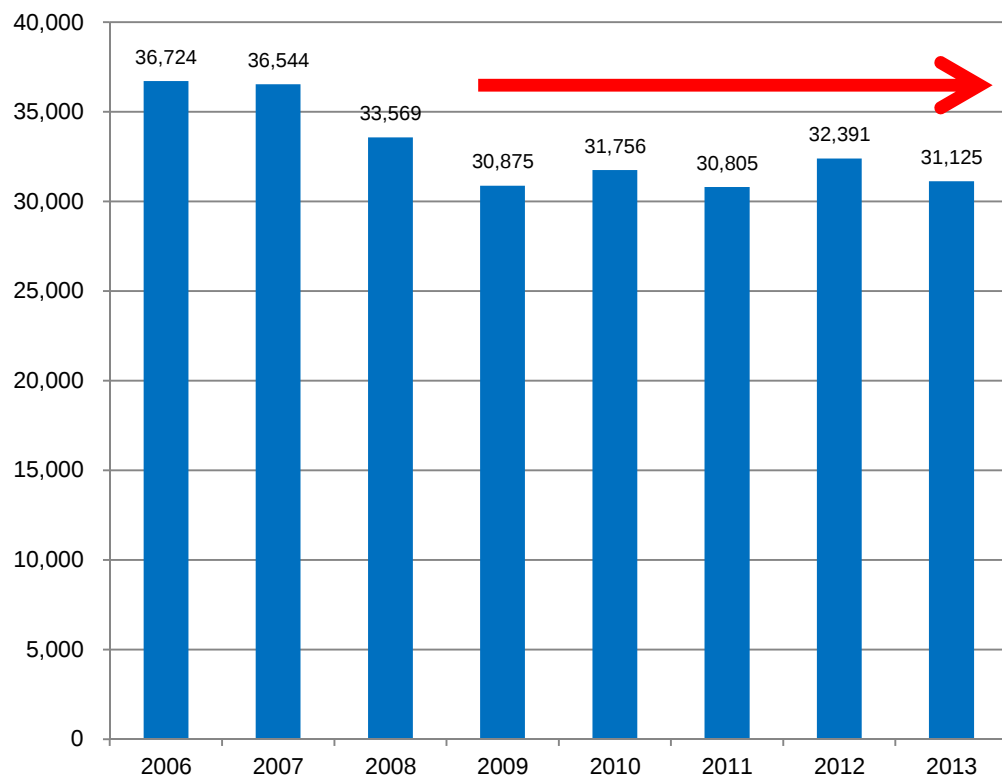


総務部普及支援課調べ

### (3) 中小企業の出願～意匠出願件数の推移～

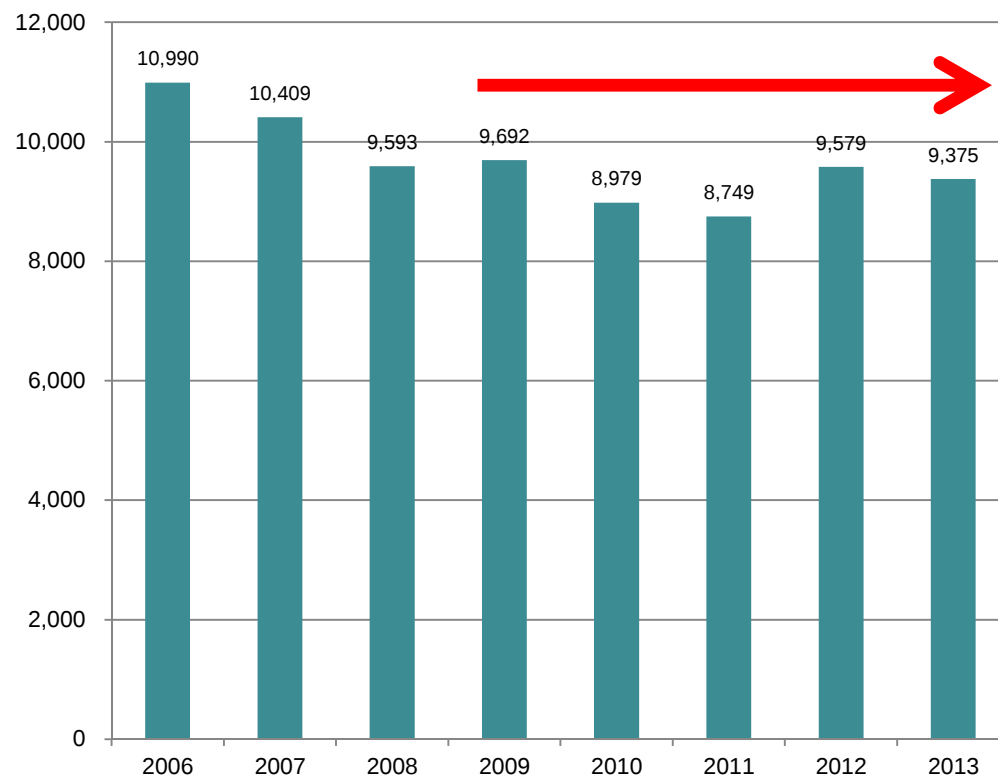
■ 国内の意匠登録出願件数は、全体では直近5年間（2009年～2013年）は、多少の増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移。中小企業による出願件数についても同様の傾向となっている。

#### 意匠出願件数(全体)の推移



特許行政年次報告書2014年版（特許庁）

#### 中小企業による意匠出願件数の推移

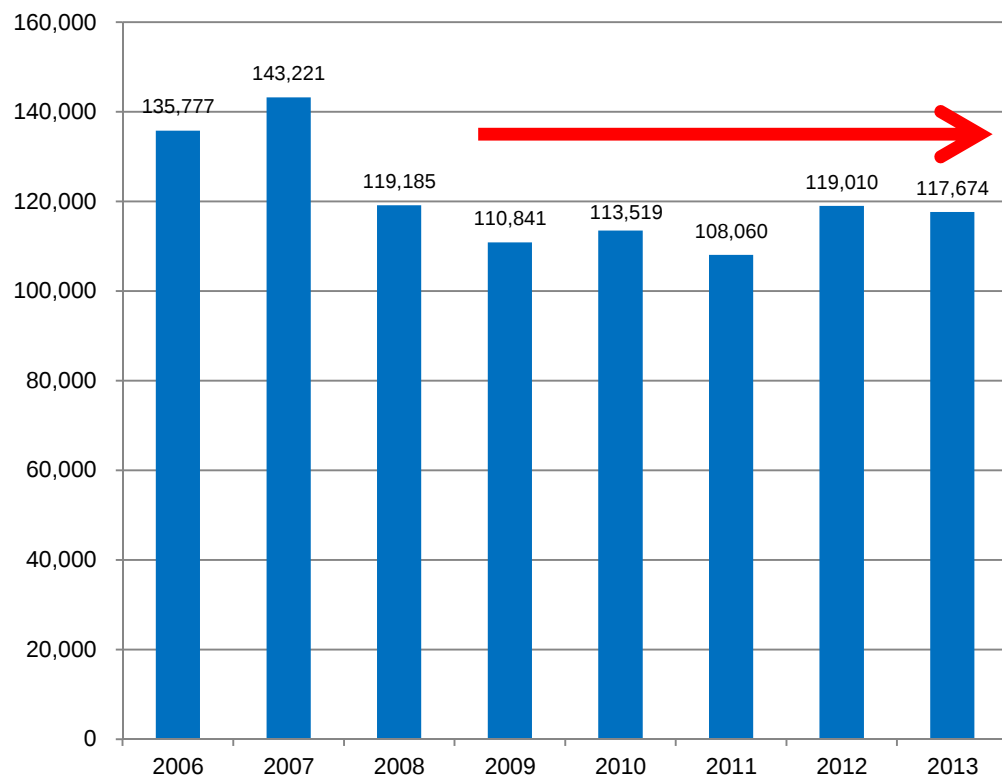


総務部普及支援課調べ

## (4) 中小企業の出願～商標出願件数の推移～

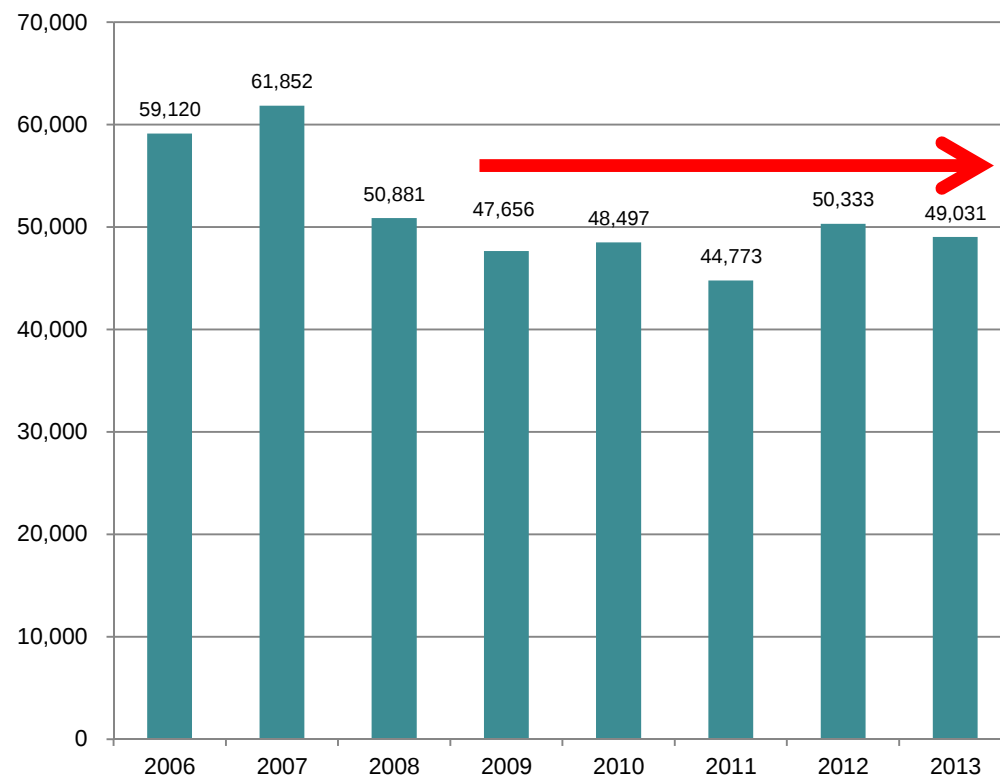
- 国内の商標登録出願件数も、全体では直近5年間（2009年～2013年）は、多少の増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移。
- 中小企業による出願件数についても同様の傾向となっている。

### 商標出願件数(全体)の推移



特許行政年次報告書2014年版（特許庁）

### 中小企業による商標出願件数の推移

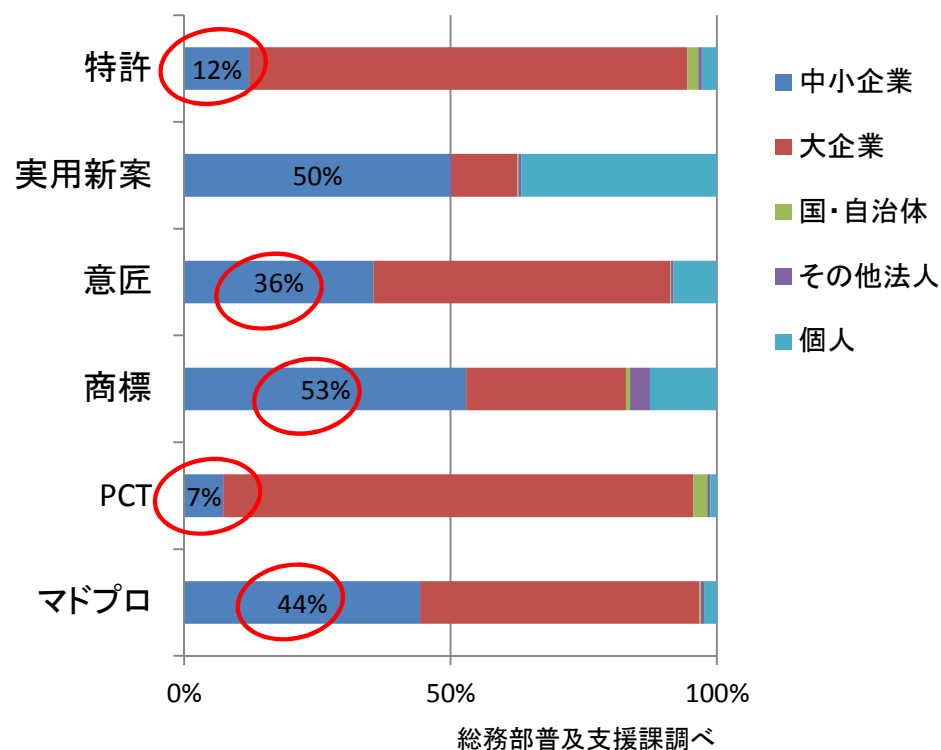


総務部普及支援課調べ

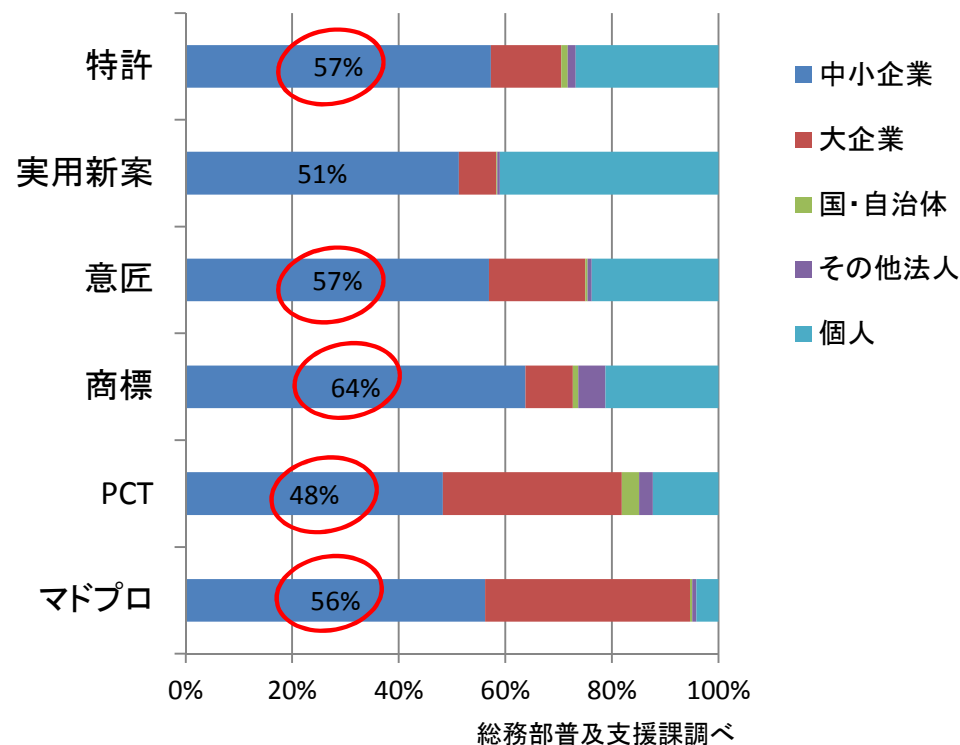
## (5) 中小企業の出願～出願人属性別比率～

- 内国人に占める中小企業の特許出願は、出願件数で見れば12%にすぎないが、出願者数で見ると57%を占めている。
- 他方、中小企業の意匠出願、商標出願を見ると、意匠が36%（件数）、57%（者数）、商標が、53%（件数）、64%（人数）と、中小企業の占める割合が特許出願よりも高くなっている。
- PCT出願では、出願件数で7%、出願者数で48%となっていることに比し、商標マドプロ出願では出願件数で44%、出願者数で56%を占め、商標の国際出願においては、件数・者数の両方で中小企業の占める割合が大きい。

出願件数比率(2013年出願)



出願者数比率(2013年出願)



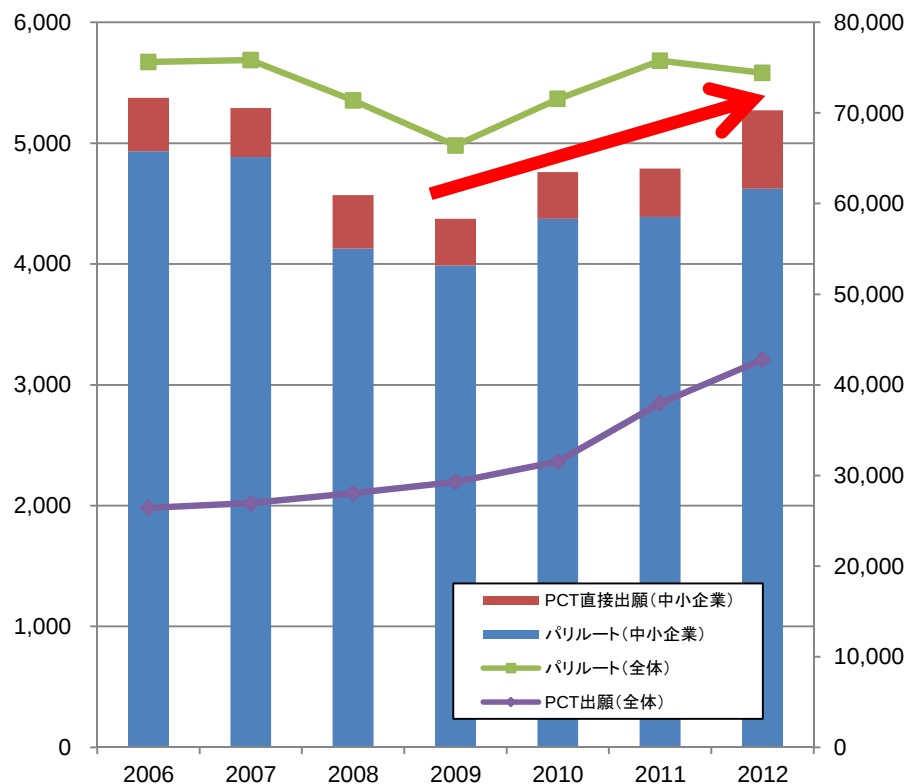
PCT出願：受理官庁としての日本国特許庁に出願された、特許協力条約（PCT）に基づく特許の国際出願

商標マドプロ出願：本国官庁としての日本国特許庁に出願された、マドリッド協定議定書に基づく商標の国際出願

## (6) 中小企業の国際出願～日本から海外に出願される特許～

- （全体の傾向と同様に）中小企業による特許の海外出願件数は、2009年以降増加傾向にある。
- しかし、海外出願率については、中小企業では15%程度と、大企業の海外出願率の30%程度に比べてまだ低い状況にある。

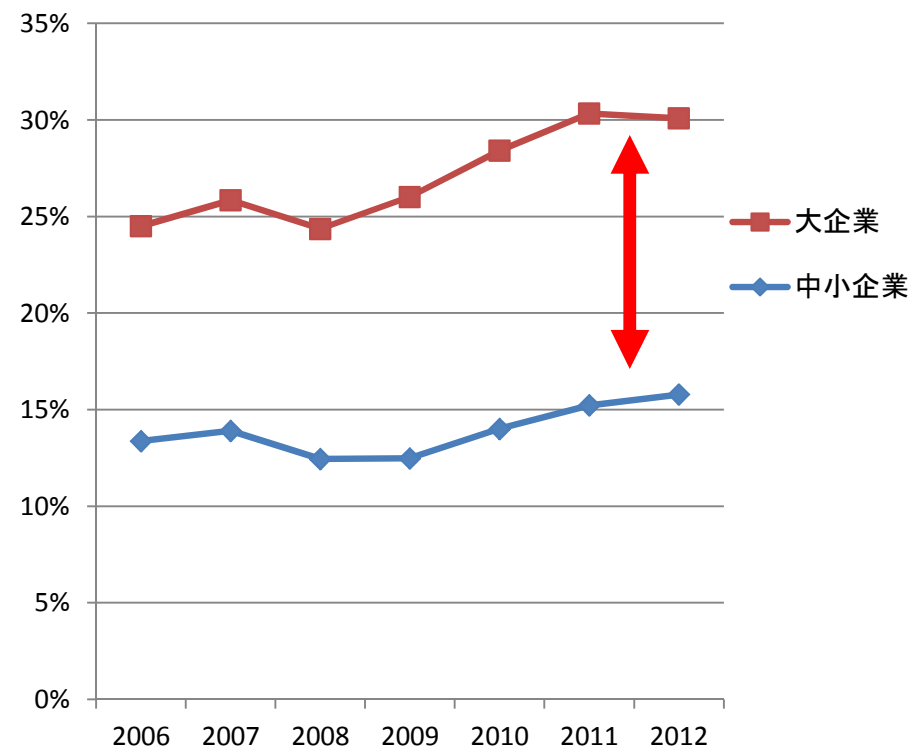
### 中小企業の海外出願件数(特許)※



※国内へ出願される特許出願のうち外国にも出願される件数。  
特許庁で把握できない外国に直接出願された件数を含んだものではなく、日本企業による海外全ての出願件数を意味しない。

総務部普及支援課調べ

### 特許の海外出願率※



※海外出願率 = (優先権請求件数 + PCT直接出願) / (国内出願 + PCT直接出願)

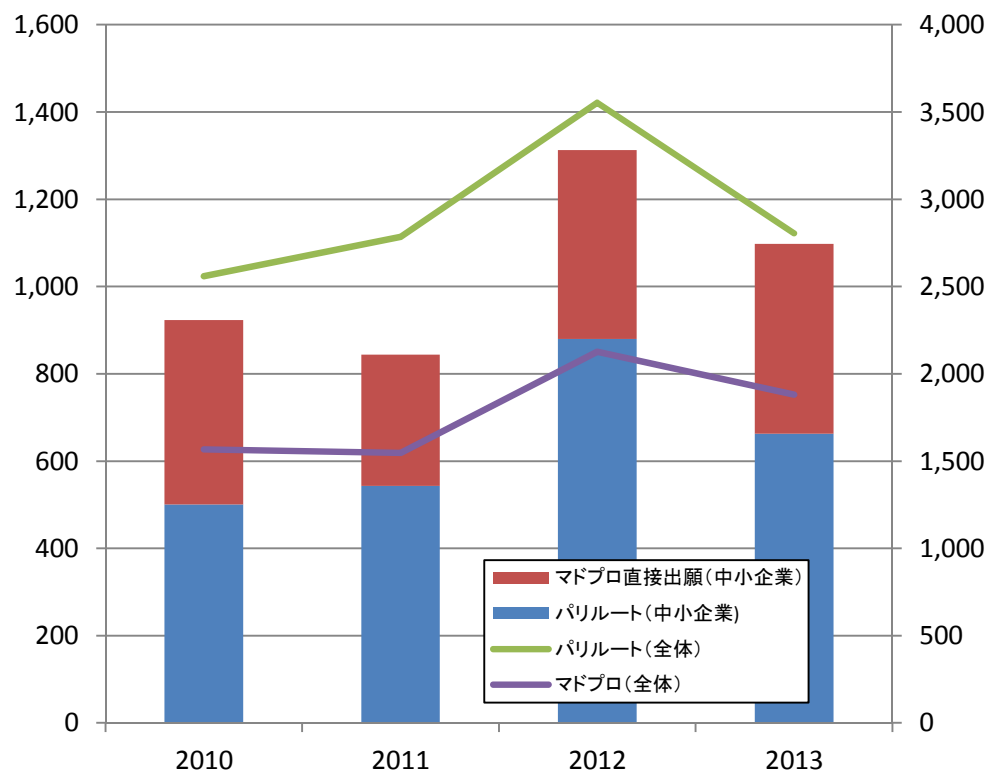
PCT直接出願：国際出願の受理官庁としての日本国特許庁に出願されたPCT出願のうち、国内出願に基づかない出願

総務部普及支援課調べ

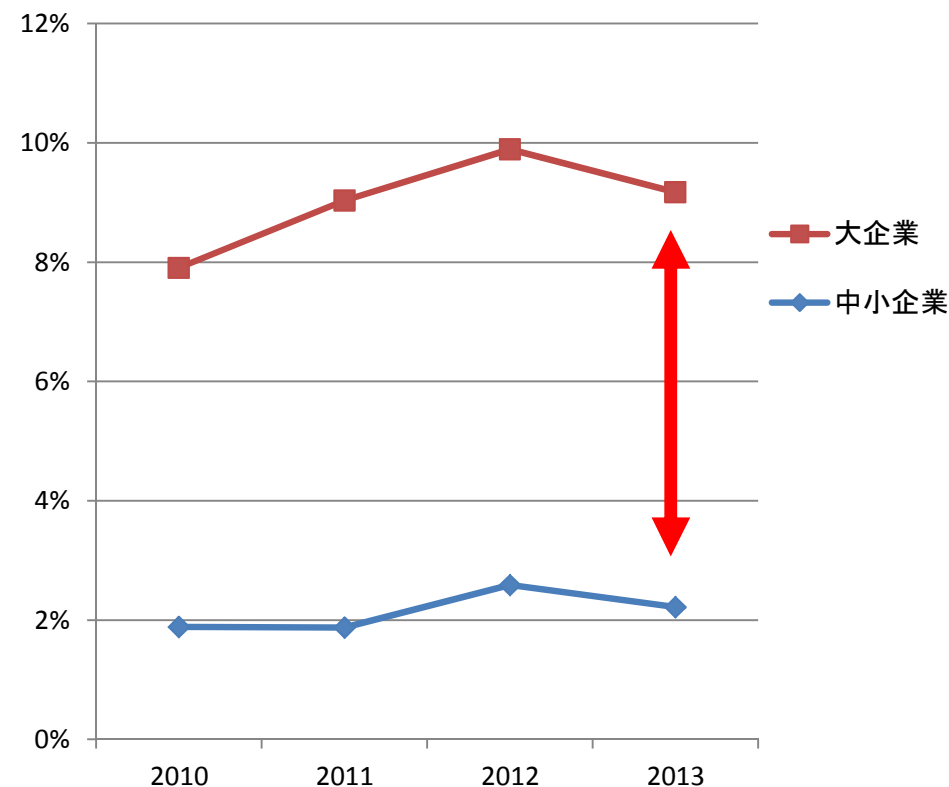
# (7) 中小企業の国際出願～日本から海外に出願される商標～

- （全体の傾向と同様に）中小企業による商標の海外出願件数は増減がある。
- しかし、海外出願率については、中小企業では2%程度と、大企業の海外出願率の9%程度に比べるとまだ低い状況にある。

中小企業の海外出願件数(商標)※



商標の海外出願率※



※国内へ出願される商標出願のうち外国にも出願される件数。  
特許庁で把握できない外国に直接出願された件数を含んだものではなく、日本企業による海外全ての出願件数を意味しない。  
特に商標の場合、現地語での出願ニーズ等を踏まえると外国に直接出願される件数もかなり多いと推測される。

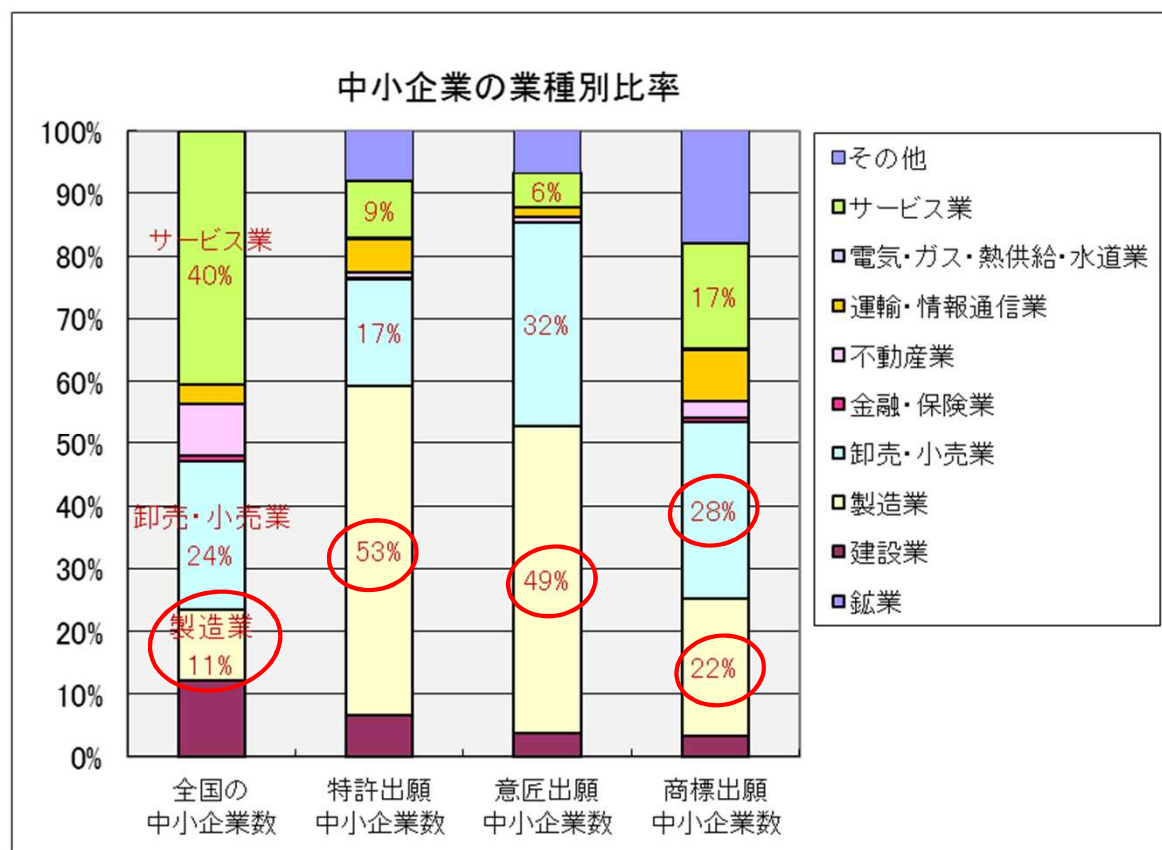
※海外出願率= (優先権請求件数+商標マドプロ直接出願) / (国内出願+商標マドプロ直接出願)

商標マドプロ直接出願：商標マドプロ出願のうち優先権主張を伴わない出願

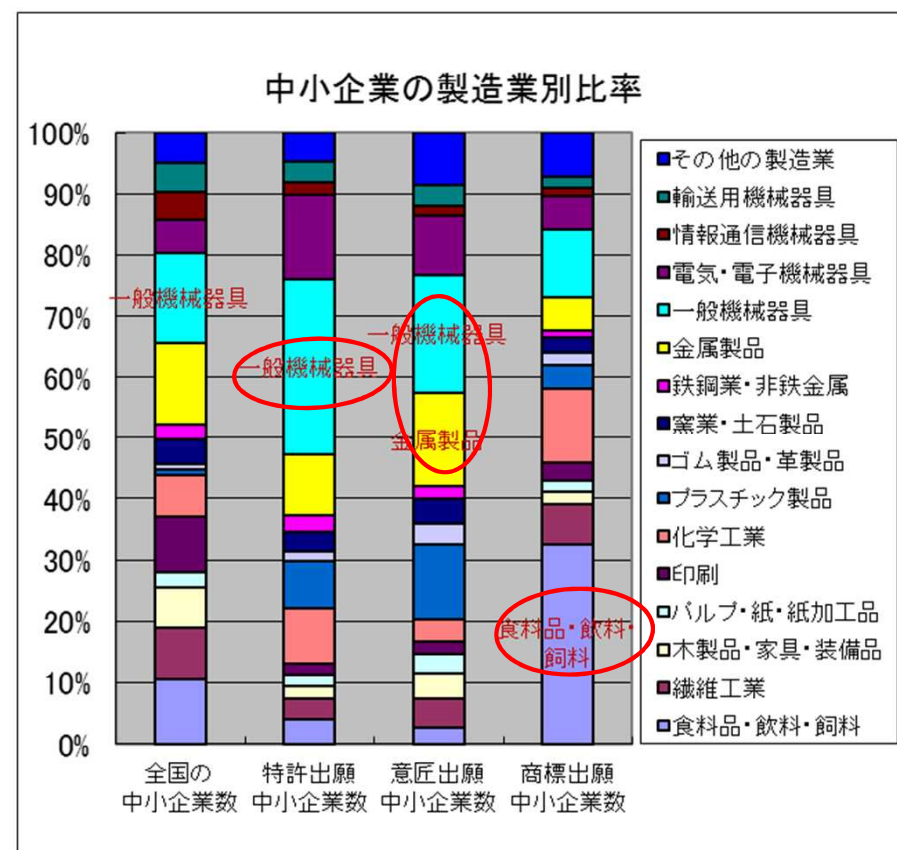
## (8) 中小企業の出願～業種別比率～

- 2013年に特許・意匠・商標を出願した中小企業数について、業種別に比較すると、全国の中小企業全体の11%を占める「製造業」による特許出願が53%、意匠出願が49%を占めている。しかし、商標出願では22%となっており、「卸売・小売業」の比率（28%）の方が高い。
- さらに製造業を分類別にみていくと（右図）、特許出願では一般機械器具製造業（29%）、意匠出願では一般機械器具製造業（19%）と金属製品製造業（15%）、商標出願では食料品・飲料・飼料製造業（33%）の比率が高い。

【業種別】



【製造業別】



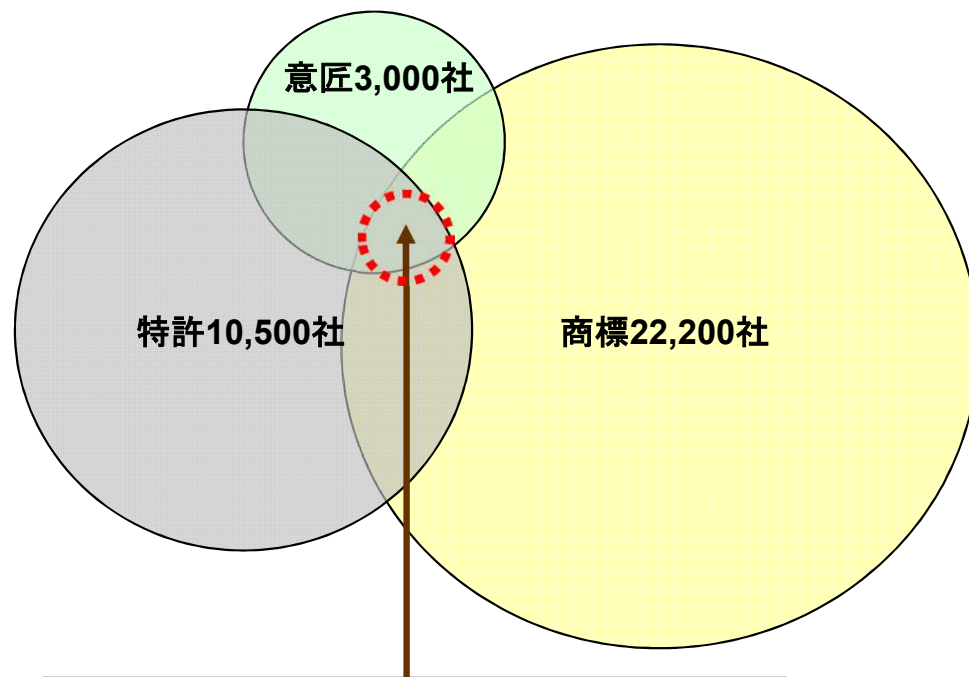
全国の中小企業数は総務省「平成24年経済センサス」による。出願中小企業数は総務部普及支援課調べ

## (9) 中小企業の出願～法区分別出願企業数の比較～

- 2013年の中小企業の出願者を法区分で見ると、特許が約1.1万社、意匠が約0.3万社、商標が約2.2万社となっており、重複を除いた中小企業数は、約3.3万社。内国出願全ての企業数（5.3万社）の62%が中小企業となっている。
- 中小企業は大企業に比べて特許、意匠、商標のみの単法区分で出願する傾向が強く、3つの法区分全てに出願している中小企業は2%に過ぎない（大企業は16%）。

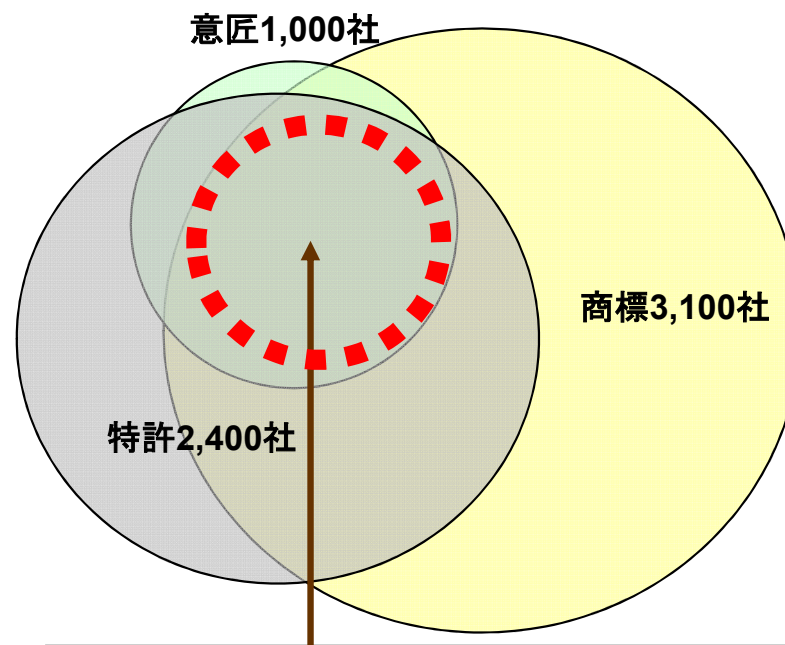
### 【中小企業】

（重複を除いた中小企業数：約3.3万社）



特許・意匠・商標全てに出願した中小企業は2%

### 【大企業】



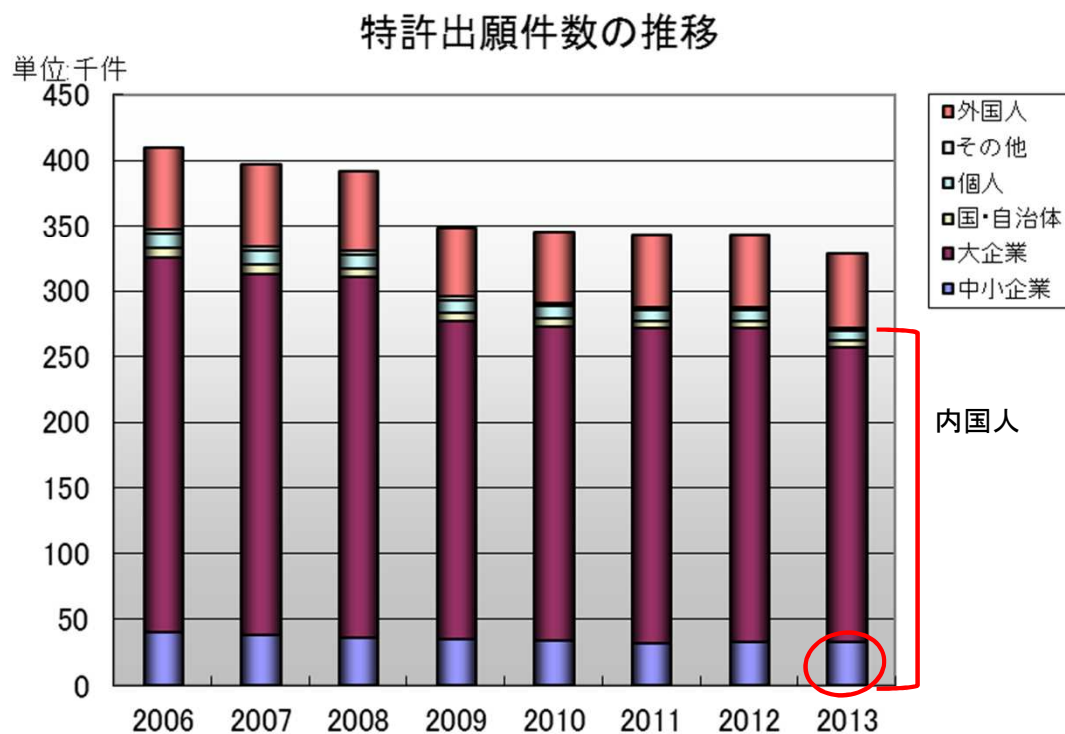
特許・意匠・商標全てに出願した大企業は16%

## 2. 特許関連

- |                |              |                |                   |
|----------------|--------------|----------------|-------------------|
| (1) 中小企業の特許出願  | ～出願件数～       | (14) 中小企業の特許出願 | ～IPC別件数～          |
| (2) 中小企業の特許出願  | ～出願者数～       | (15) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別件数～         |
| (3) 中小企業の特許出願  | ～1社あたりの出願件数～ | (16) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別比率～         |
| (4) 中小企業の特許出願  | ～10年間の出願状況～  | (17) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別伸び率～        |
| (5) 中小企業の特許出願  | ～売上高別件数～     | (18) 中小企業の特許出願 | ～都道府県別技術分野構成～     |
| (6) 中小企業の特許出願  | ～売上高別企業数～    | (19) 中小企業の特許出願 | ～単独出願と共同出願～       |
| (7) 中小企業の特許出願  | ～従業員数別企業数～   | (20) 中小企業の特許出願 | ～共同出願（親の場合）～      |
| (8) 中小企業の特許出願  | ～従業員規模別～     | (21) 中小企業の特許出願 | ～共同出願（子の場合）～      |
| (9) 中小企業の特許出願  | ～業種別件数～      | (22) 中小企業の特許出願 | ～共同出願の組合せ（都道府県別）～ |
| (10) 中小企業の特許出願 | ～業種別企業数～     | (23) 中小企業の特許出願 | ～中小出願者数と中小企業数の関係～ |
| (11) 中小企業の特許出願 | ～製造業別件数～     | (24) 中小企業の特許出願 | ～出願者数と技術者数の関係～    |
| (12) 中小企業の特許出願 | ～製造業別企業数～    | (25) 中小企業の特許出願 | ～出願者数と県内総生産の関係～   |
| (13) 中小企業の特許出願 | ～製造業別件数推移～   |                |                   |

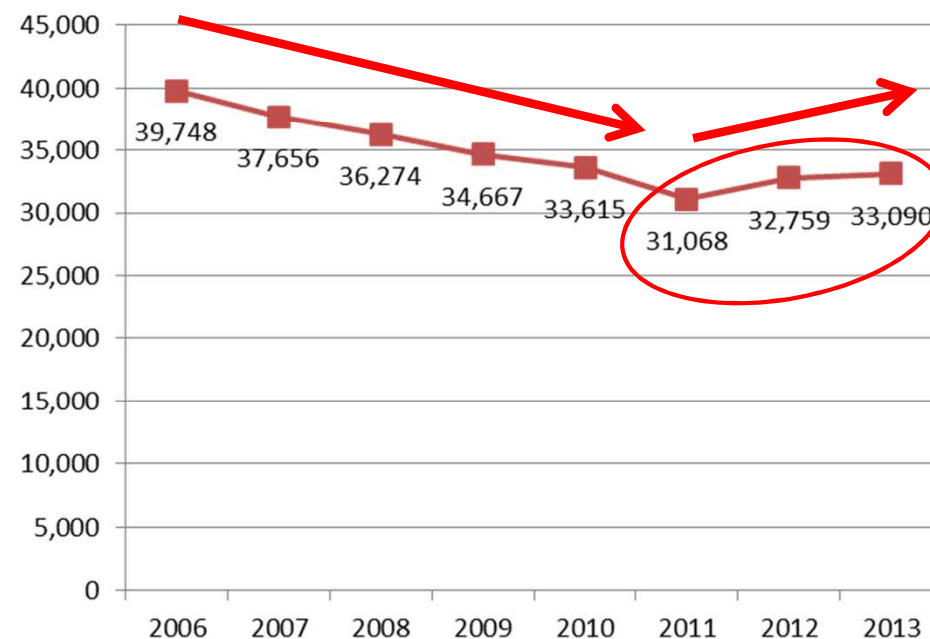
# (1) 中小企業の特許出願～出願件数～

- 直近5年の年間特許出願件数（全体）は33万～35万件で推移。そのうち、外国人を除いた内国人に占める中小企業の出願比率は、11%～12%で推移（2013年は12.2%）。
- 2013年の特許出願件数（全体）は対前年比4.2%減。内国人出願に限ると対前年比5.3%。
- しかし、中小企業に限ってみると【右図】、対前年比では1.0%増となっており、2011年以降、反転傾向がみられる（大企業は対前年比6.2%減）。



総務部普及支援課調べ

## 中小企業の特許出願推移(件数)

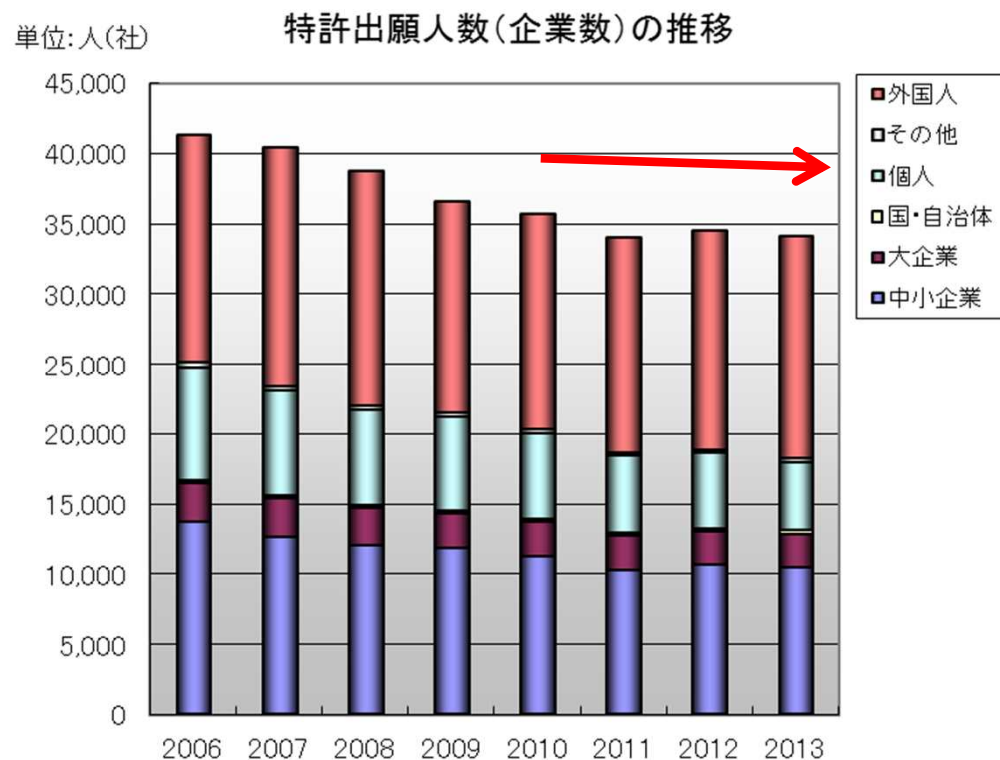


総務部普及支援課調べ

## (2) 中小企業の特許出願～出願者数～

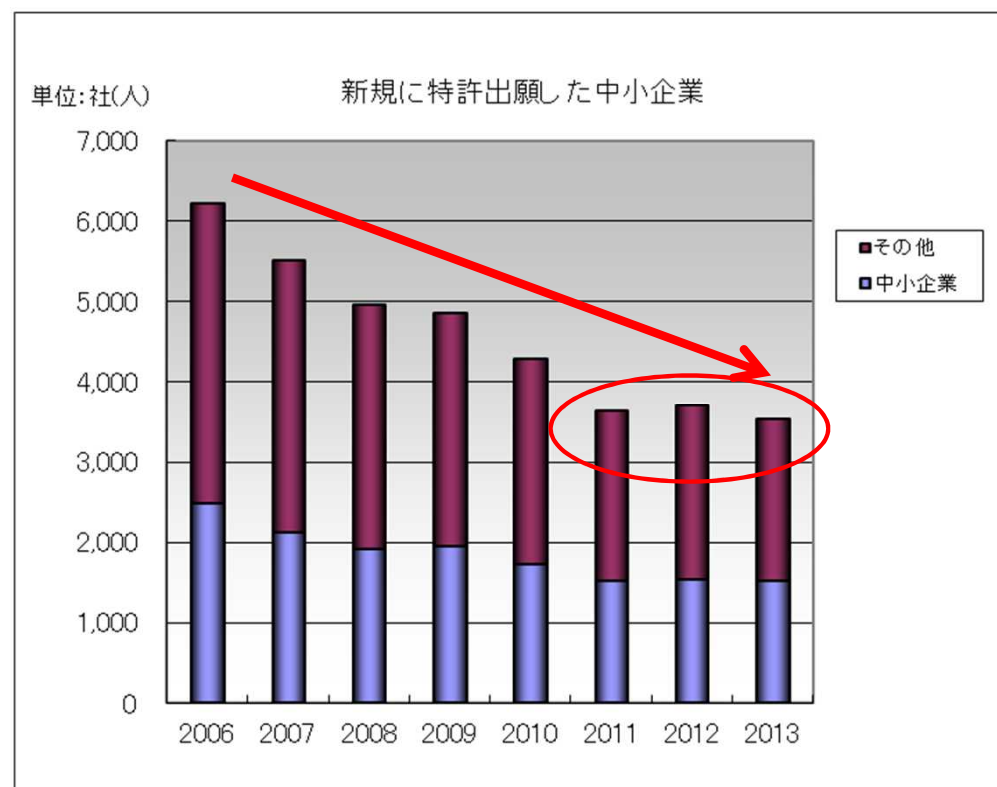
- 特許出願をその出願者数で見ると、全体傾向及び中小企業とも、ここ数年は横ばい傾向にある。2013年においては、全体で対前年比1.0%減、中小企業による出願人数では対前年比1.5%減となっている。
- また、新規に特許出願する中小企業数は、2012年は反転したものの、2013年は再び減少となった（対前年比1.2%減）。

### 【出願者数】



総務部普及支援課調べ

### 【新規出願者数】

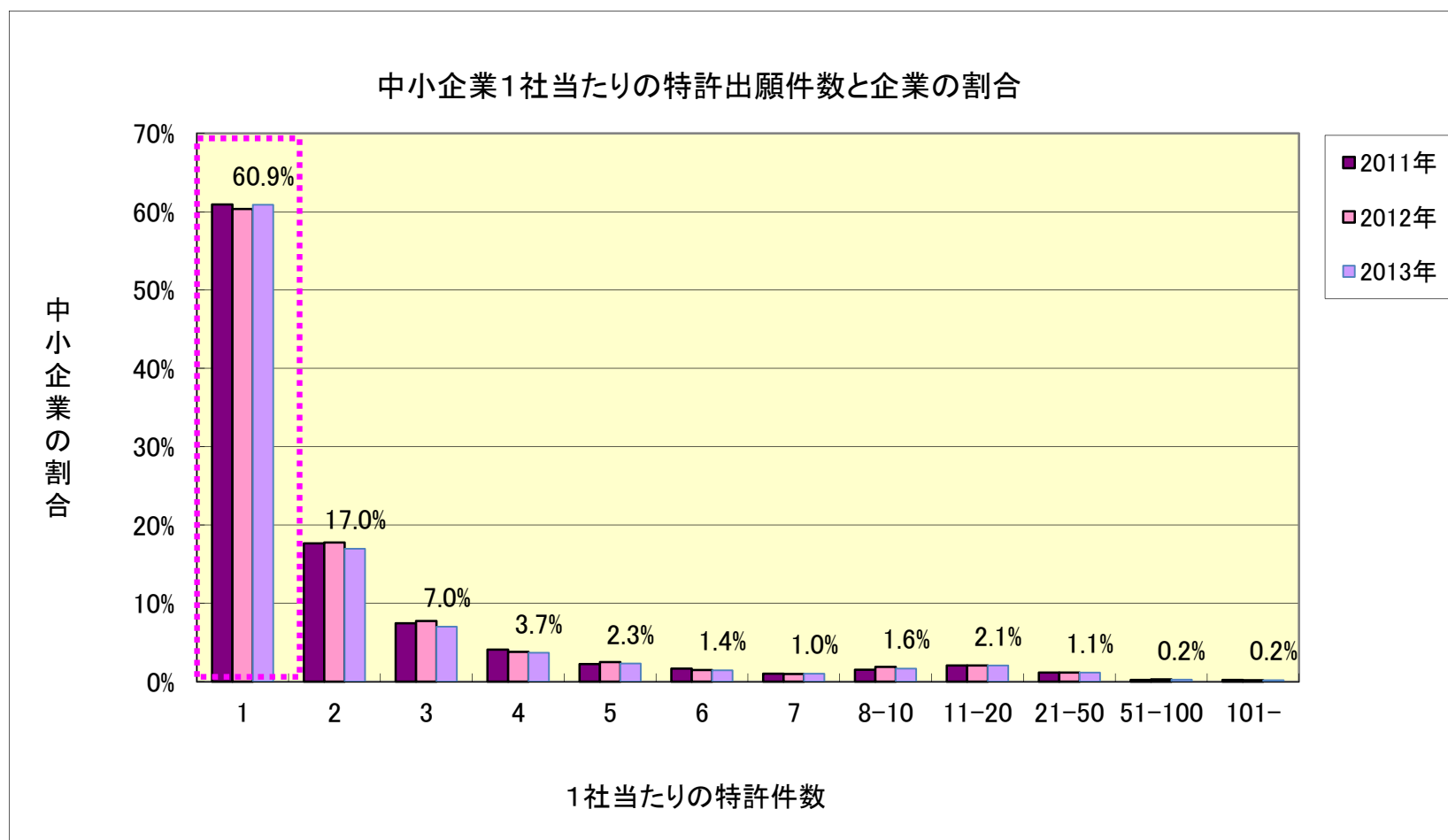


総務部普及支援課調べ

### (3) 中小企業の特許出願～1社あたりの出願件数～

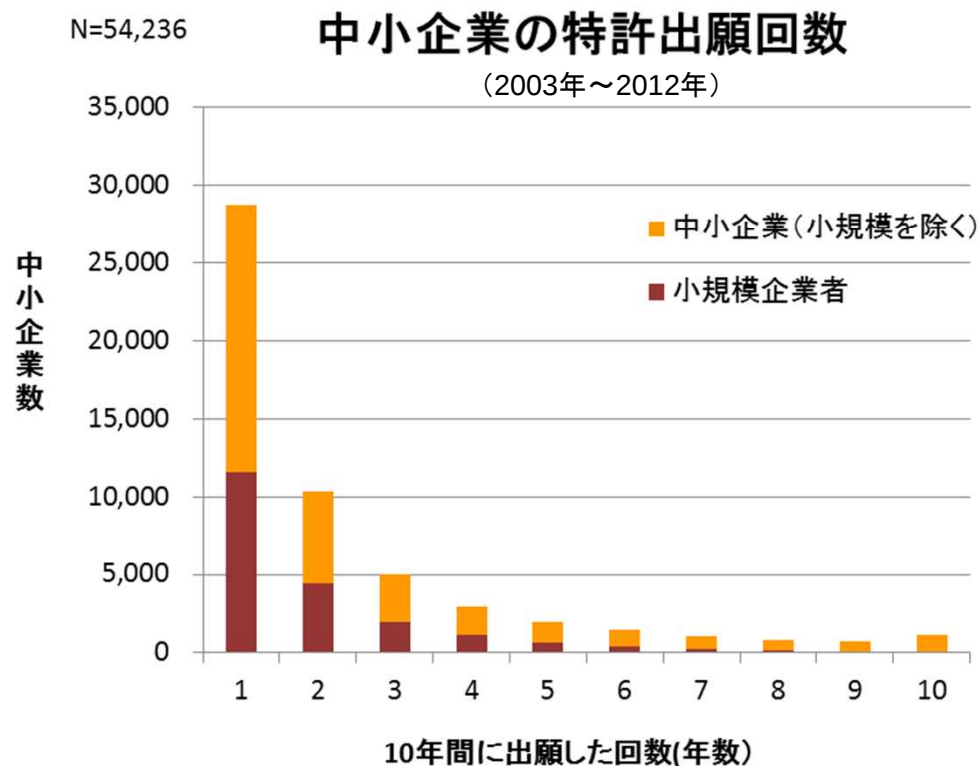
■ 中小企業1社当たりの特許出願件数は、年平均3件程度であるが、その内訳をみると【下図】、年間の出願件数が1件という企業が約60%を占めており、全体の約85%の企業は年間に3件以下の出願となっている。

#### 【1社当たりの出願件数】



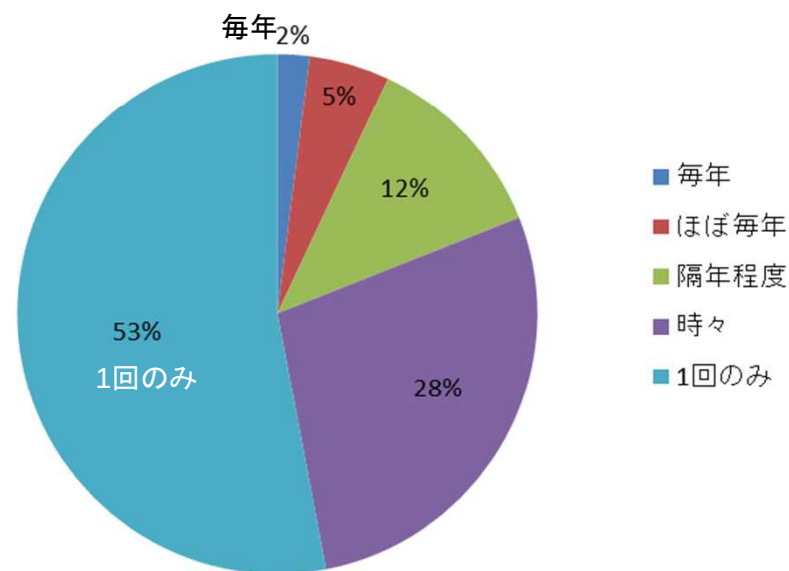
## (4) 中小企業の特許出願～10年間の出願状況～

■ 2003年～2012年の10年間に特許出願した中小企業の出願状況をみると、毎年出願した企業は全体の2%であり、年に1回のみの出願企業が約半数を占めている（なお、中小企業の直近10年間の特許出願における小規模企業者の占める割合は38%）。



総務部普及支援課調べ

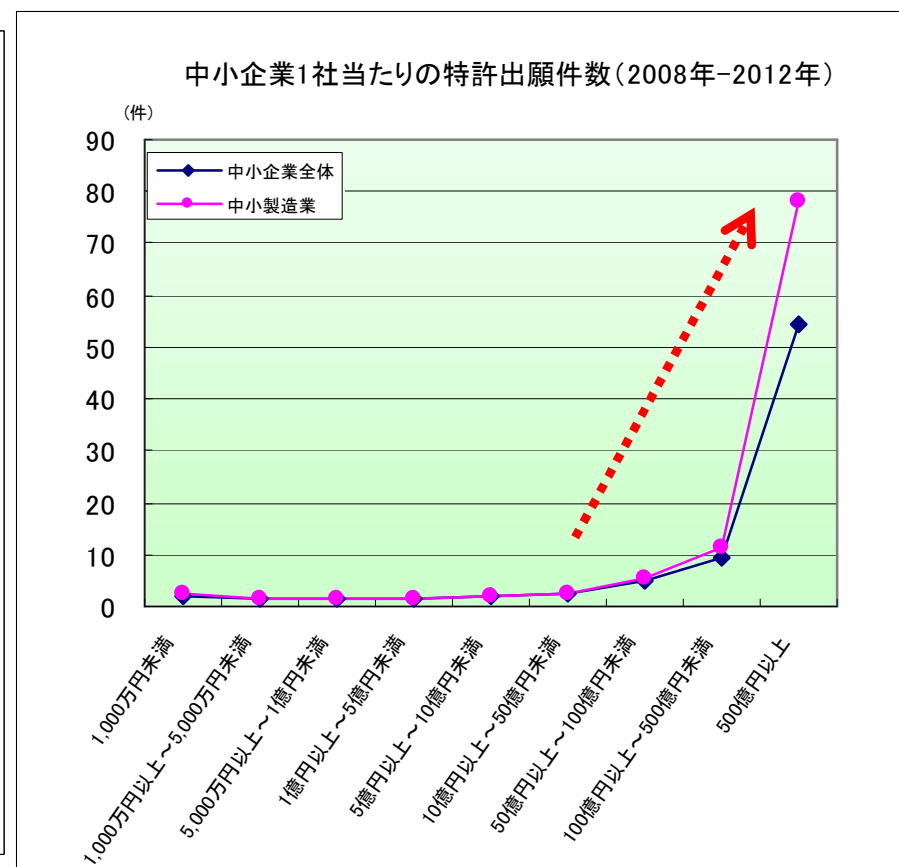
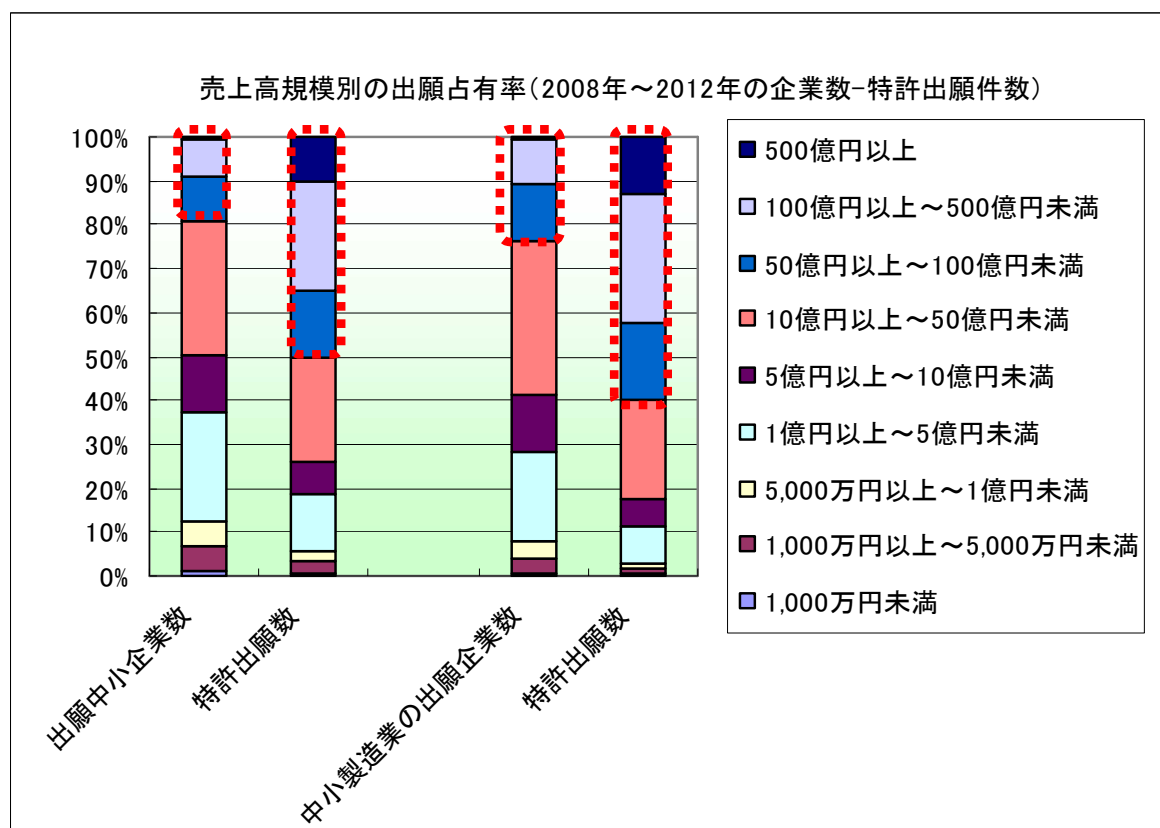
### 2003年～2012年に特許出願した 中小企業の出願状況



総務部普及支援課調べ

## (5) 中小企業の特許出願～売上高別件数～

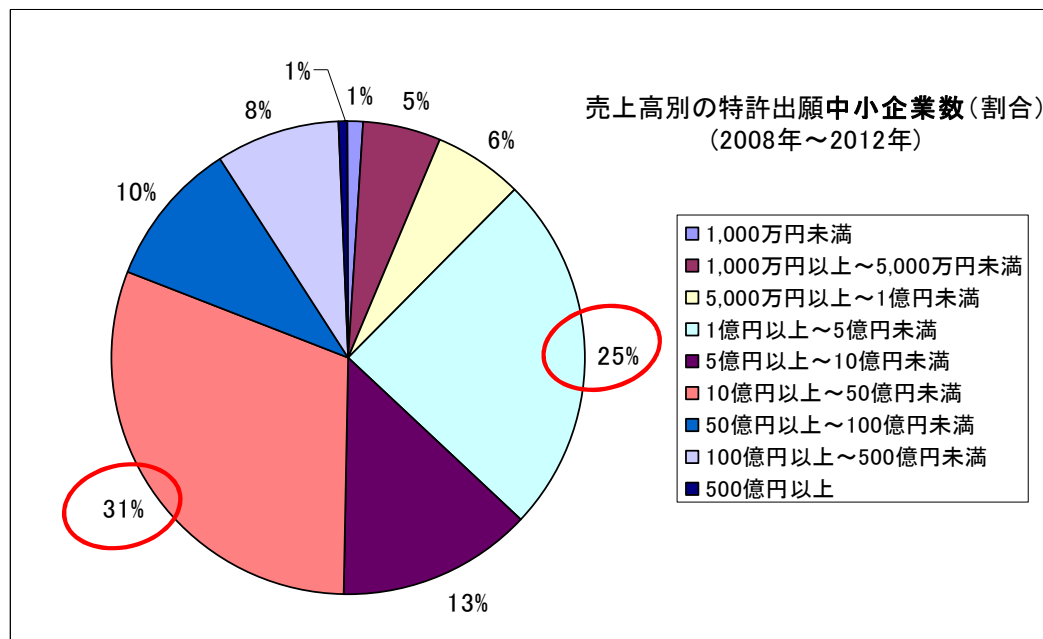
- 中小企業による特許出願件数をその中小企業の売上高別にみると、出願中小企業の2割弱に当たる「売上高50億円以上」の中小企業による出願が、中小企業全体の出願の5割を占めている。
- 製造業に限ってみると、より顕著な傾向を示しており、2割強に当たる売上高50億円以上の中小企業による出願が、中小企業全体の出願の6割を占有している。
- また、中小企業1社当たりの特許出願件数を売上高別にみると、売上高が10億円を超えると出願件数が増加する傾向にある。



## (6) 中小企業の特許出願～売上高別企業数～

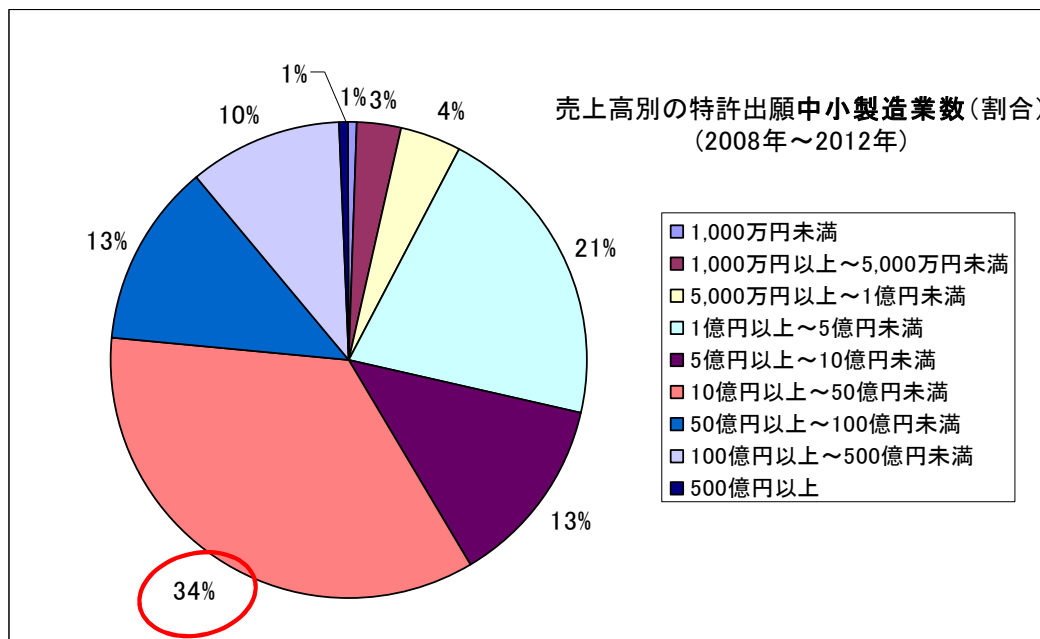
- 特許出願した中小企業を売上高別にみると、「10億円以上50億円未満」の中小企業の比率が高く、次いで「1億円以上5億円未満」の企業となっている。
- 特許出願した中小企業を製造業に限ってみると【右図】、より顕著な傾向を示しており、「10億円以上50億円未満」の比率が34%とより高くなっている。

### 【中小企業】



総務部普及支援課調べ

### 【製造業】

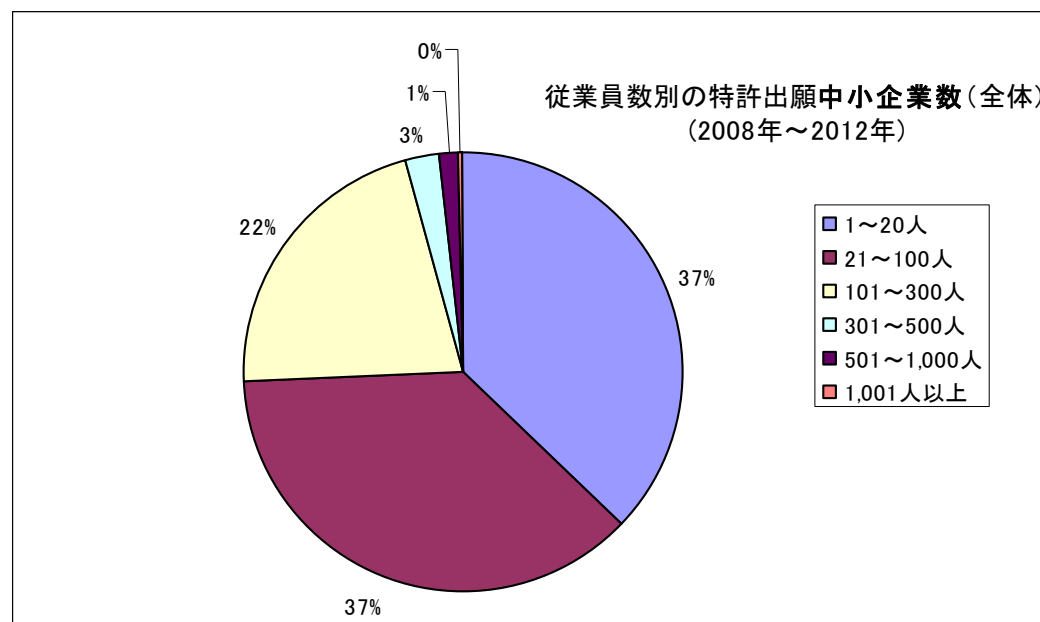


総務部普及支援課調べ

## (7) 中小企業の特許出願～従業員数別企業数～

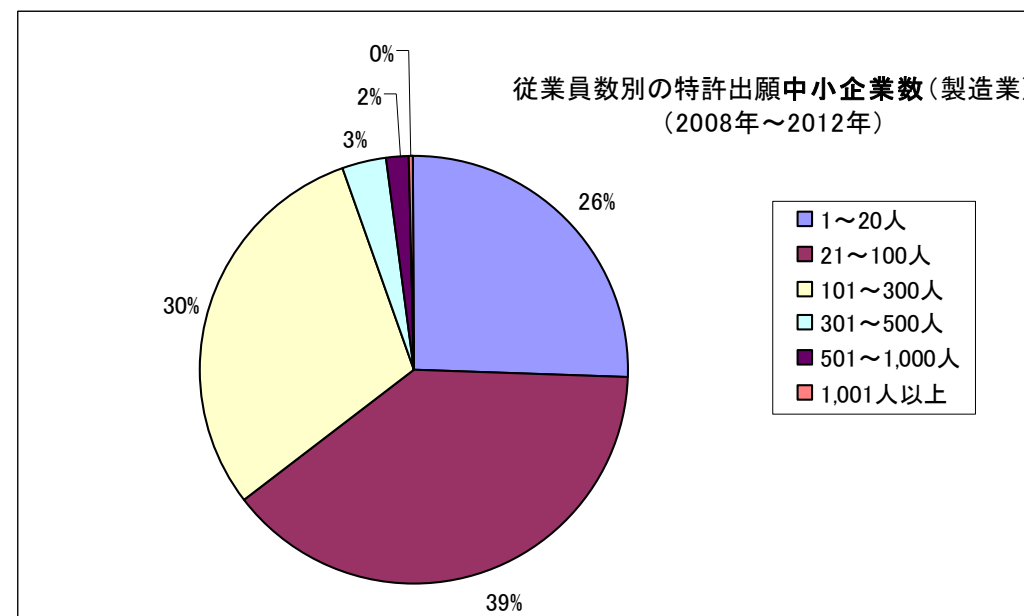
- 特許出願した中小企業を従業員数別にみると、「1人以上20人以下」の中小企業、及び「21人以上100人以下」の企業の比率が高くなっている。
- 一方、中小企業の製造業でみると、21人以上100人以下の企業の比率が高く、次いで101人以上300人以下の企業となっており、より規模の大きい企業から出願される傾向がみられる。

### 【中小企業】



総務部普及支援課調べ

### 【製造業】

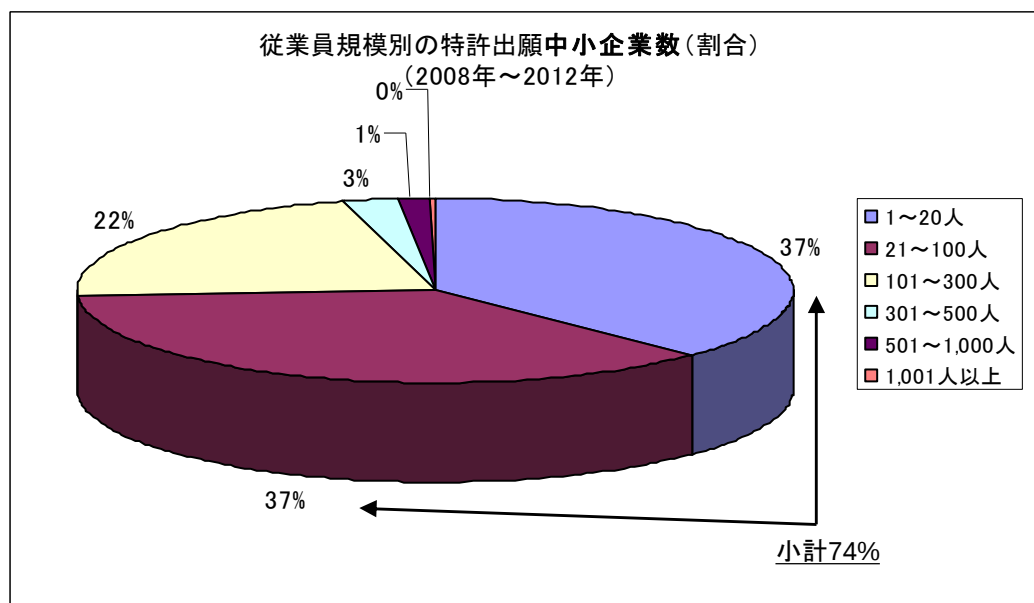


総務部普及支援課調べ

## (8) 中小企業の特許出願～従業員規模別～

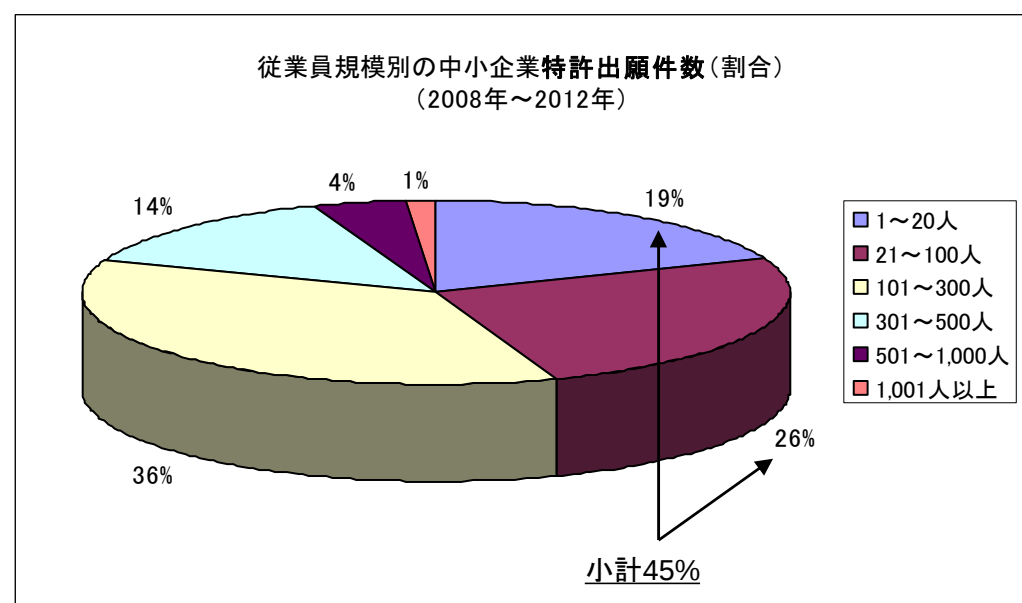
- 特許出願した中小企業を従業員規模別にみると、従業員数100人以下の企業は、企業数では74%を占めているが、出願件数では45%に留まっている。
- 一方、従業員数101人以上300人以下の企業は、企業数では全体の22%となっているが、出願件数では36%を占めている。
- また、特許出願中小企業の4%を占めている従業員数301人以上の中小企業は、出願件数の2割を占めている。

### 【中小企業数】



総務部普及支援課調べ

### 【出願件数】

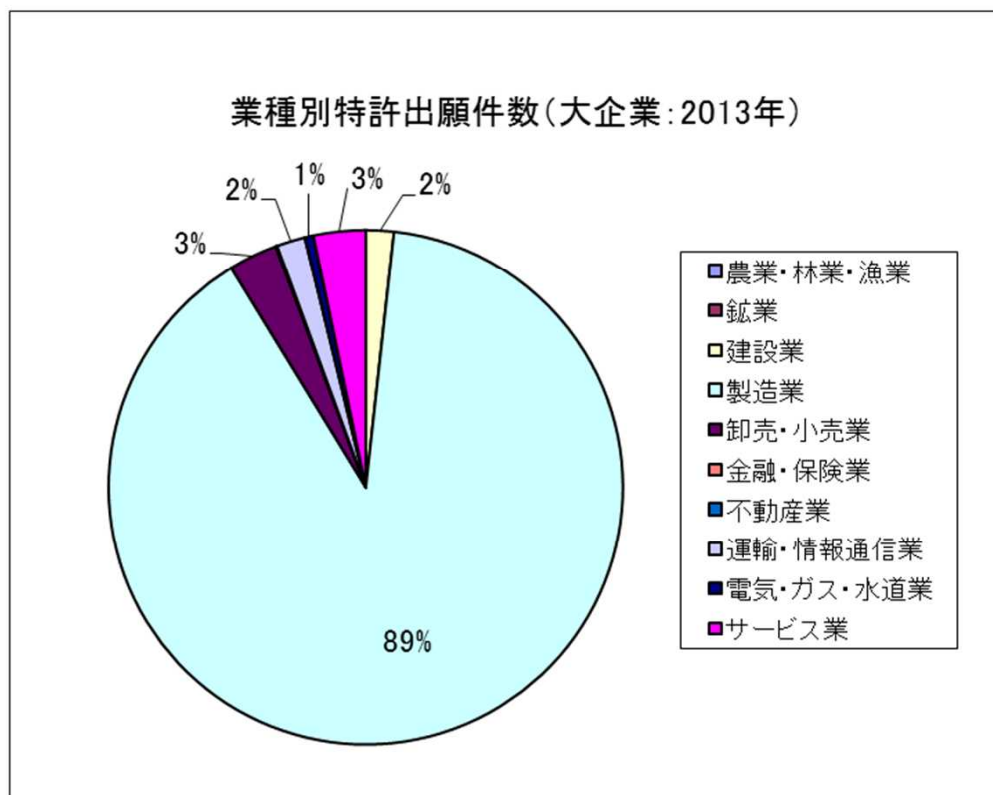


総務部普及支援課調べ

## (9) 中小企業の特許出願～業種別件数～

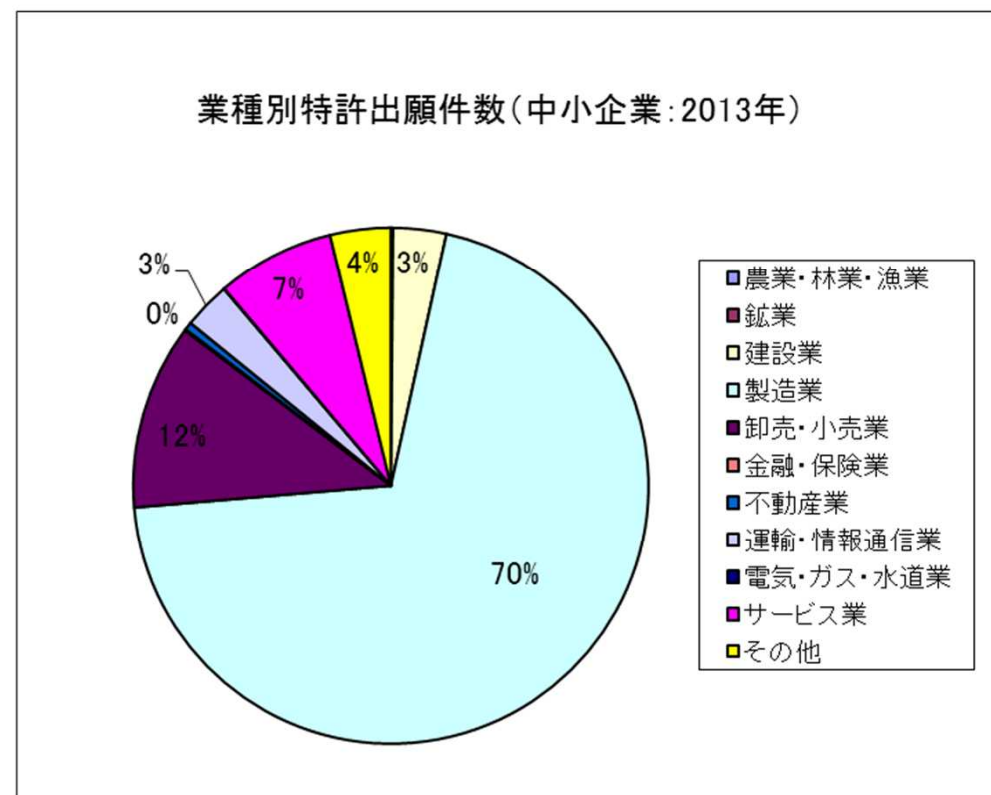
- 中小企業の特許出願件数を業種別にみると【右図】、製造業が全体の70%を占め、次いで、卸売・小売業が12%を占めており、この2業種で全体の82%となっている。
- 一方、大企業では【左図】 出願件数の約9割（2013年は89%）を製造業が占めている。

【大企業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】



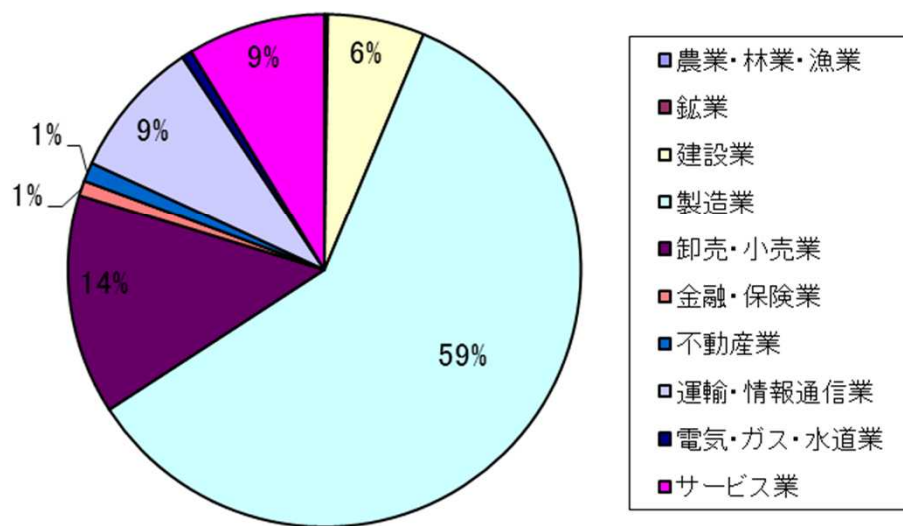
総務部普及支援課調べ

## (10) 中小企業の特許出願～業種別企業数～

- 特許出願した中小企業数を業種別にみると【右図】、製造業が中小企業全体の53%を占めており、次いで、卸売・小売業が17%となっている。
- 大企業においても【左図】、製造業が59%、卸売・小売業が19%を占めており、中小企業と類似した傾向を示している。

【大企業】

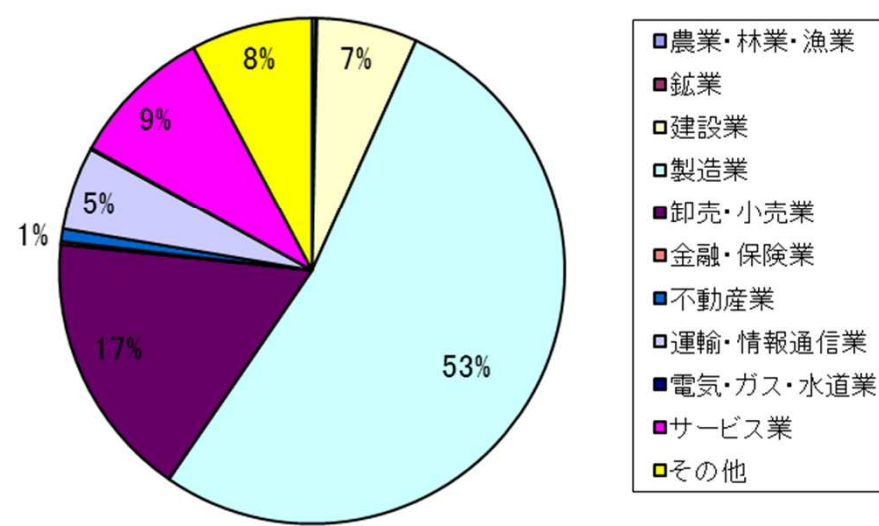
業種別特許出願法人数(大企業:2013年)



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

業種別特許出願法人数(中小企業:2013年)

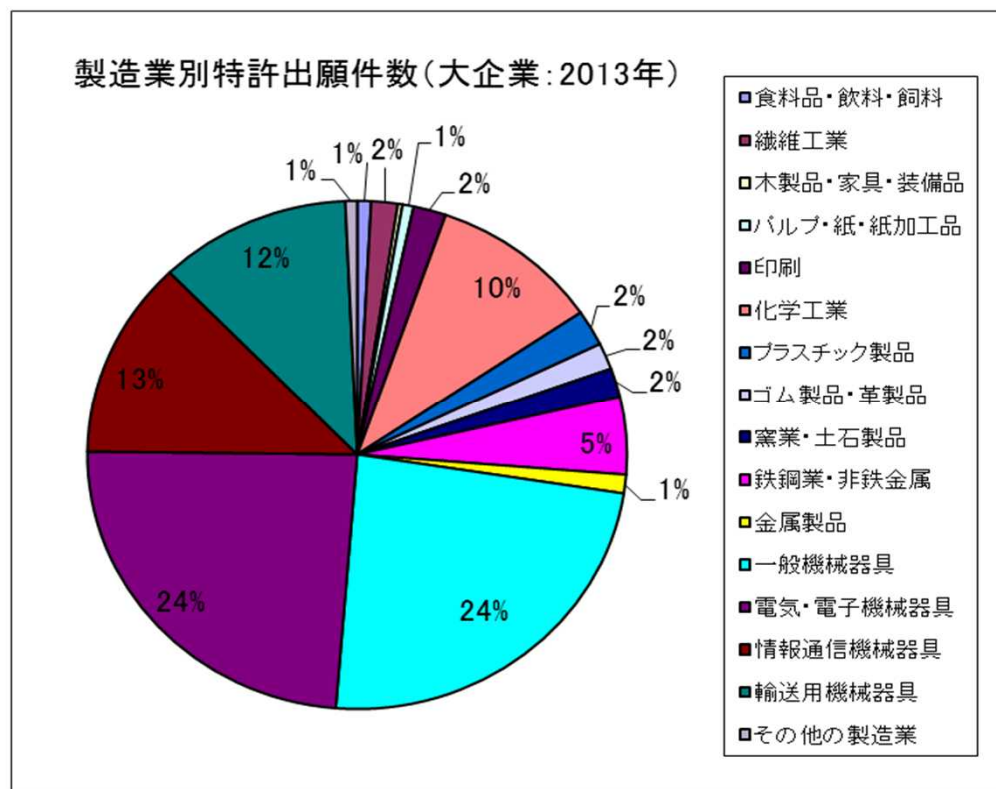


総務部普及支援課調べ

# (11) 中小企業の特許出願～製造業別件数～

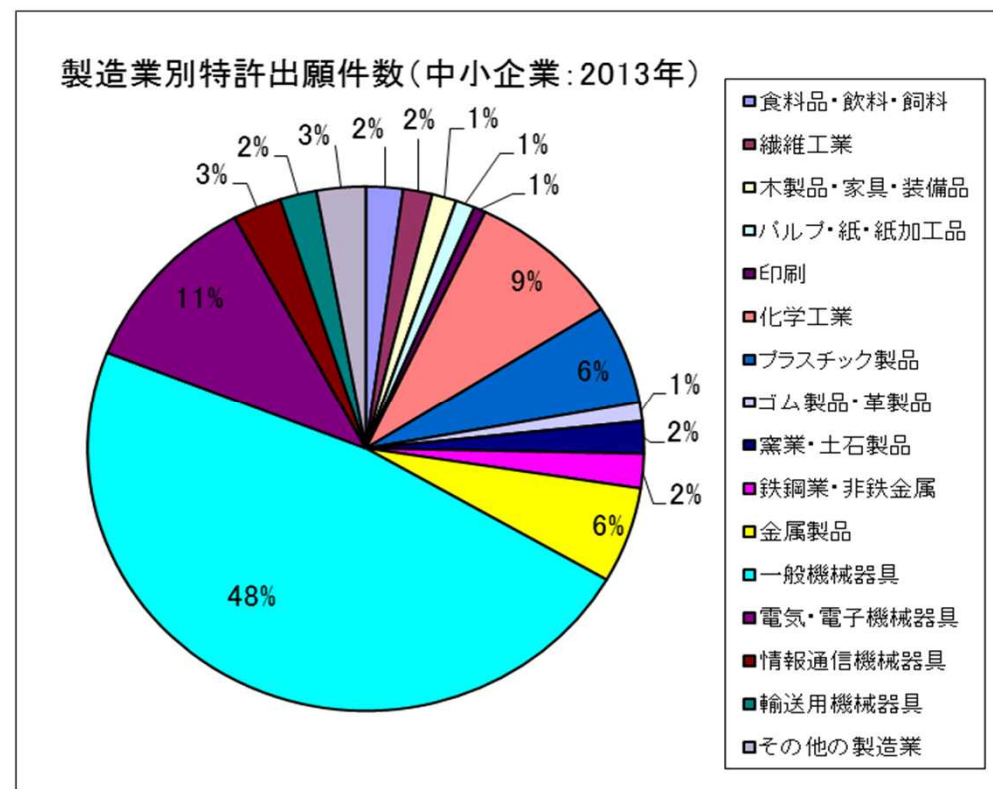
- 中小企業のうち、製造業による特許出願件数を分類別にみると【右図】、娯楽用機械や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（48%）の比率が高い。
- 大企業製造業では【左図】、事務用機械器具などの一般機械器具製造業（24%）と民生用や産業用の電気機械器具などの電気・電子機械器具製造業（24%）の比率が高い。

【大企業製造業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】



総務部普及支援課調べ

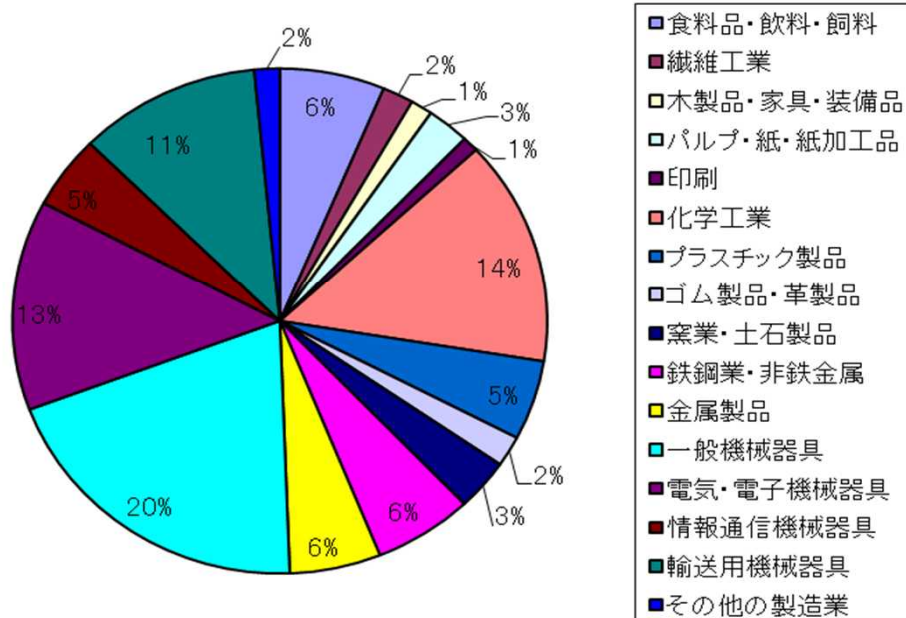
## (12) 中小企業の特許出願～製造業別企業数～

- 特許出願した中小企業製造業数を分類別にみると【右図】、金属加工機械、金型、食品機械などの一般機械器具製造業（29%）、電気計測器などの電気・電子機械器具製造業（14%）、金属プレス製品などの金属製品製造業（10%）の割合が高い。
- 大企業製造業では【左図】、事務用機械器具や金属加工機械などの一般機械器具製造業（20%）、医薬品製造などの化学工業（14%）、発電・送配電や電気照明器具などの電気・電子機械器具製造業（13%）の順になっている。

【大企業製造業】

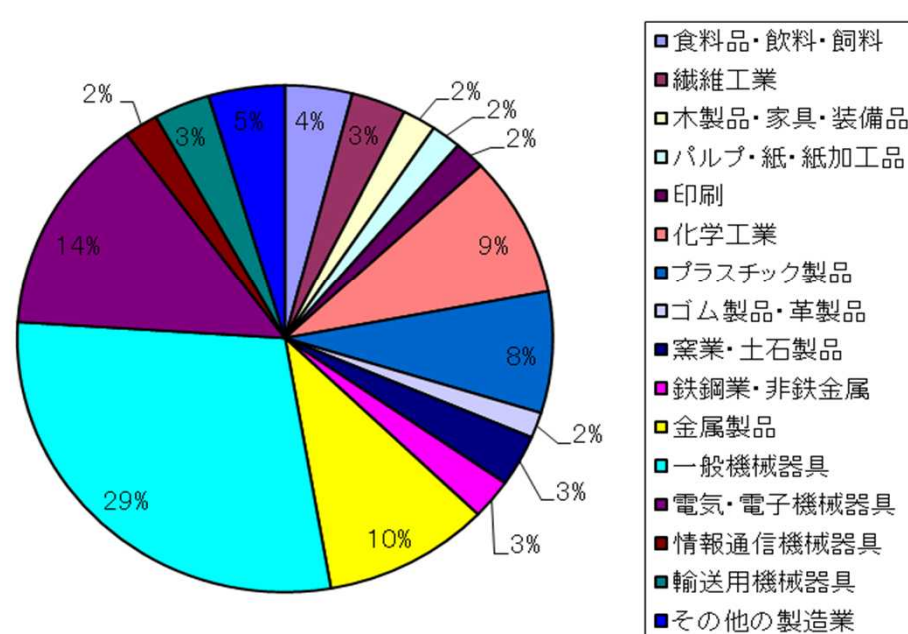
【中小企業製造業】

製造業別特許出願企業数(大企業:2013年)



総務部普及支援課調べ

製造業別特許出願企業数(中小企業:2013年)



総務部普及支援課調べ

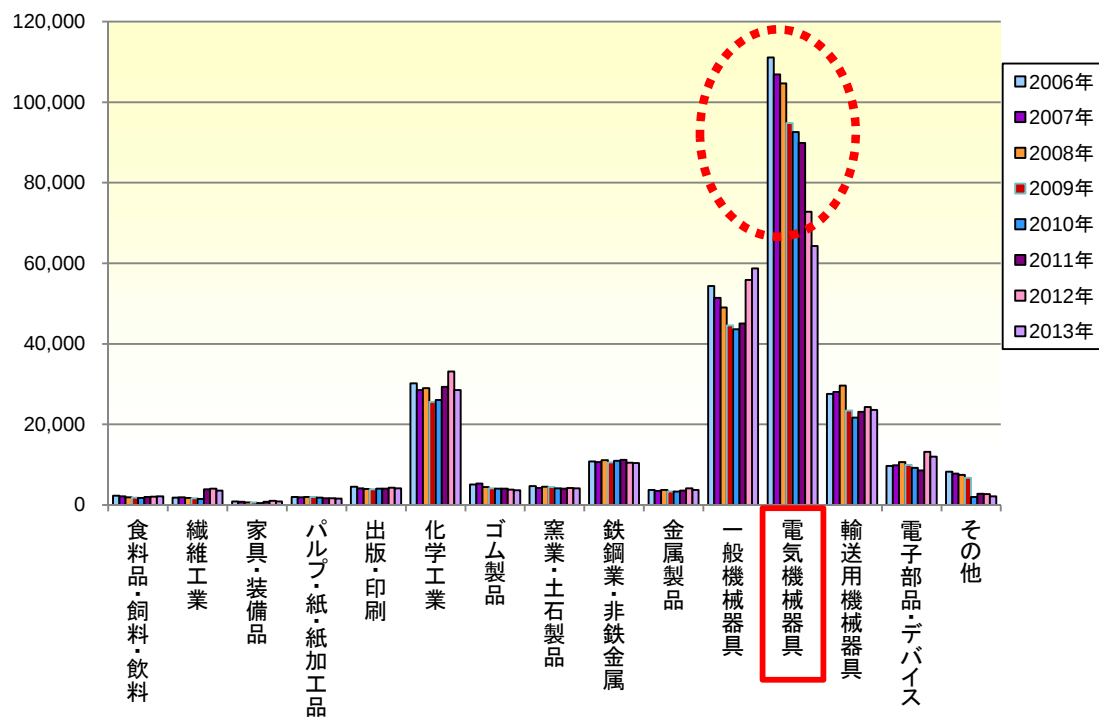
# (13) 中小企業の特許出願～製造業別件数推移～

- 製造業の分類別の特許出願件数をみると、出願全体では電気機械器具製造業が突出しているが、近年は減少傾向にある。しかし、中小企業の製造業では【右図】、一般機械器具製造業の出願が多く、近年は増加傾向にある。
- また、電気機械器具製造業をはじめ各製造業の特許出願が減少傾向にある中で、一般機械器具製造業は増加傾向をみせている。

## 【全製造業】

製造業別の特許出願推移(全体)

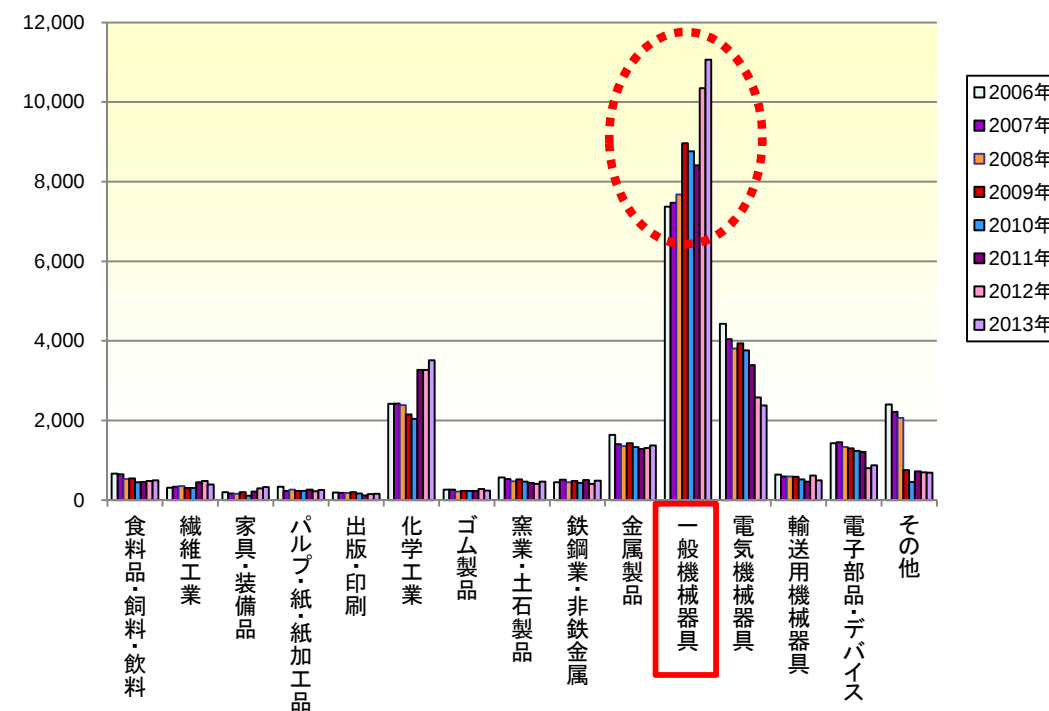
単位: 件



## 【中小企業製造業】

製造業別の特許出願推移(中小企業)

単位: 件

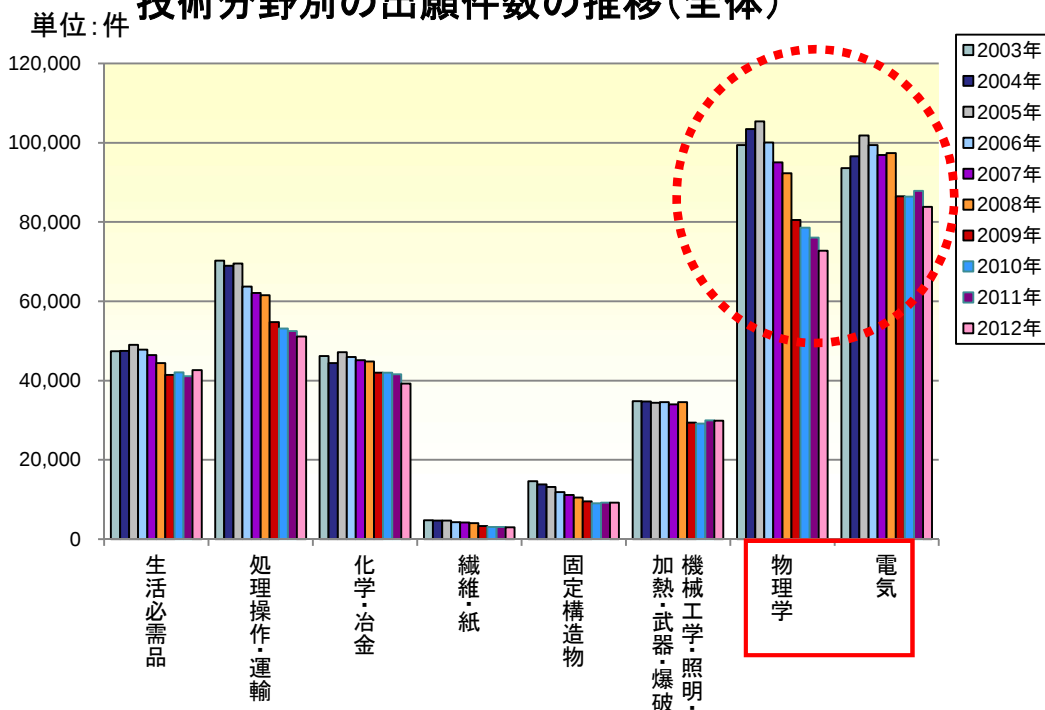


# (14) 中小企業の特許出願～IPC別件数～

- 特許出願件数を技術分野別（IPC分類）にみると、出願全体では測定・試験や計算・計数などの物理学及び基本的電気素子や電気通信技術などの電気分野の出願が5割近くを占めているが、中小企業の出願に限ると、ゲーム・娯楽や医学・衛生学などの生活必需品分野の出願が最も多く、次いで運搬・包装や工作機械などの処理操作・運輸の分野となっており、この両分野を合わせると全体の5割を占めている。
- また、生活必需品分野を除き、全ての分野において出願は近年減少傾向にある。

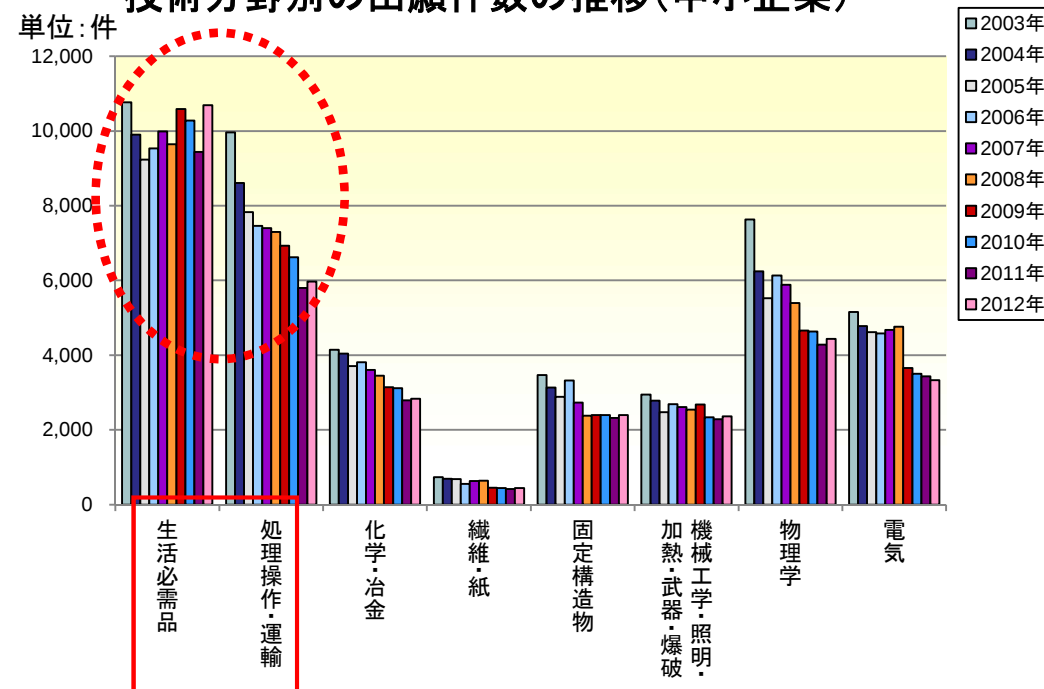
## 【全体】

技術分野別の出願件数の推移(全体)



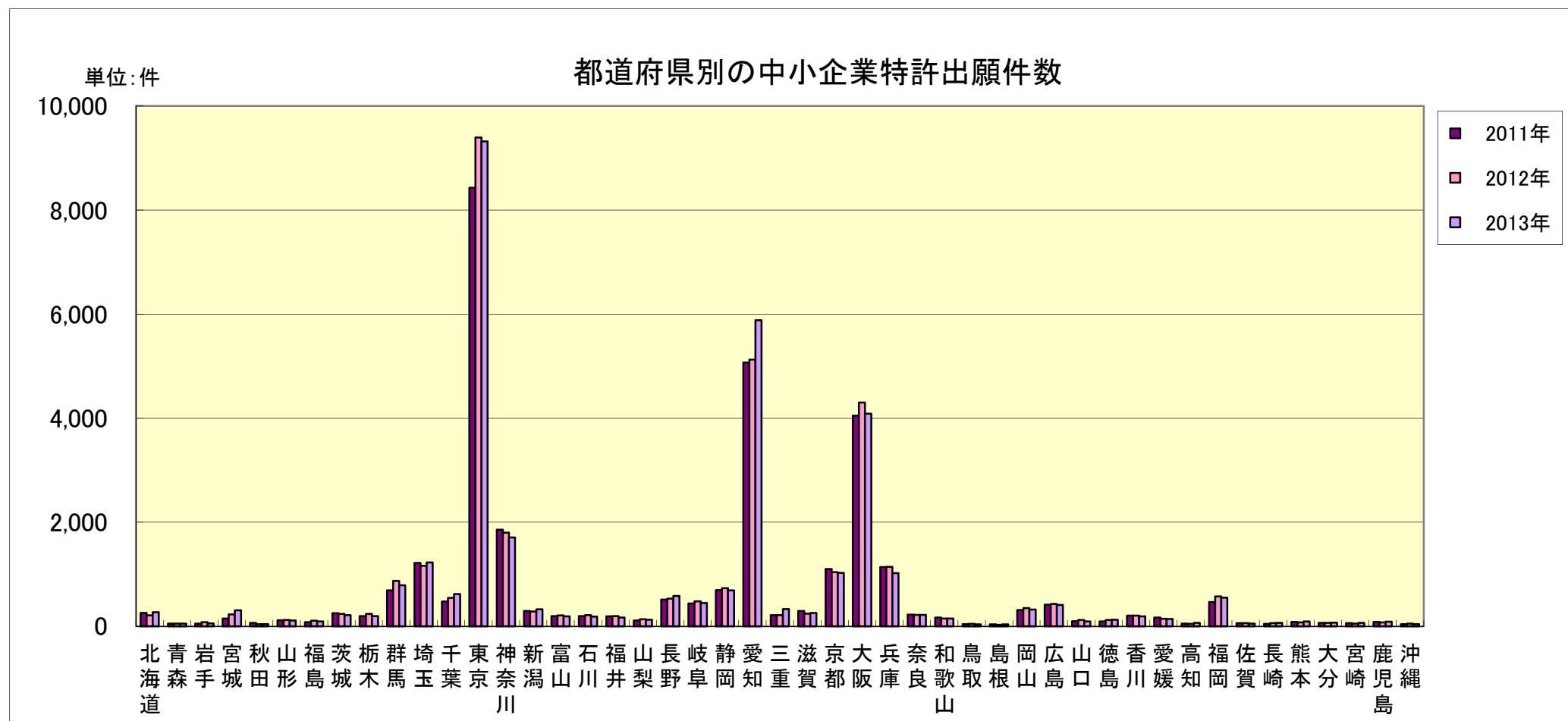
## 【中小企業】

技術分野別の出願件数の推移(中小企業)



# (15) 中小企業の特許出願～都道府県別件数～

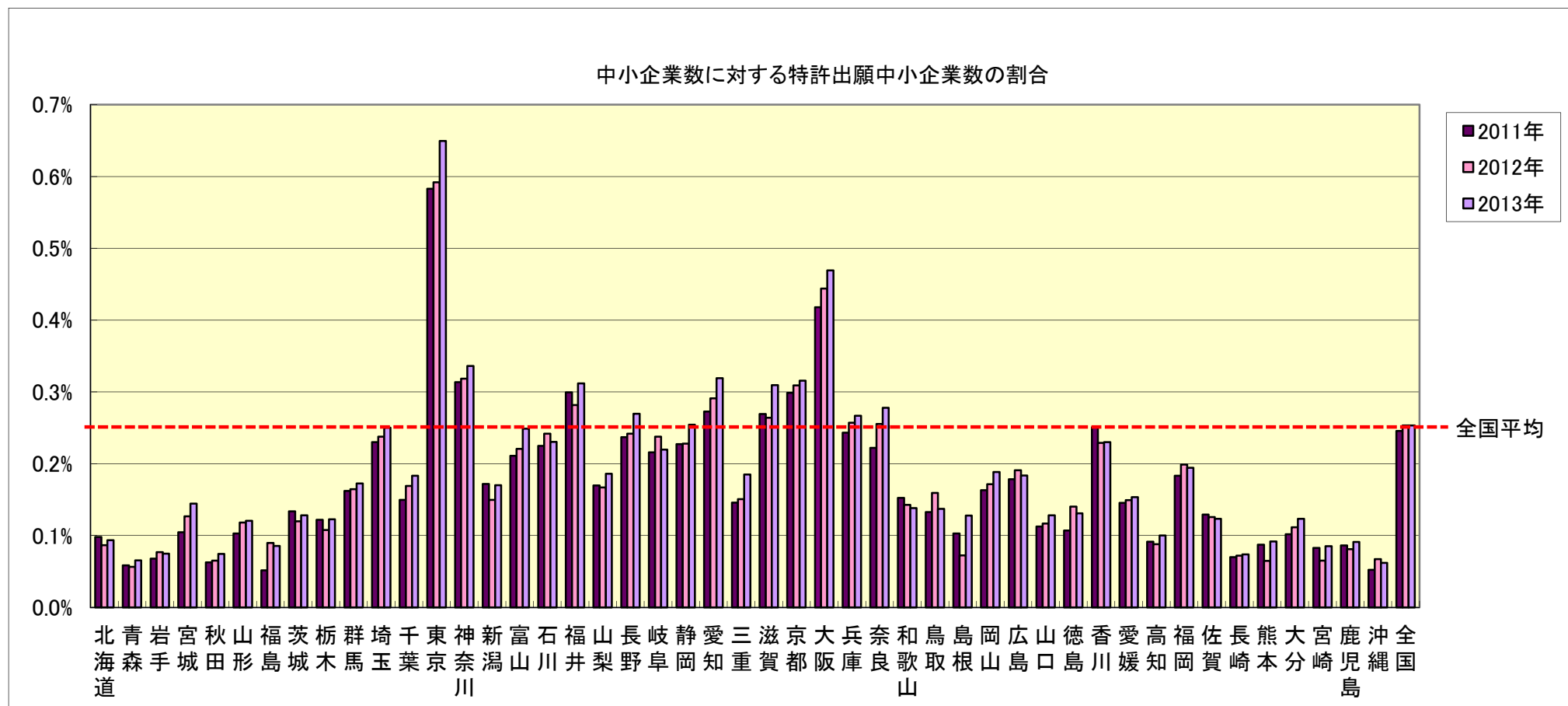
- 中小企業の特許出願件数を都道府県別にみると、3大都市圏に件数が集中しており、全国の6割近くを占めている（2013年は58.3%）。
- 近年の推移を見ると、東京、愛知は増加傾向にある。



特許庁推計(中小企業産業財産権関係統計)

# (16) 中小企業の特許出願～都道府県別比率～

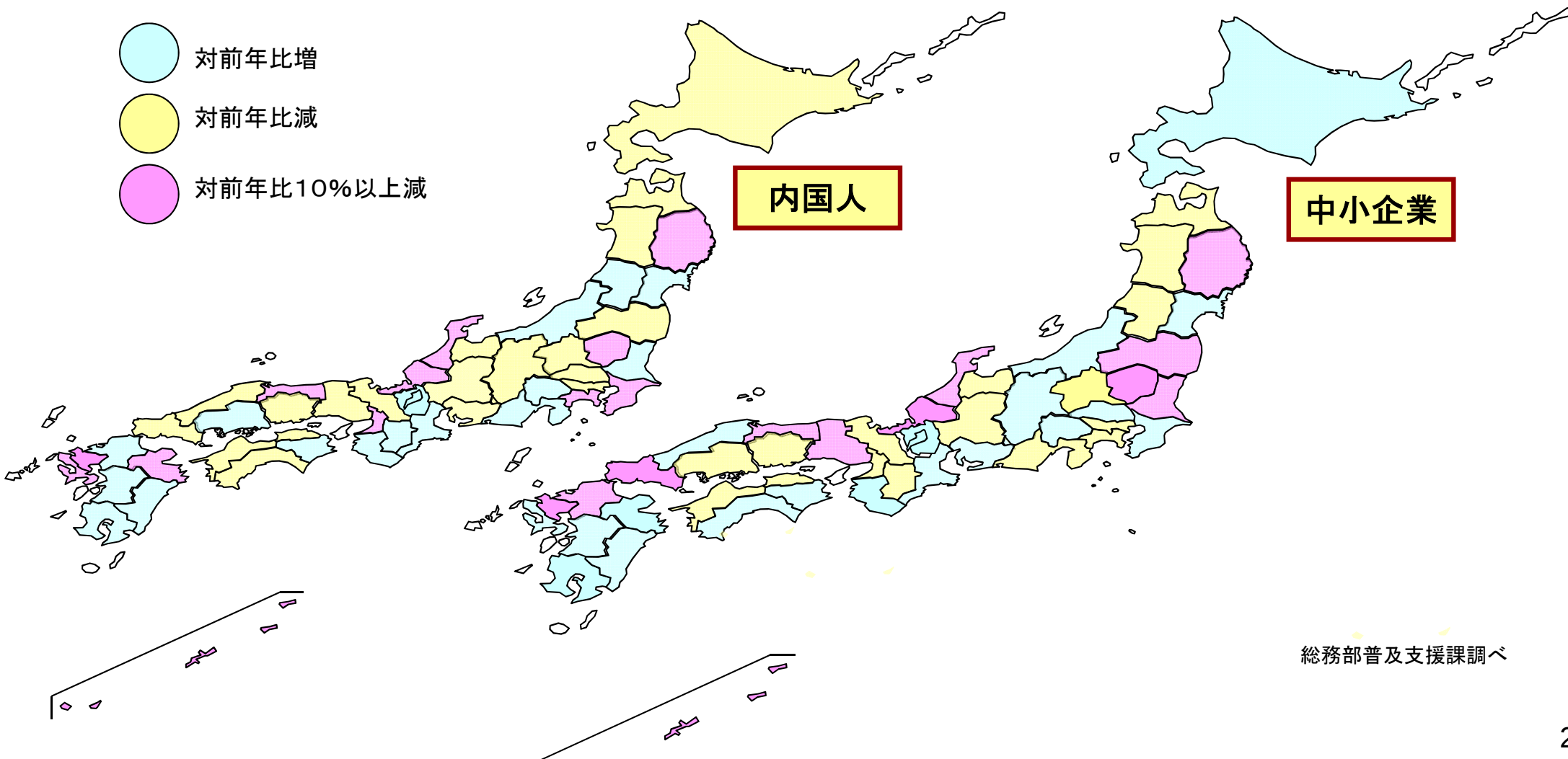
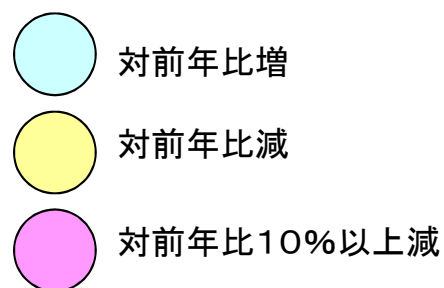
- 中小企業数に対する特許出願中小企業数の割合は、2013年で全国平均0.3%弱である（なお、製造業に限ると2.4%）が、東京、神奈川、大阪をはじめとして増加傾向にある地域もみられる。
- なお、全国平均を上回る都道府県は、東京、神奈川、福井、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良となっており、必ずしも大都市圏に片寄っているわけではない。



中小企業数は「中小企業白書2014年版付属統計資料」、特許出願中小企業数は「総務部普及支援課調べ」

## (17) 中小企業の特許出願～都道府県別伸び率～

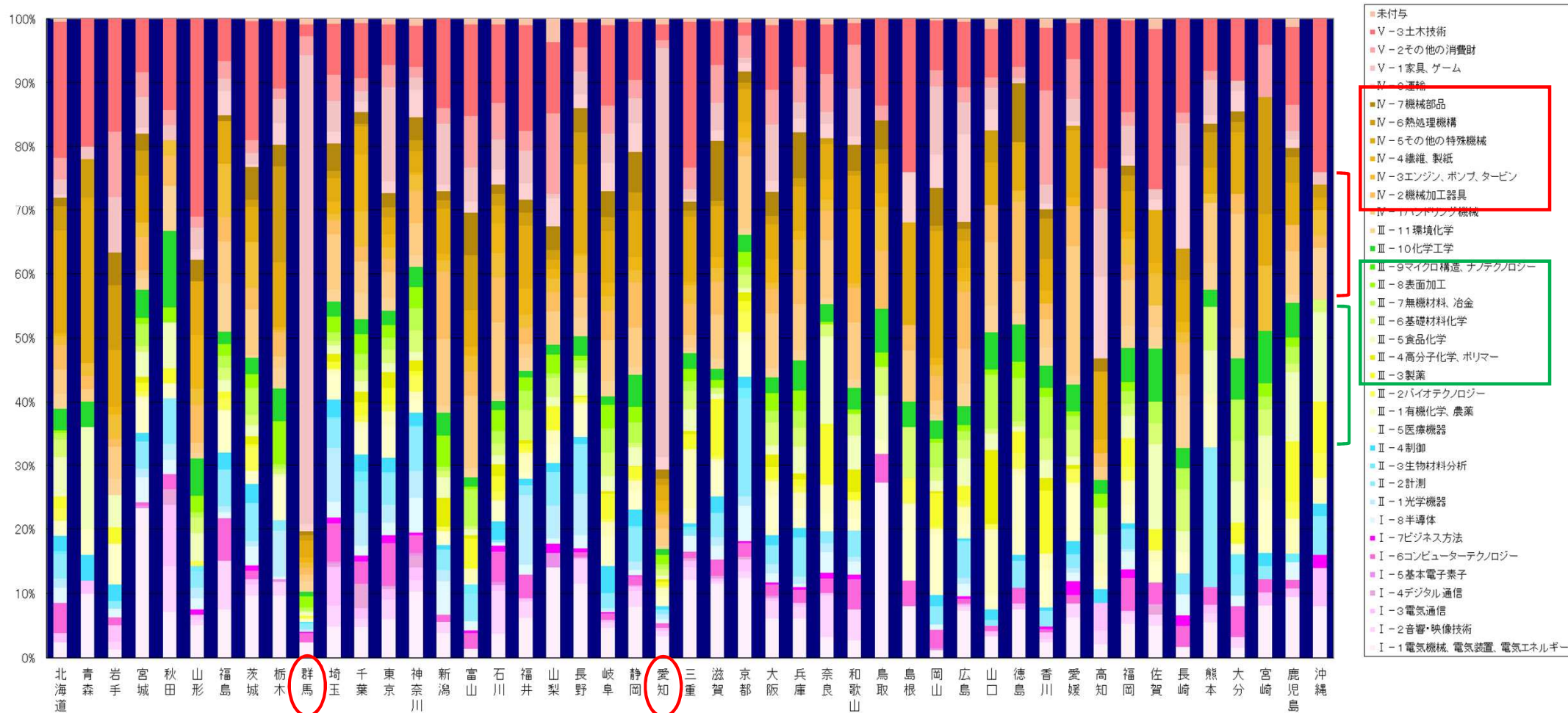
- 2013年の特許出願件数を都道府県別にみると、対前年比でプラスに転じているのは16県（前年は30県）、減少している県は31県（同17県）。うち12県（同2県）は10%以上の落ち込み。
- 中小企業の出願に限定すると、増加は18県（同28県）、減少は29県（同17県）。うち12県（同8県）は10%以上の落ち込みとなっている。



# (18) 中小企業の特許出願～都道府県別技術分野構成～

- 中小企業の2012年の特許出願を、WIPOが設定したIPC分類を基準とした技術分野に基づき都道府県別の分野構成をみると、機械工学と化学分野の占める割合が全般に大きい。
- 地域の産業特性との関連がうかがえる地域もあり、例えば娯楽用機械メーカーの多い愛知や群馬においては、家具・ゲーム（V-1）の出願割合が大部分を占めている。

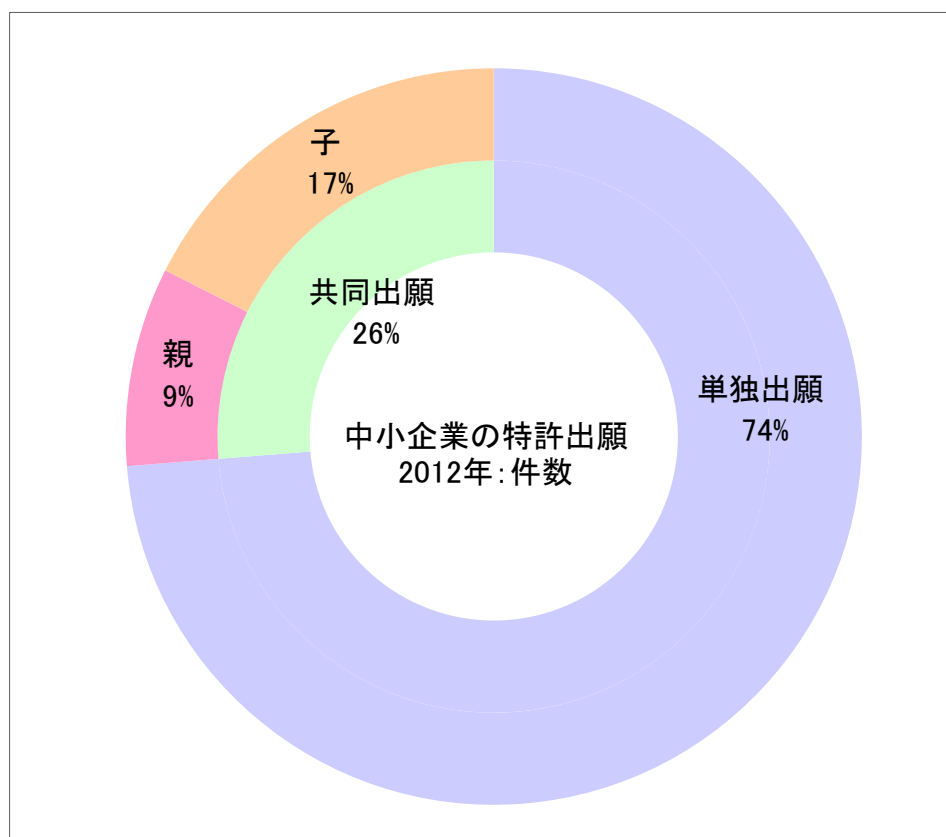
中小企業の特許出願におけるWIPO技術分野の構成（2012年）



## (19) 中小企業の特許出願～単独出願と共同出願～

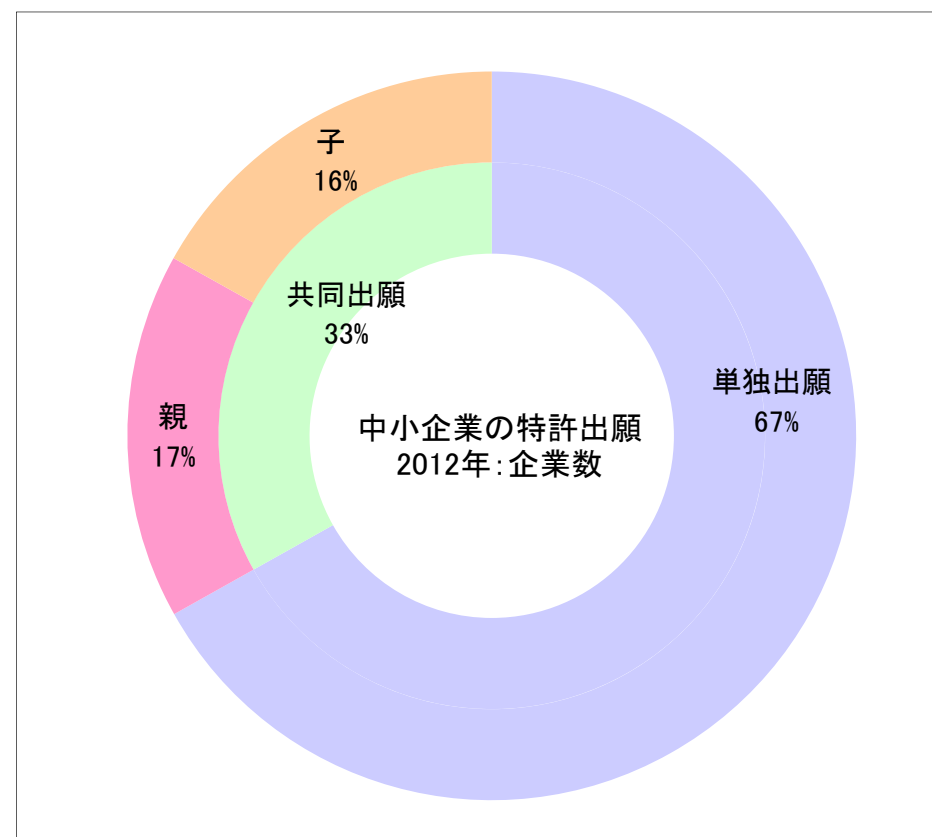
- 中小企業の特許出願件数のうち、単独出願が全体の74%（前年72%）、共同出願は26%（同28%）となっている。
- 共同出願のうち、1/3が筆頭出願人（親）の出願、2/3が共同出願人（子）の出願となっている。
- 出願企業数でみると、単独出願が67%（同65%）、共同出願が33%（同35%）となっており、共同出願のうち、親が49%（同46%）、子が51%（同54%）となっている。

【出願件数】



総務部普及支援課調べ

【出願企業数】

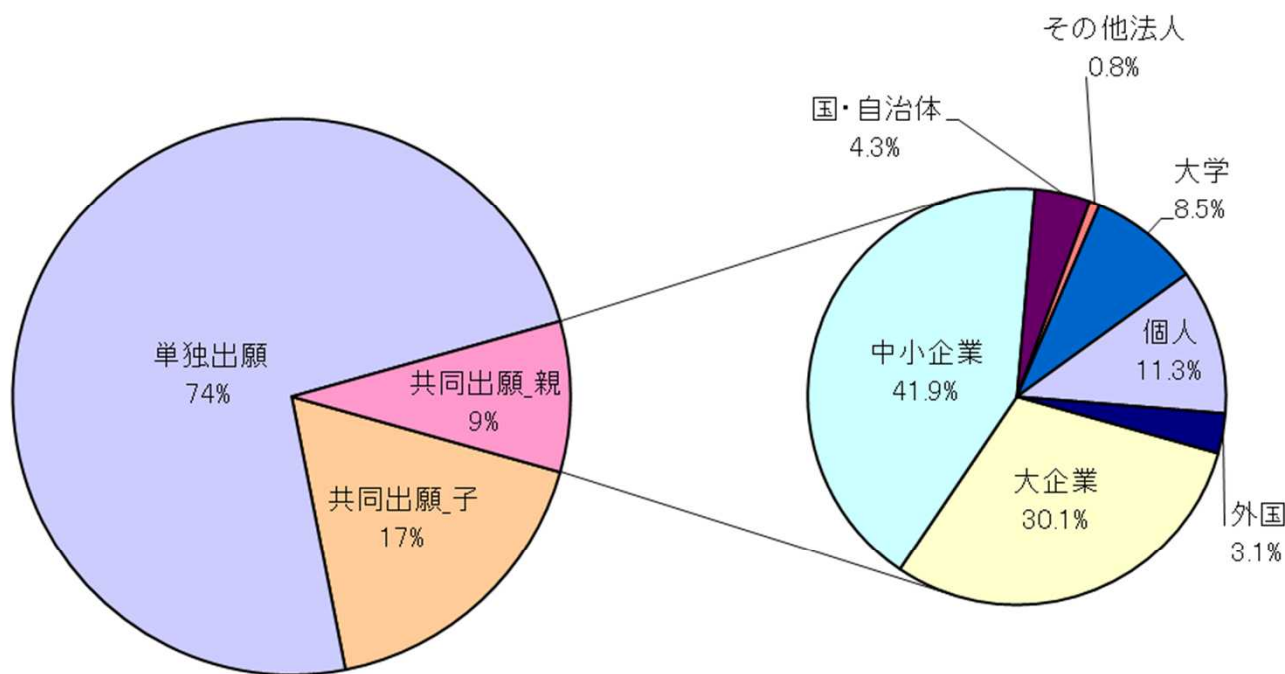


総務部普及支援課調べ

## (20) 中小企業の特許出願～共同出願(親の場合)～

- 中小企業の特許共同出願について、中小企業が筆頭出願人（親）の場合の共同出願人（子）は、大企業が30%（前年31%）、中小企業42%（同41%）、大学9%（同8%）、国・自治体4%（同3%）、個人11%（同13%）、その他4%（同4%）となっている（出願件数ベース）。
- 中小企業が親の場合、その相手方として中小企業を選択することが多い。

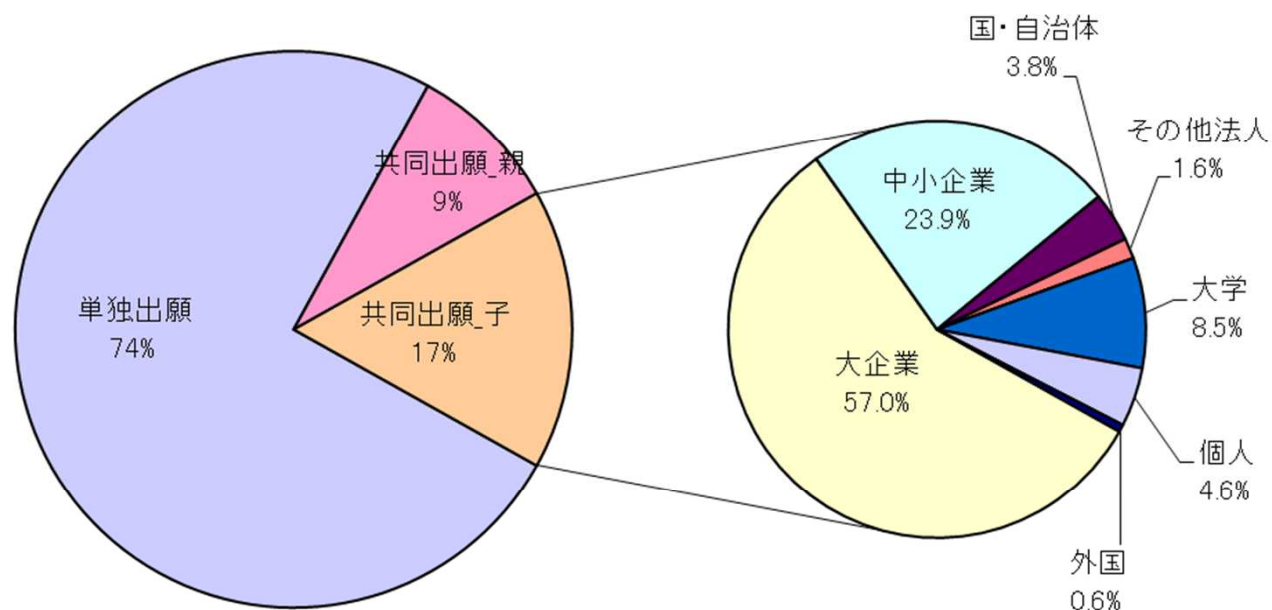
【中小企業が筆頭出願人(親)の場合の共同出願人(子)】



## (21) 中小企業の特許出願～共同出願(子の場合)～

- 逆に、中小企業が子の場合の相手方（親）は、大企業57%（前年57%）、中小企業24%（同23%）、大学9%（同8%）、国・自治体4%（同5%）、個人5%（同5%）、その他2%（同2%）となっている（出願件数ベース）。
- 中小企業が子の場合、大企業が親（筆頭出願人）になっているケースが多い。

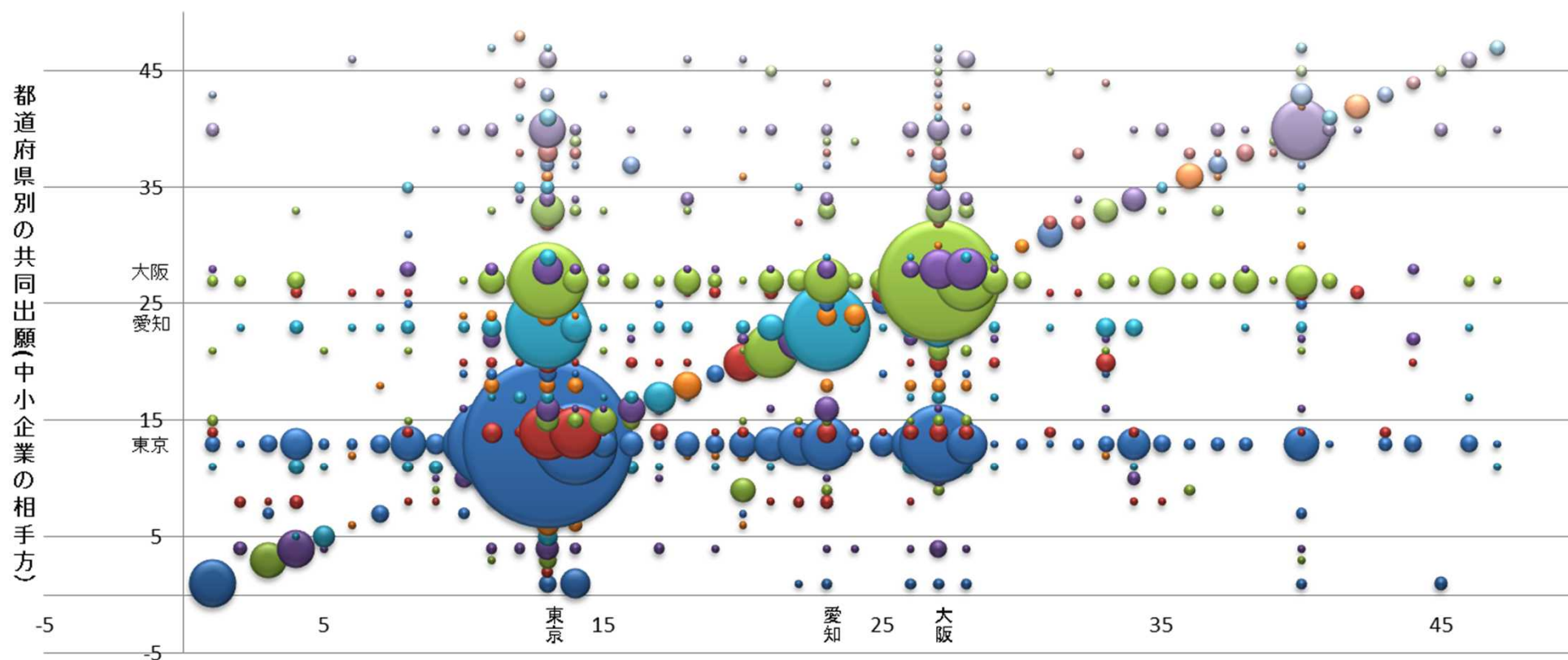
【中小企業が共同出願人(子)の場合の筆頭出願人(親)】



## (22) 中小企業の特許出願～共同出願の組合せ(都道府県別)

- 中小企業の特許出願の組合せを地域別にみると、大都市圏の中小企業ほど全国各県の企業や大学等と共同して出願する傾向がみられる。
- 一方、地方においては、県内企業や近隣の大学等との共同出願の比率が高い傾向がみられる。

### 中小企業の特許出願の組合せ(2012年特許出願)

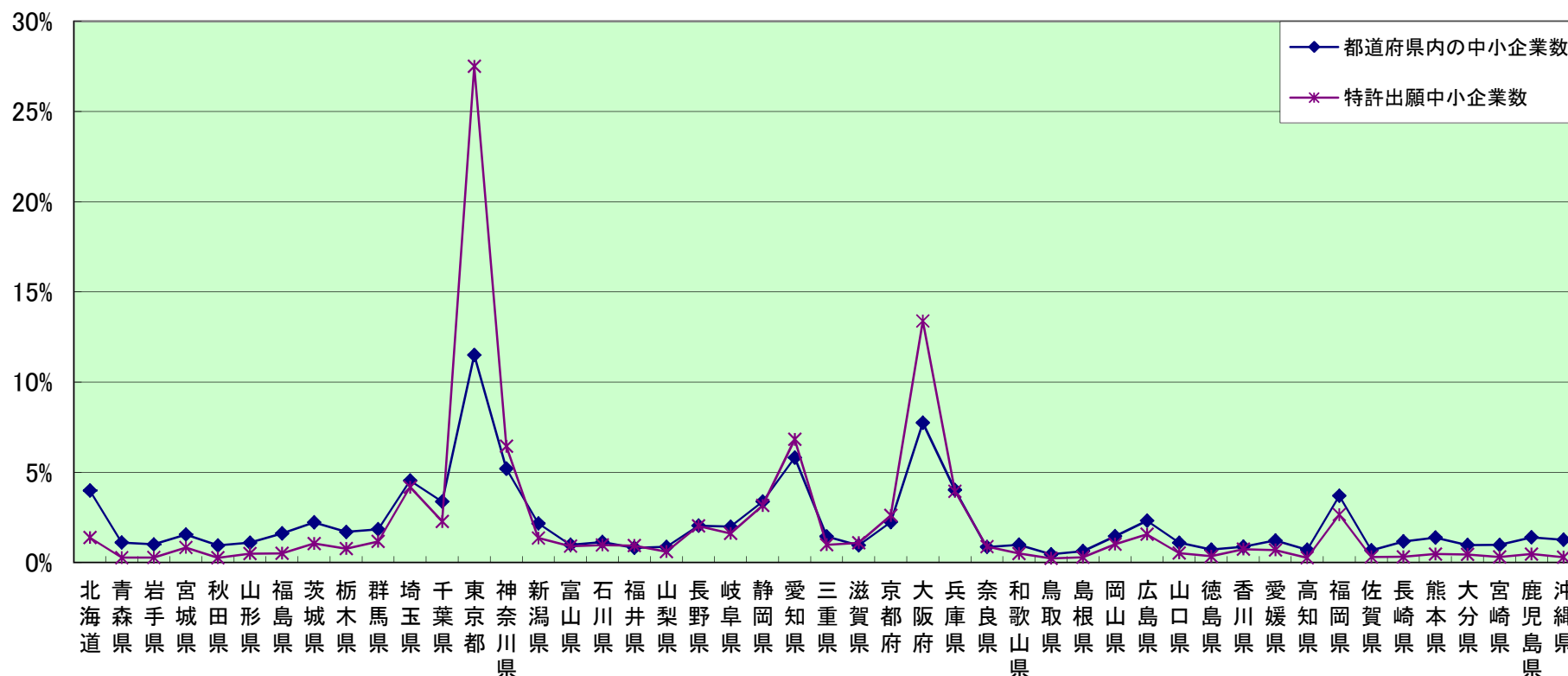


都道府県別の共同出願(中小企業)

## (23) 中小企業の特許出願～中小出願者数と中小企業数の関係～

- 2013年の都道府県別特許出願中小企業数と都道府県内の中小企業数を全国シェアで比較すると、一定の相関関係がみられる。
- ただし、東京、大阪は、特許出願中小企業数に比べて都道府県内の中小企業数のシェアが高く、なっている一方で、東北地域や九州地域は、特許出願中小企業数が都道府県内の中小企業数を下回っている。

特許出願中小企業数と都道府県内の中小企業数の関係(構成比の比較)

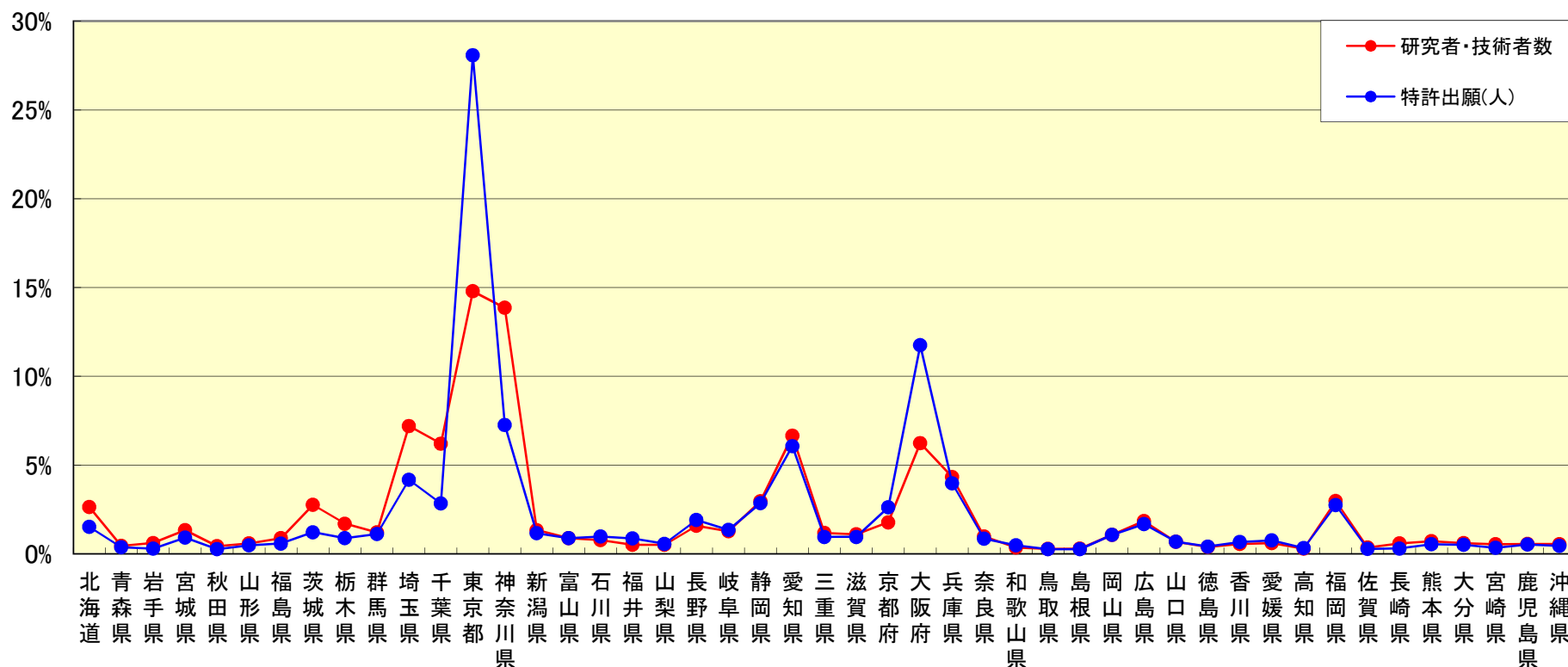


特許出願中小企業数は総務部普及支援課調べ、都道府県内の中小企業数は中小企業白書2014年版付属統計資料

## (24) 中小企業の特許出願～出願者数と技術者数の関係～

- 2013年の都道府県別特許出願者数と研究者・技術者数を全国シェアで比較すると、相関関係がみられる。
- ただし、東京、大阪は研究者・技術者数に比べ特許出願者数のシェアが高いが、茨城、埼玉、神奈川は特許出願者数のシェアが低い。

特許出願人数と研究者・技術者数の関係(構成比の比較)

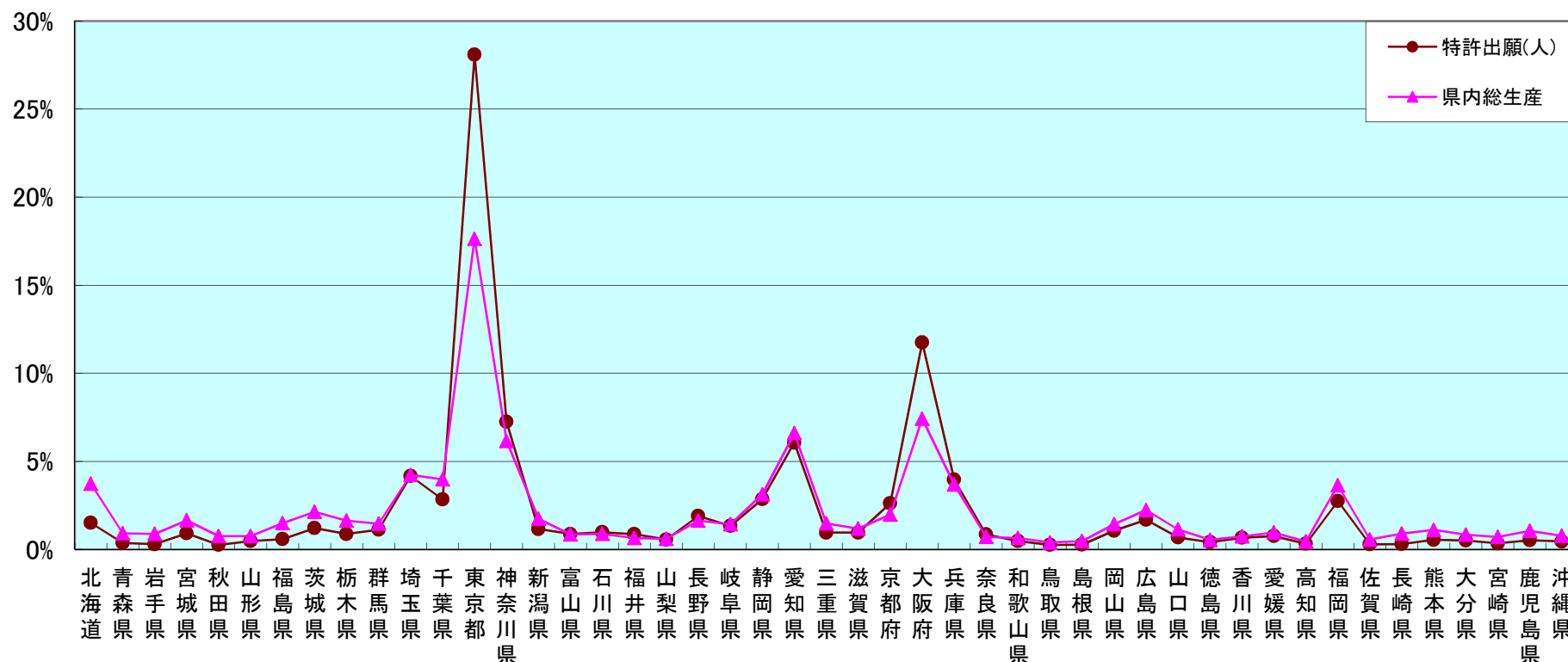


特許出願人数は総務部普及支援課調べ、研究者・技術者数は総務省「平成22年国勢調査」による。

## (25) 中小企業の特許出願～出願者数と県内総生産の関係～

- 2013年の都道府県別特許出願者数と県内総生産を全国シェアで比較すると、相関関係がみられる。
- ただし、東京、大阪は県内総生産に比べて特許出願者数のシェアが高いが、東北、九州は特許出願人数のシェアが低い。

特許出願人数と県内総生産の関係(国内シェア比較)



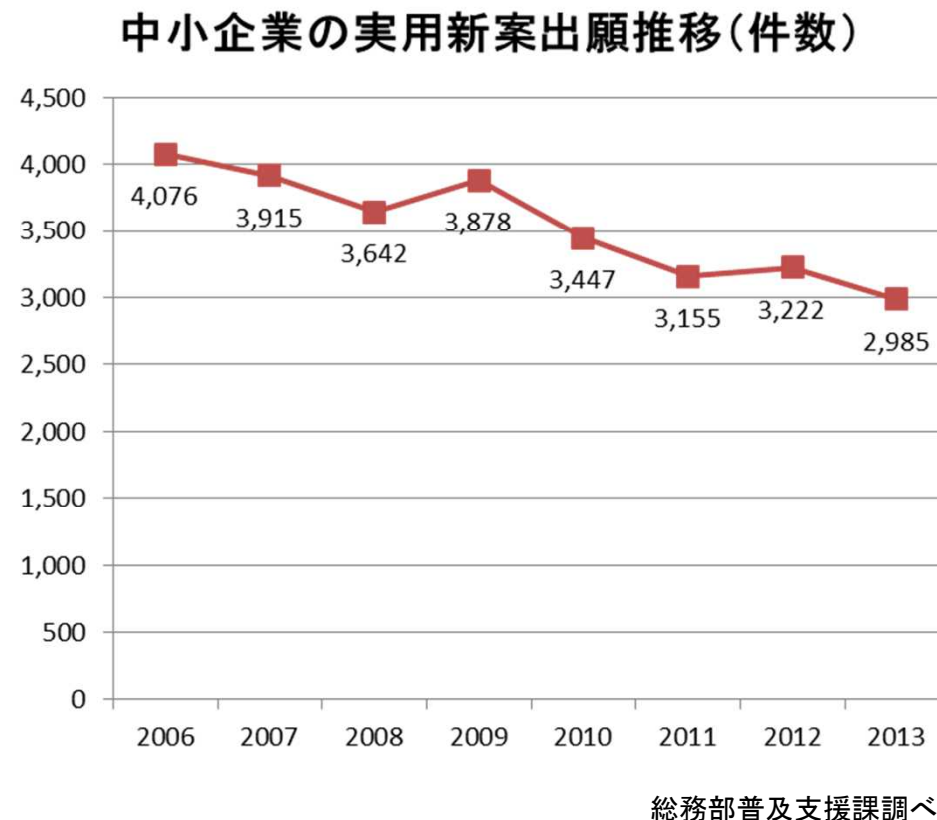
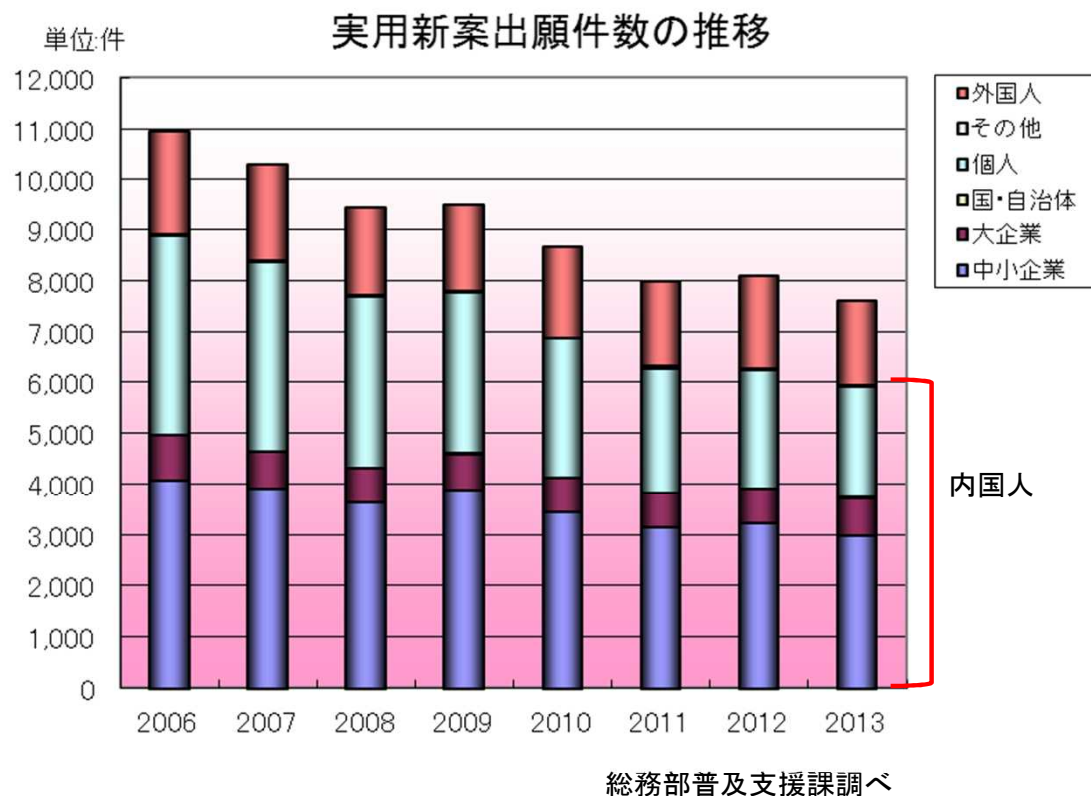
特許出願人数は総務部普及支援課調べ、県内総生産は「平成22年度県民経済計算」による。

### 3. 実用新案関連

- (1) 中小企業の実用新案出願 ～出願件数～
- (2) 中小企業の実用新案出願 ～出願者数～
- (3) 中小企業の実用新案出願 ～都道府県別件数～

# (1) 中小企業の実用新案出願～出願件数～

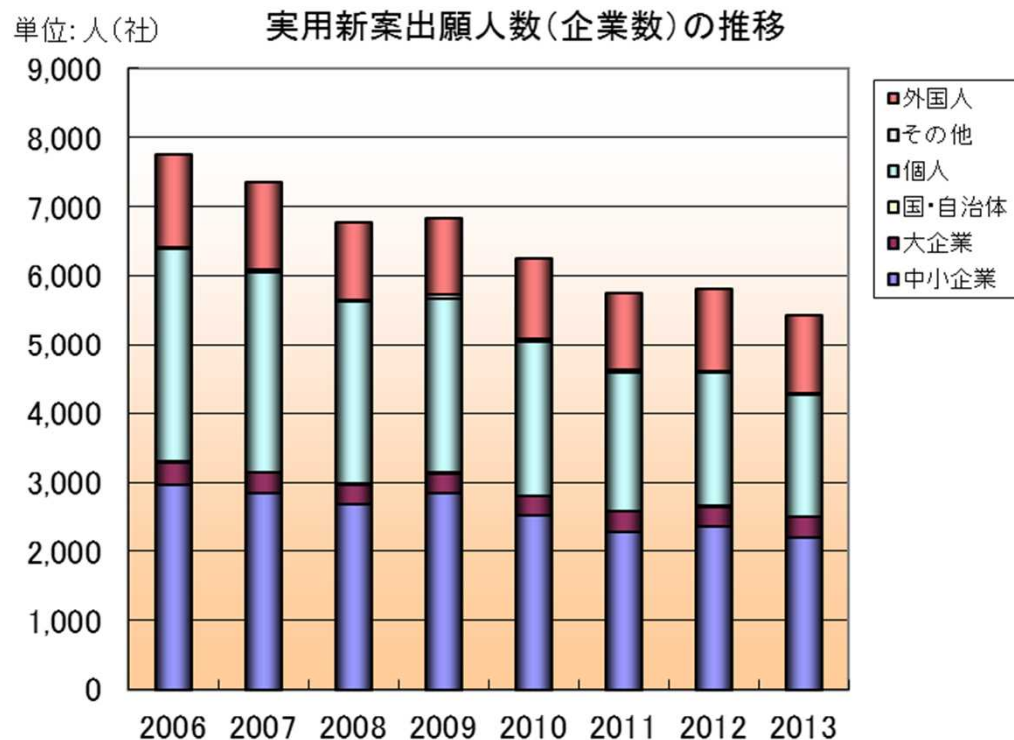
- 直近5年の年間実用新案出願件数（全体）は1万件を下回っており（2013年は8千件弱）、中小企業の実用新案出願も横ばい傾向にある（2013年は3千件、全体の約37%を占める）。
- 2013年の実用新案出願は、全体では対前年比6.0%減、内国人出願では、対前年比5.2%減。中小企業に限ってみても対前年比7.4%減となっている（大企業は対前年比9.2%増）。



## (2) 中小企業の実用新案出願～出願者数～

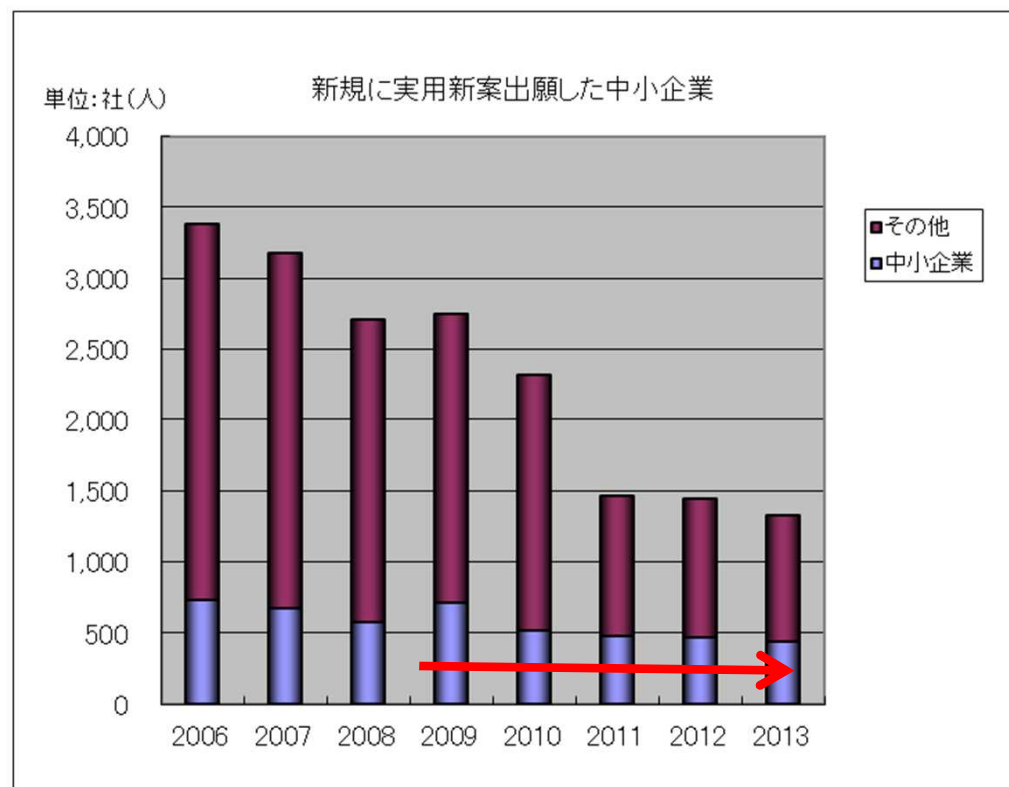
- 実用新案出願者数（全体）は、近年やや減少傾向にあり、2013年是对前年比6.7%減となった。中小企業の出願企業数も対前年比6.5%減となっている。
- また、新規に実用新案出願した中小企業数は、横ばい傾向にある。

### 【出願者数】



総務部普及支援課調べ

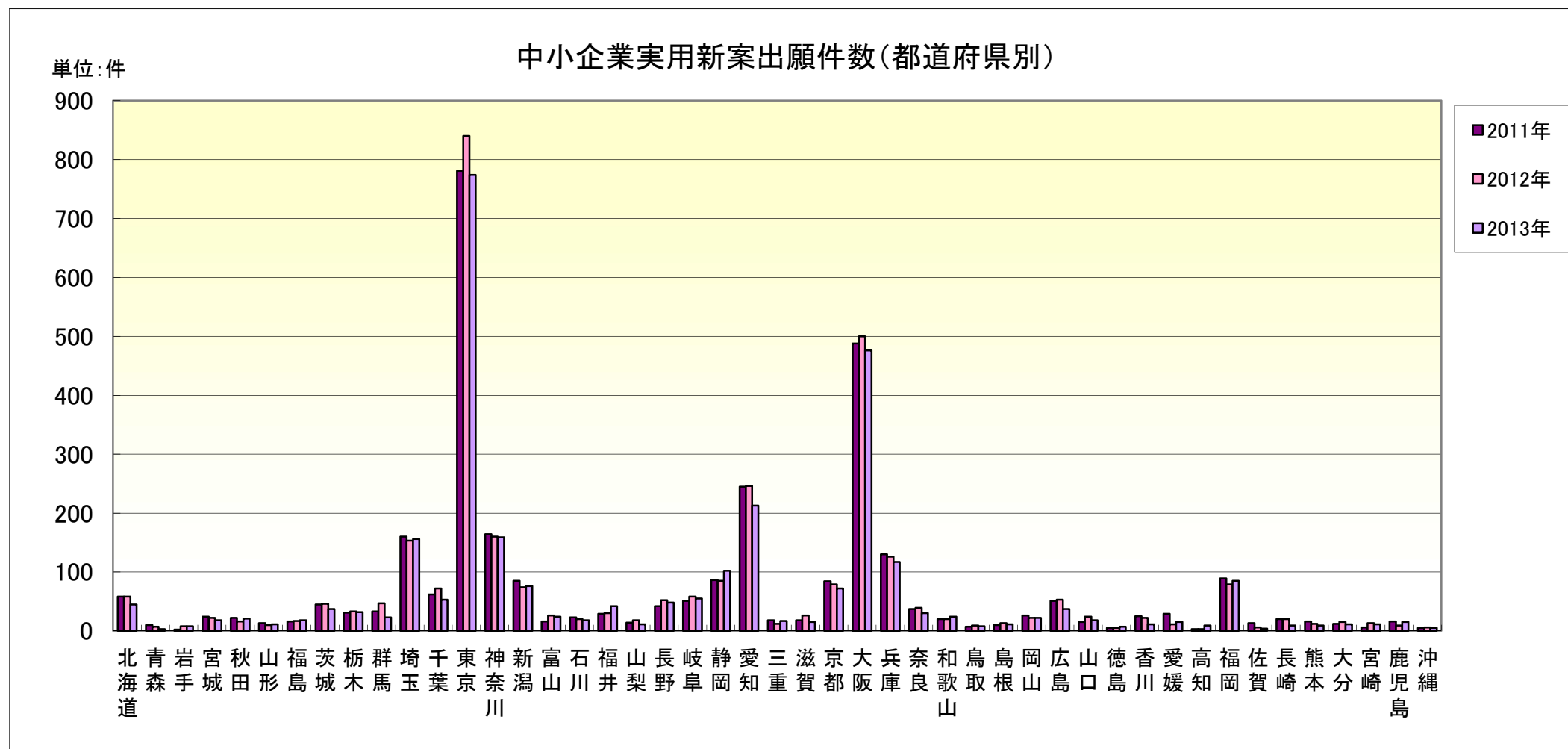
### 【新規出願者数】



総務部普及支援課調べ

### (3) 中小企業の実用新案出願～都道府県別件数～

■ 中小企業の実用新案出願件数を都道府県別でみると、東京、大阪、愛知に集中しており、全国の5割近く（2013年は49.0%）を占めている。



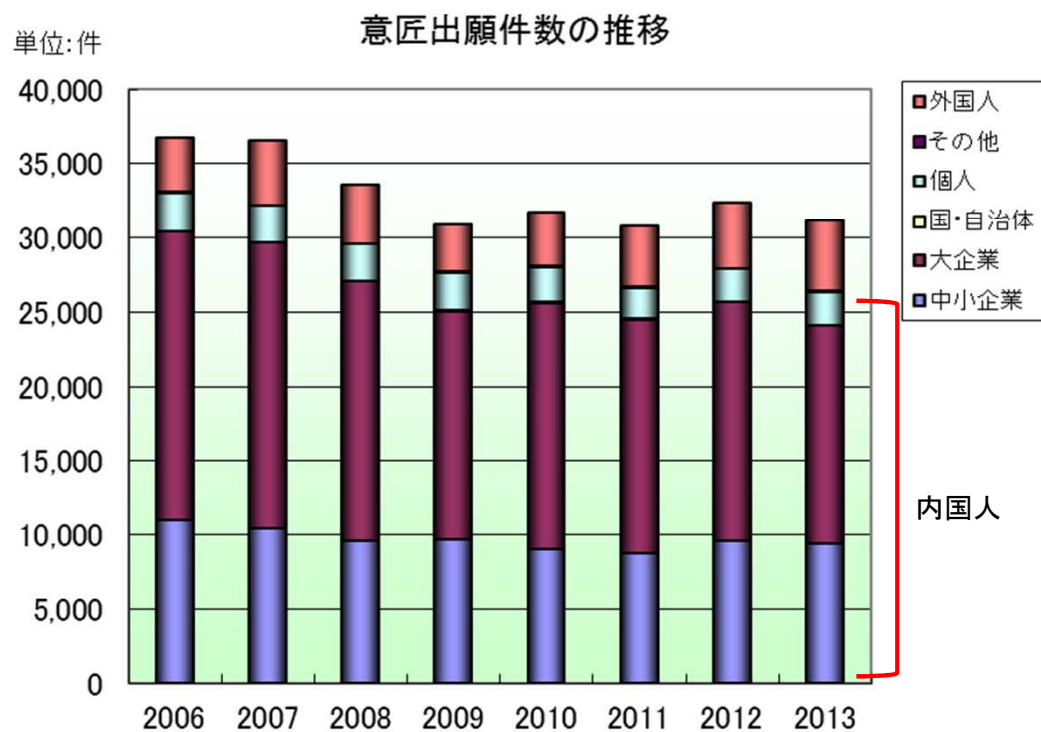
特許庁推計(中小企業産業財産権関係統計)

## 4. 意匠関連

- (1) 中小企業の意匠出願 ～出願件数～
- (2) 中小企業の意匠出願 ～出願者数～
- (3) 中小企業の意匠出願 ～業種別件数～
- (4) 中小企業の意匠出願 ～業種別企業数～
- (5) 中小企業の意匠出願 ～製造業別件数～
- (6) 中小企業の意匠出願 ～製造業別企業数～
- (7) 中小企業の意匠出願 ～意匠分類別件数～
- (8) 中小企業の意匠出願 ～意匠分類別者数～
- (9) 中小企業の意匠出願 ～都道府県別件数～
- (10) 中小企業の意匠出願 ～都道府県別比率～
- (11) 中小企業の意匠出願 ～都道府県別意匠分類構成～

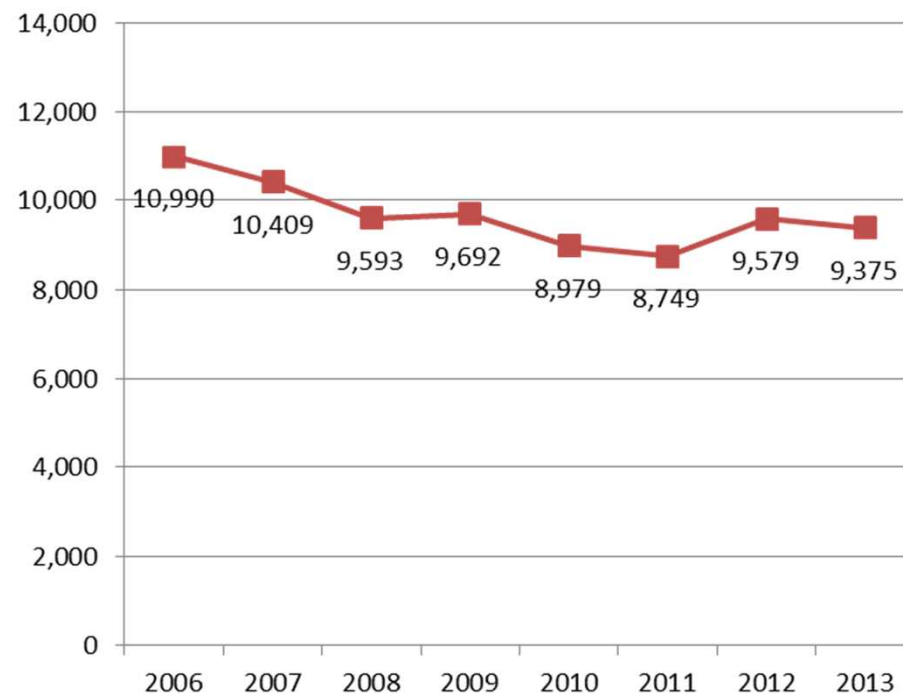
# (1) 中小企業の意匠出願～出願件数～

- 直近5年の年間意匠出願件数（全体）は3.1万～3.2万件で推移（2013年は3.1万件）。そのうち、内国人に占める中小企業の意匠出願比率は、32%～36%を維持（2013年は35.5%）。
- 2013年の意匠出願件数は、全体としては対前年比3.9%減であり、内国人出願全体においても、対前年比5.5%減となっている。中小企業に限ってみても【右図】、対前年比2.1%減となっているが、ほぼ横ばいで推移している。



総務部普及支援課調べ

中小企業の意匠出願推移(件数)

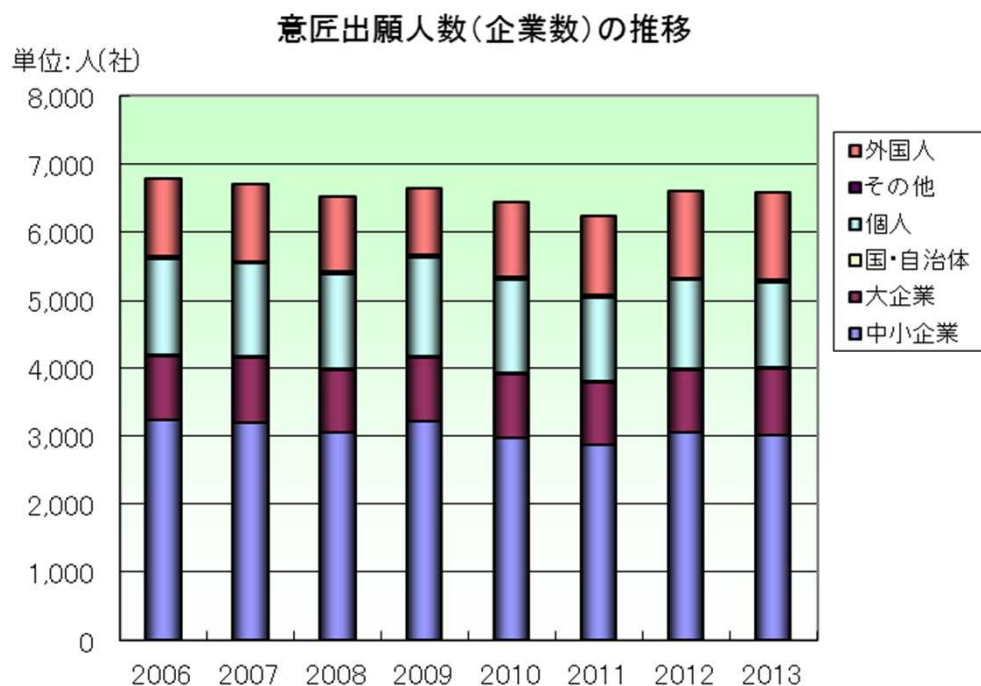


総務部普及支援課調べ

## (2) 中小企業の意匠出願～出願者数～

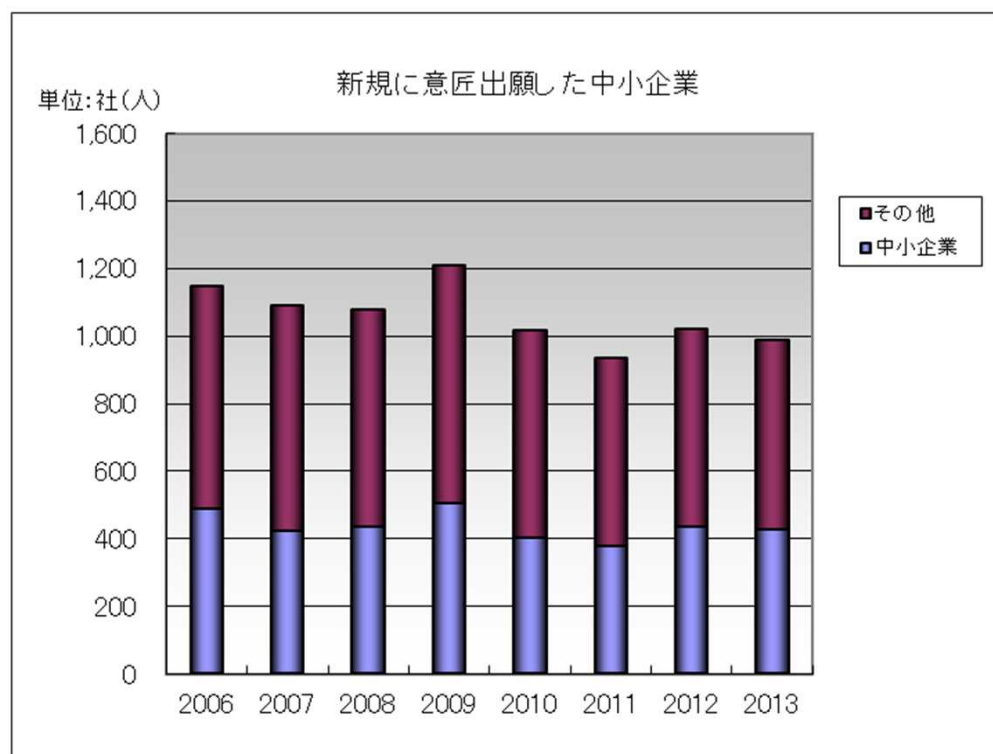
- 意匠出願者数全体に占める中小企業数は、55%～57%（2013年は57%）と高い比率となっている。
- しかし、2013年に意匠出願を行った中小企業数をみると、対前年比1.2%減、新規に意匠出願した中小企業数も対前年比1.6%減となっている。

### 【出願者数】



総務部普及支援課調べ

### 【新規出願者数】

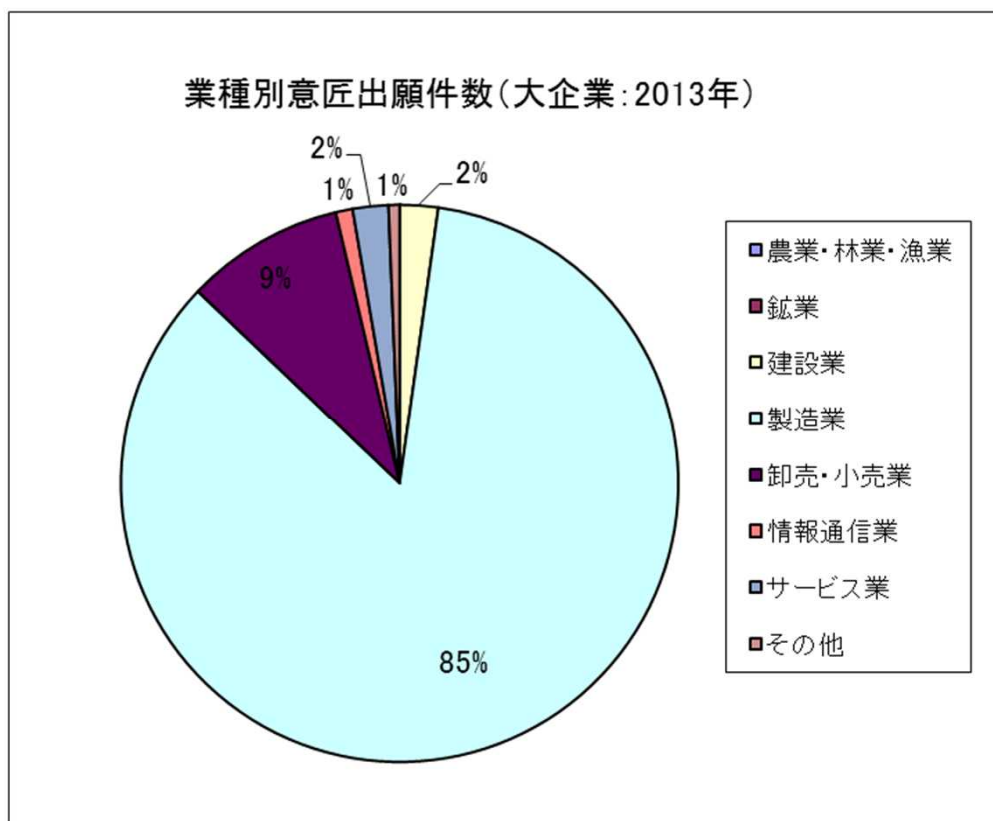


総務部普及支援課調べ

### (3) 中小企業の意匠出願～業種別件数～

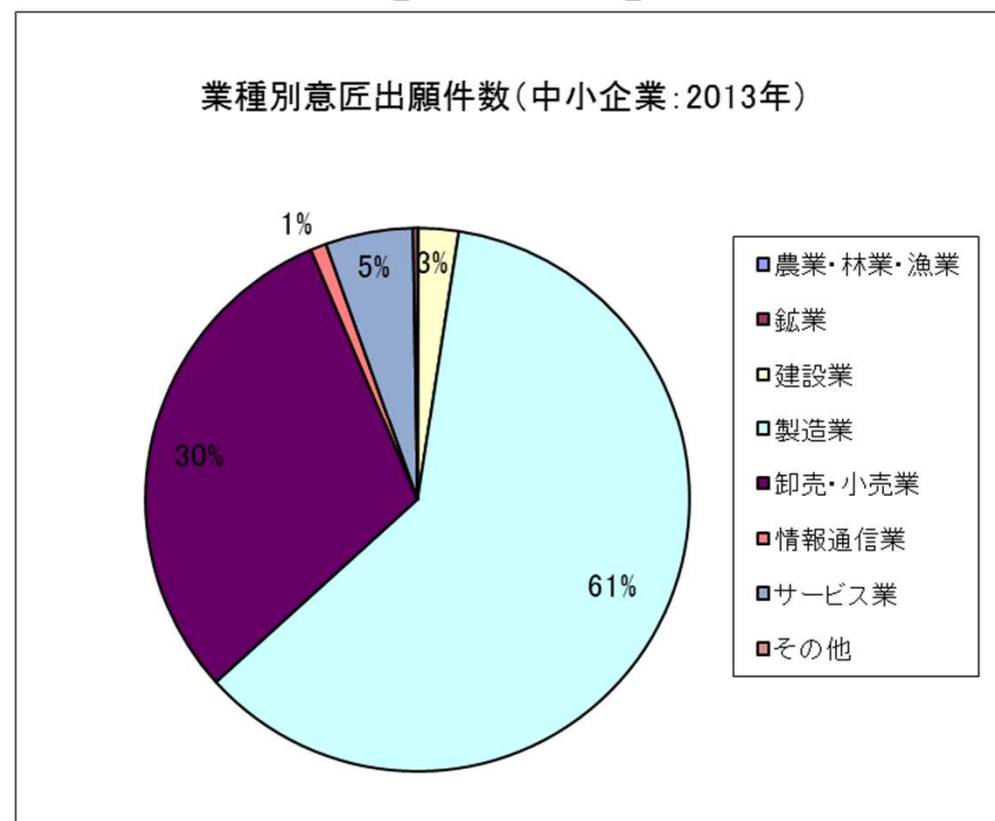
- 中小企業の意匠出願件数を業種別にみると【右図】、製造業が中小企業全体の61%を占め、次いで、卸売・小売業が30%を占めており、この2業種で全体の91%となっている。
- 一方、大企業においては【左図】、製造業が全体の85%を占めている。

【大企業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

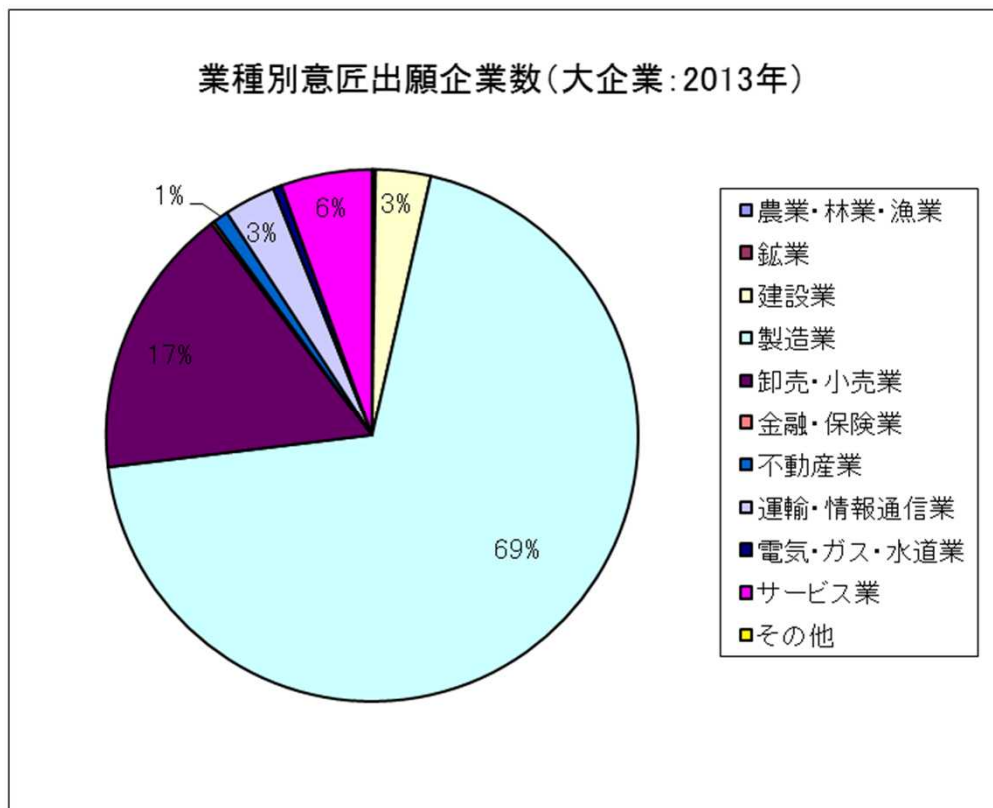


総務部普及支援課調べ

## (4) 中小企業の意匠出願～業種別企業数～

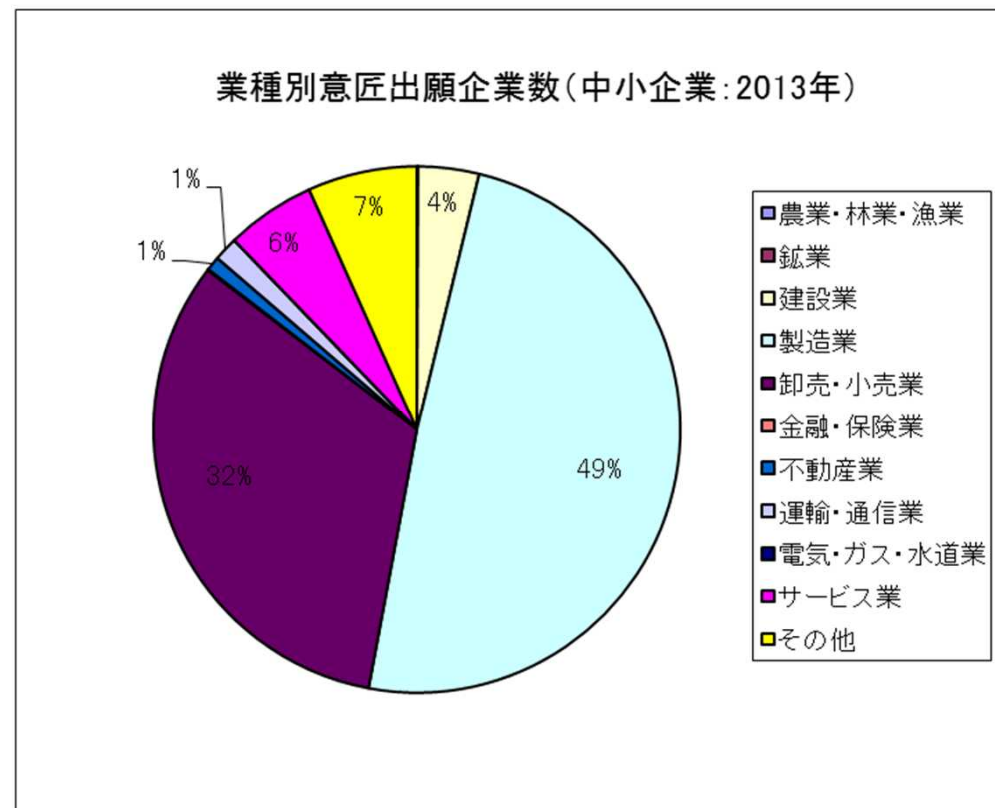
- 意匠出願した中小企業数を業種別にみると【右図】、製造業が全体の49%を占め、次いで、卸売・小売業が32%を占めており、この2業種で全体の81%となっている。
- 一方、大企業においては【左図】、製造業が約7割（2013年は69%）を占め、次いで卸売・小売業が17%となっている。

【大企業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

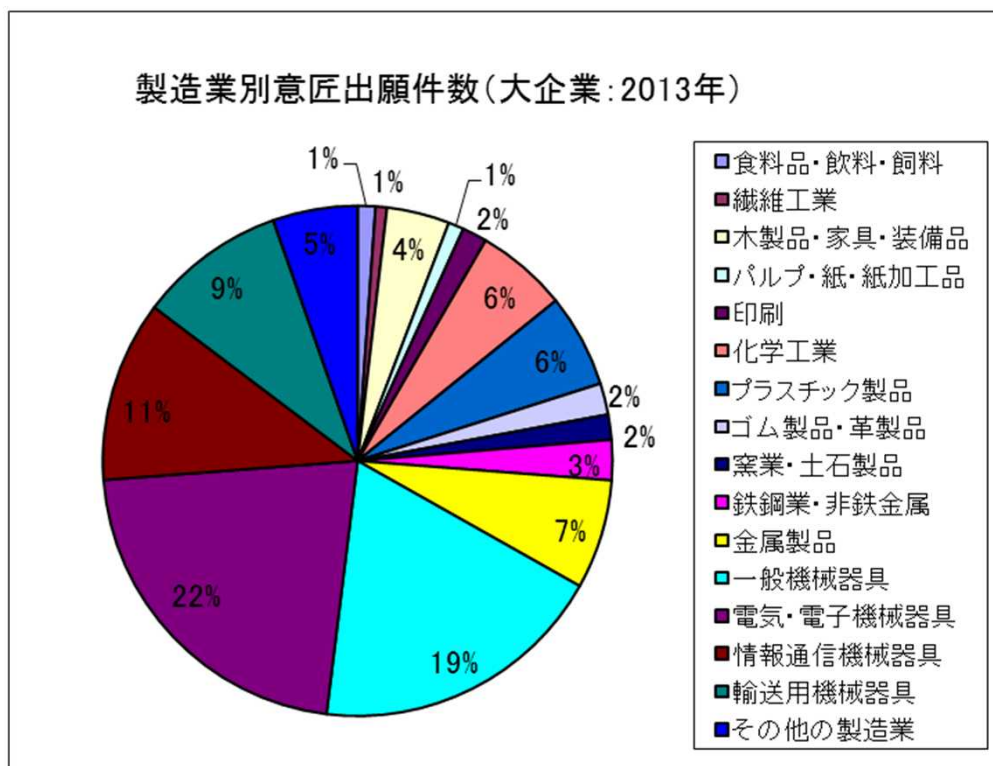


総務部普及支援課調べ

## (5) 中小企業の意匠出願～製造業別件数～

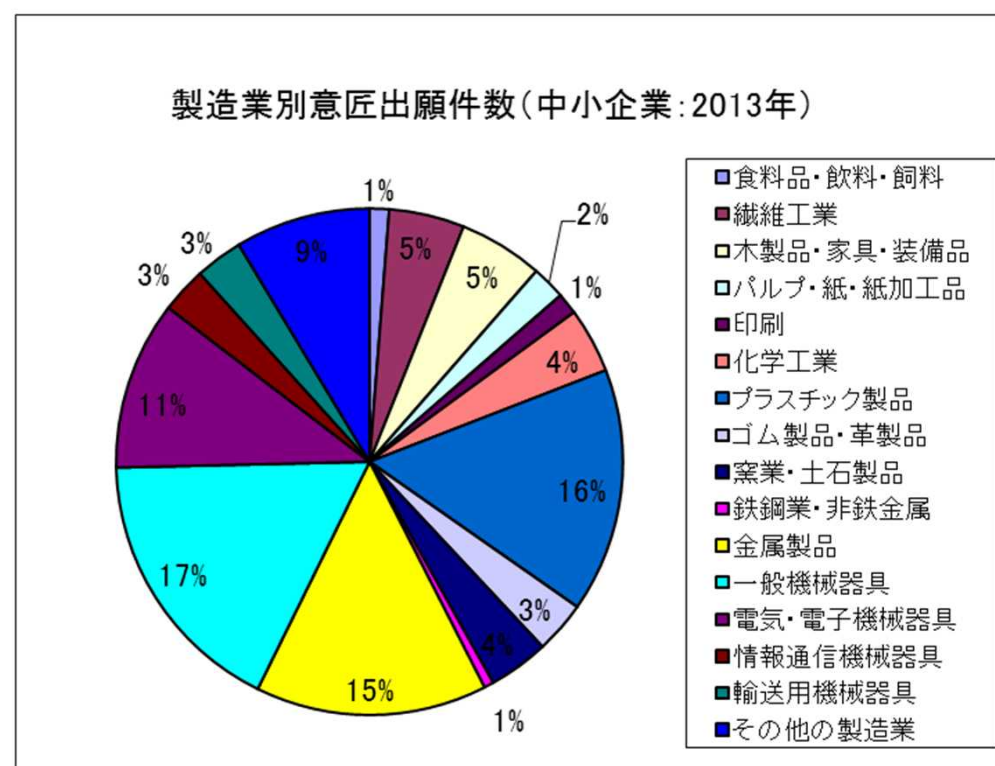
- 中小企業製造業の意匠出願件数を分類別にみると【右図】、機械工具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（17%）、プラスチック日用雑貨・食卓品・容器などのプラスチック製品（16%）、建築用金属製品などの金属製品製造業（15%）の出願割合が高い。
- 一方、大企業では【左図】、民生用電気機械器具や発電・電動機などの電気・電子機械器具製造業（22%）、産業用機械器具や生産用機械器具などの一般機械器具製造業（19%）の出願割合が高い。

【大企業製造業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

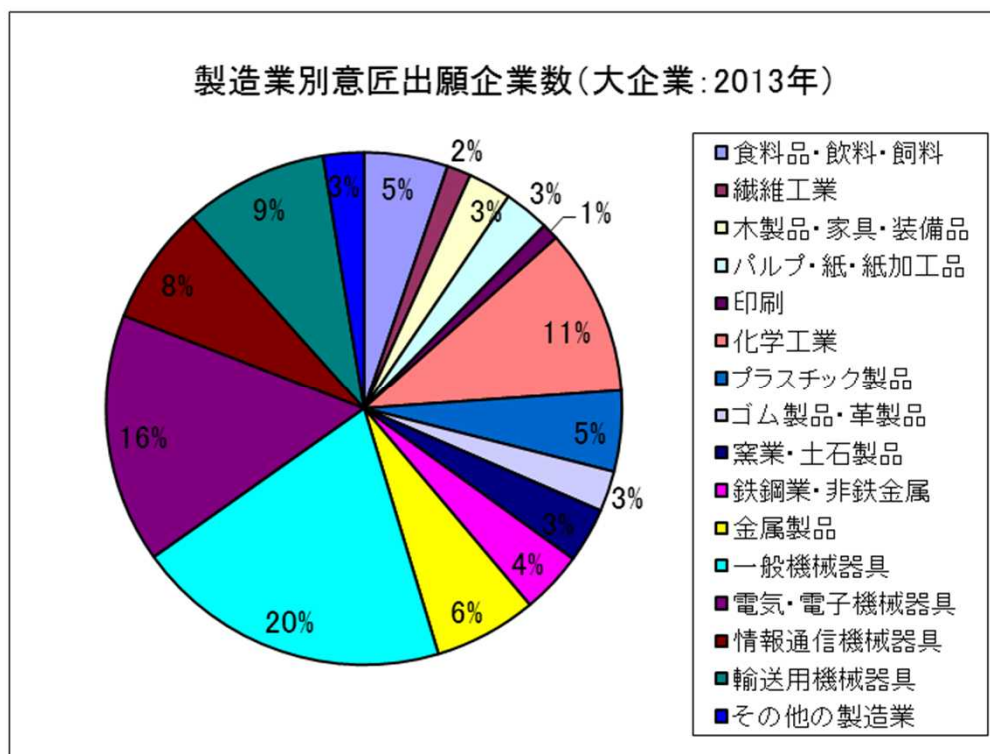


総務部普及支援課調べ

## (6) 中小企業の意匠出願～製造業別企業数～

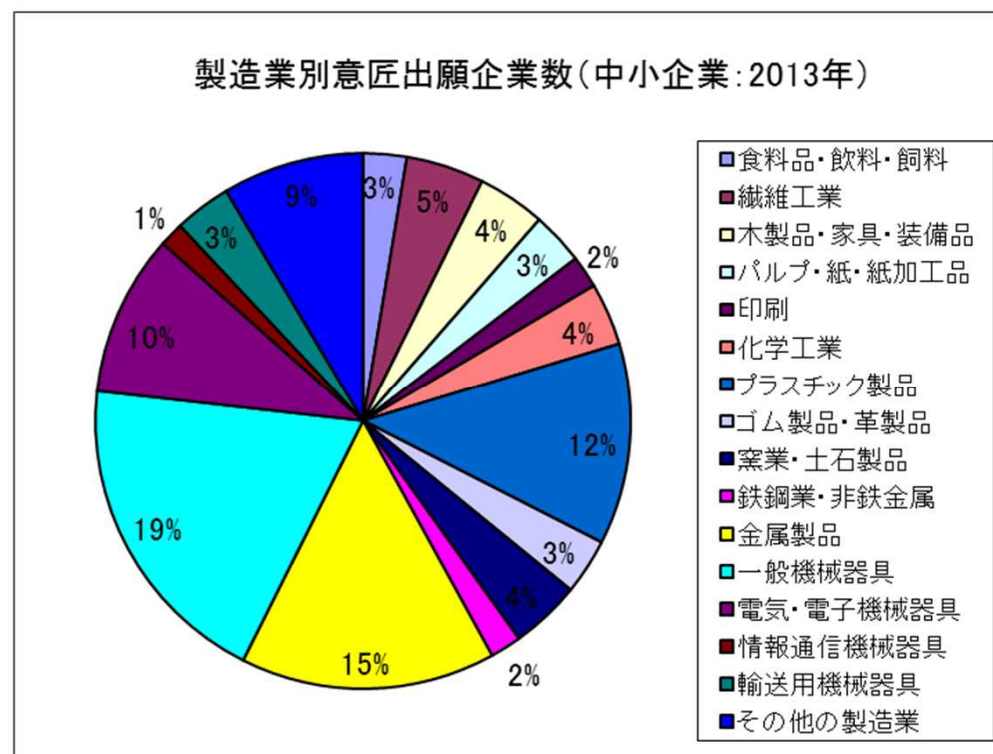
- 意匠出願した中小企業製造業数を分類別にみると【右図】、機械工具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（19%）、建築用金属製品などの金属製品製造業（15%）、プラスチック日用雑貨・食卓品・容器などのプラスチック製造業（12%）の割合が高い。
- 大企業においては【左図】、事務用機械器具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（20%）、発電・電動機などの電気・電子機械器具製造業（16%）、医薬品などの化学工業（11%）の割合が高い。

【大企業製造業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

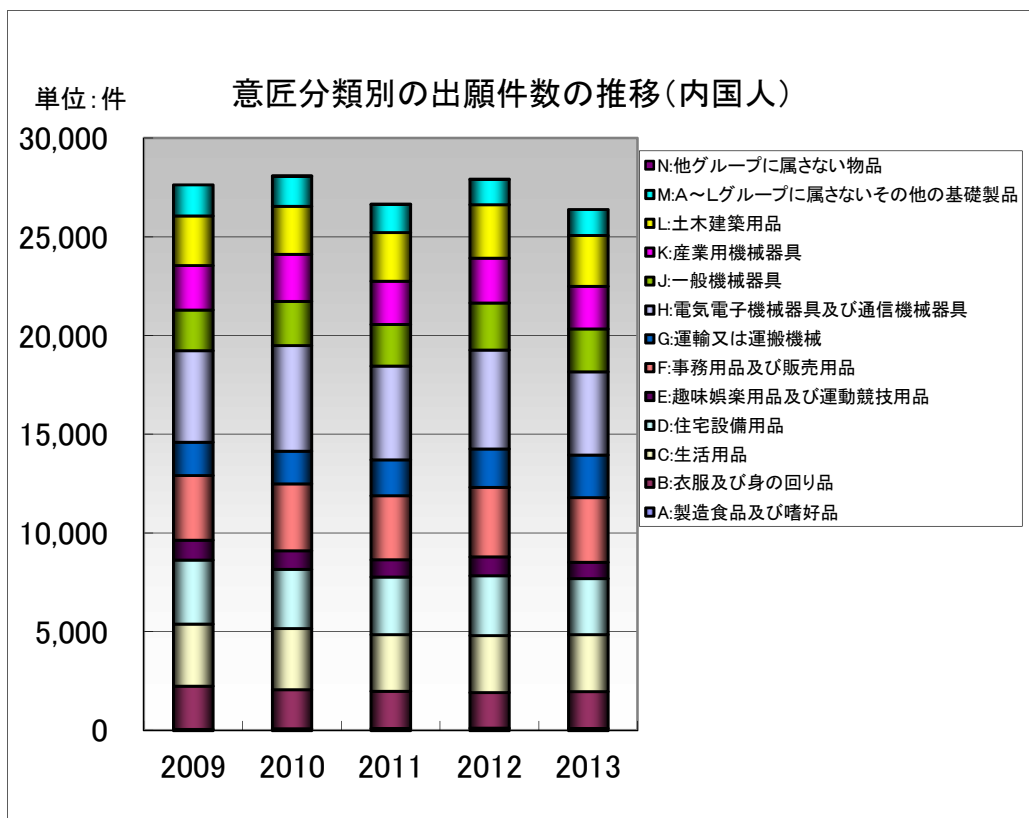


総務部普及支援課調べ

## (7) 中小企業の意匠出願～意匠分類別件数～

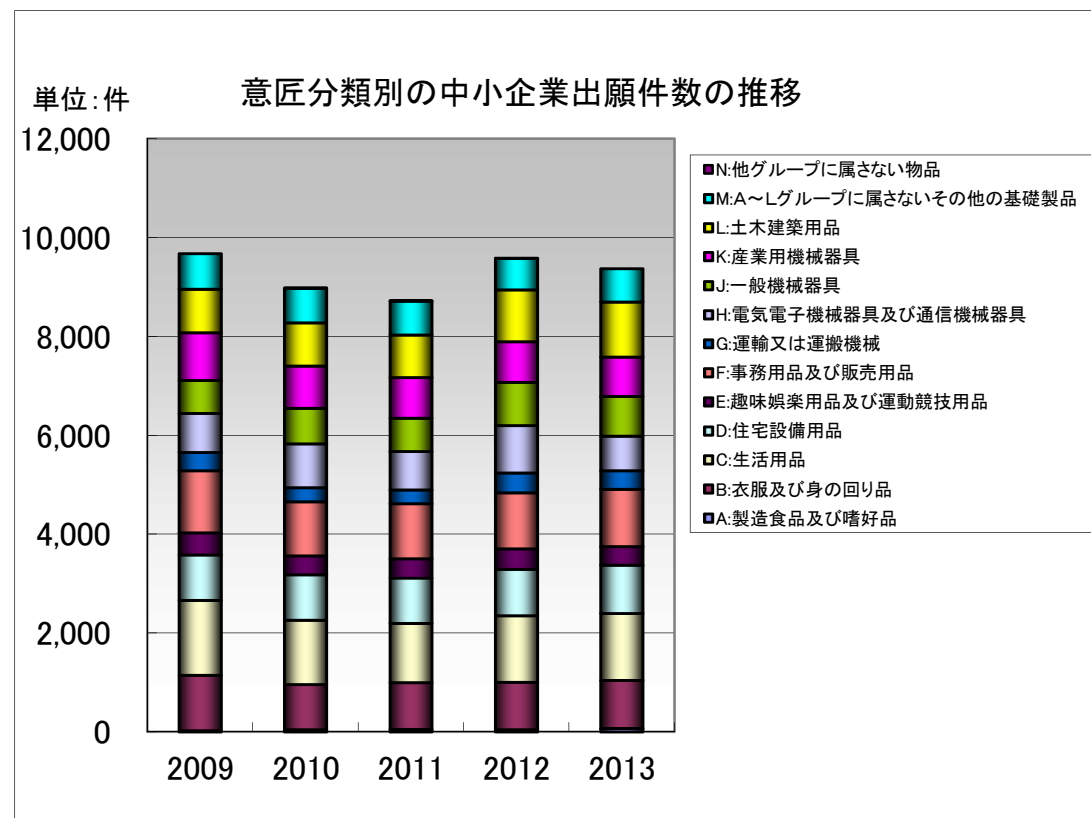
- 中小企業の意匠出願件数を意匠分類別にみると【右図】、食器・調理容器などの生活用品、包装紙・包装容器などの事務用品、土木建築用品の出願が多く、全体の4割近くを占めている。
- 一方、内国人の意匠出願件数をみると【左図】、電子情報入力機器などの電気・電子機械器具、包装紙・包装容器などの事務用品、家具などの住宅設備用品が全体の4割を占めている。

【内国人】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

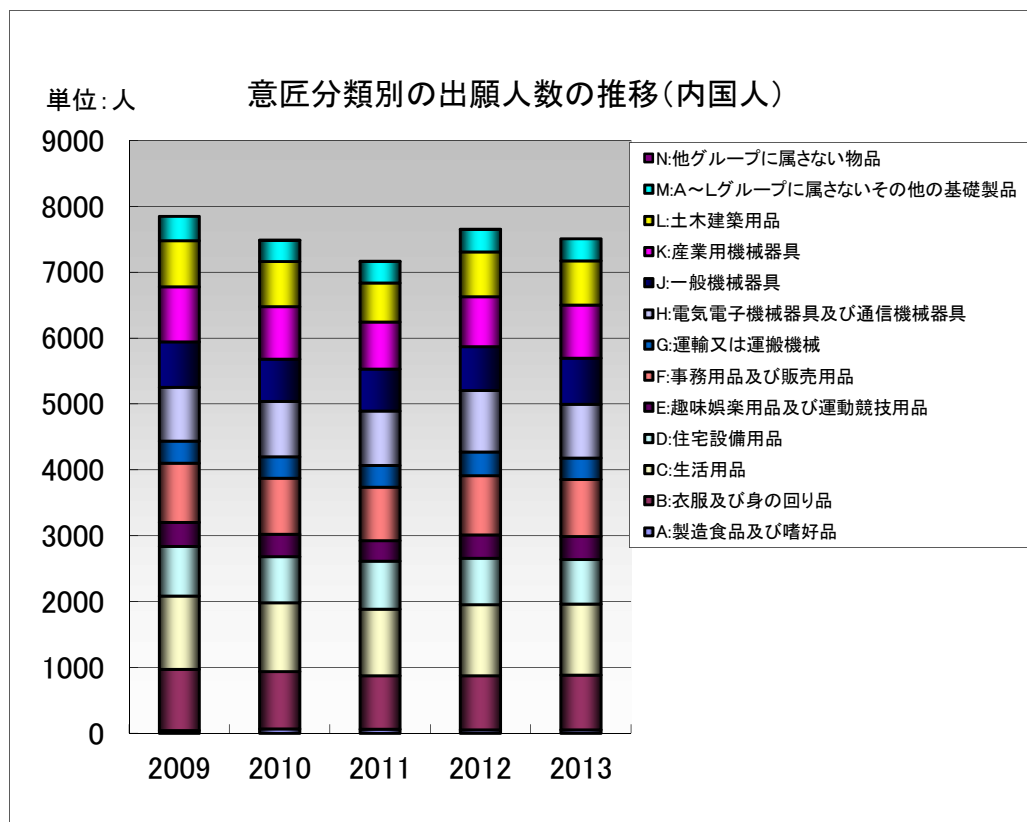


総務部普及支援課調べ

## (8) 中小企業の意匠出願～意匠分類別者数～

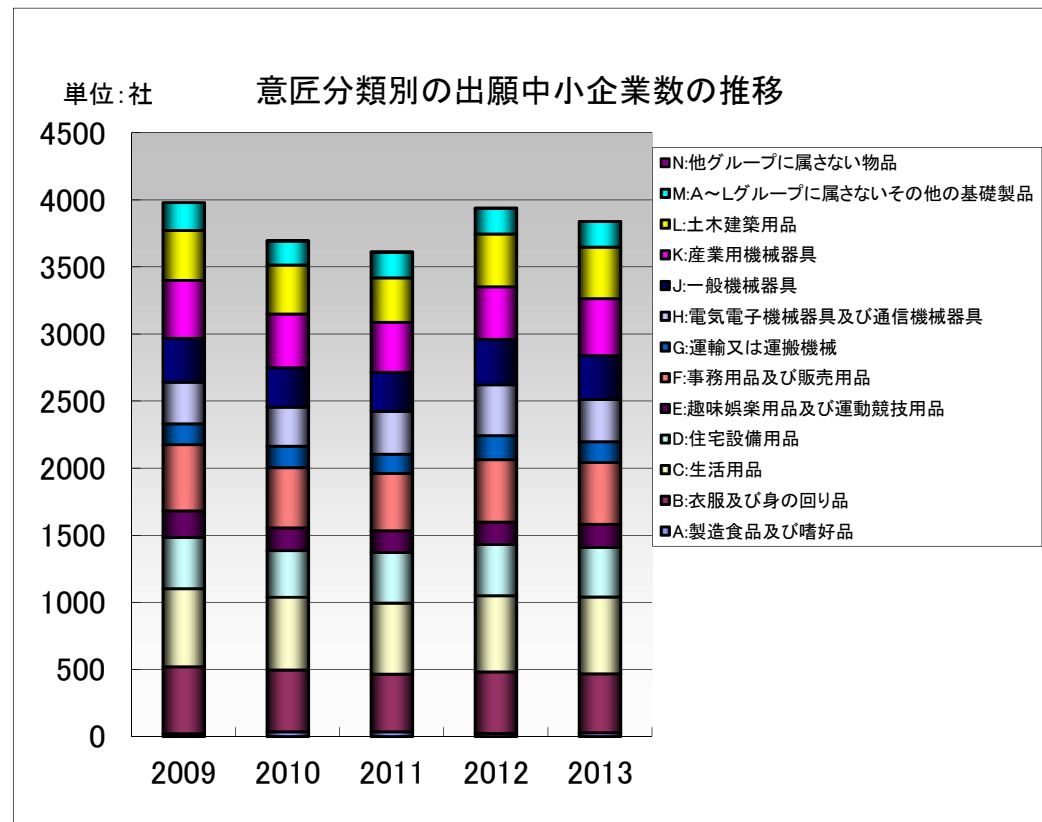
- 意匠出願した中小企業数を意匠分類別にみると【右図】、食器・調理容器などの生活用品、包装紙・包装容器などの事務用品、衣服及び身の回り品の分野に出願した企業が多く、全体の4割近くを占めている。
- 一方、内国人全体の意匠出願人でみると【左図】、食器・調理容器などの生活用品、包装紙・包装容器などの事務用品、電子情報入力機器などの電気・電子機械器具の分野への出願人が全体の4割近くを占めている。

【内国人】



総務部普及支援課調べ

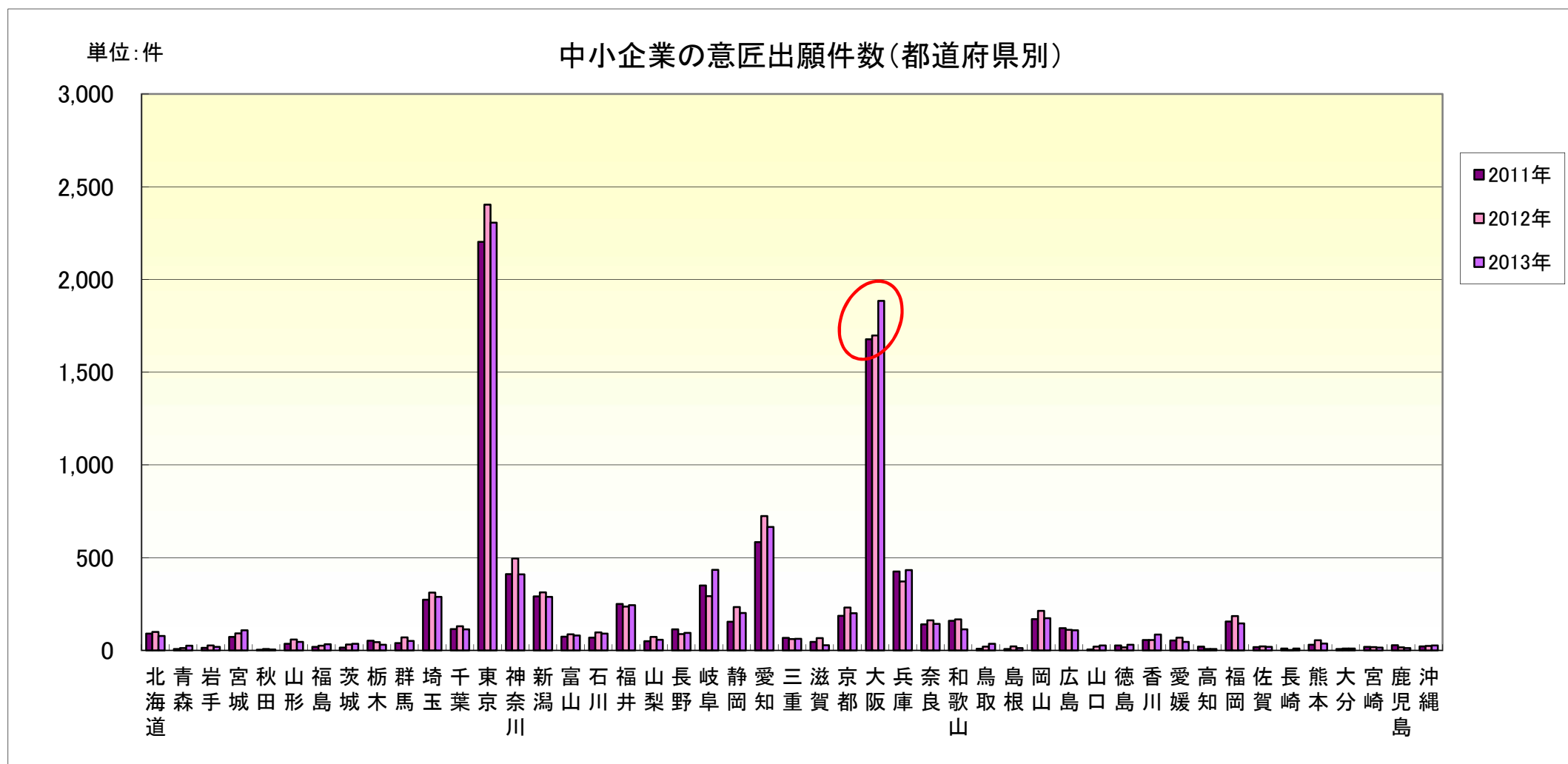
【中小企業】



総務部普及支援課調べ

## (9) 中小企業の意匠出願～都道府県別件数～

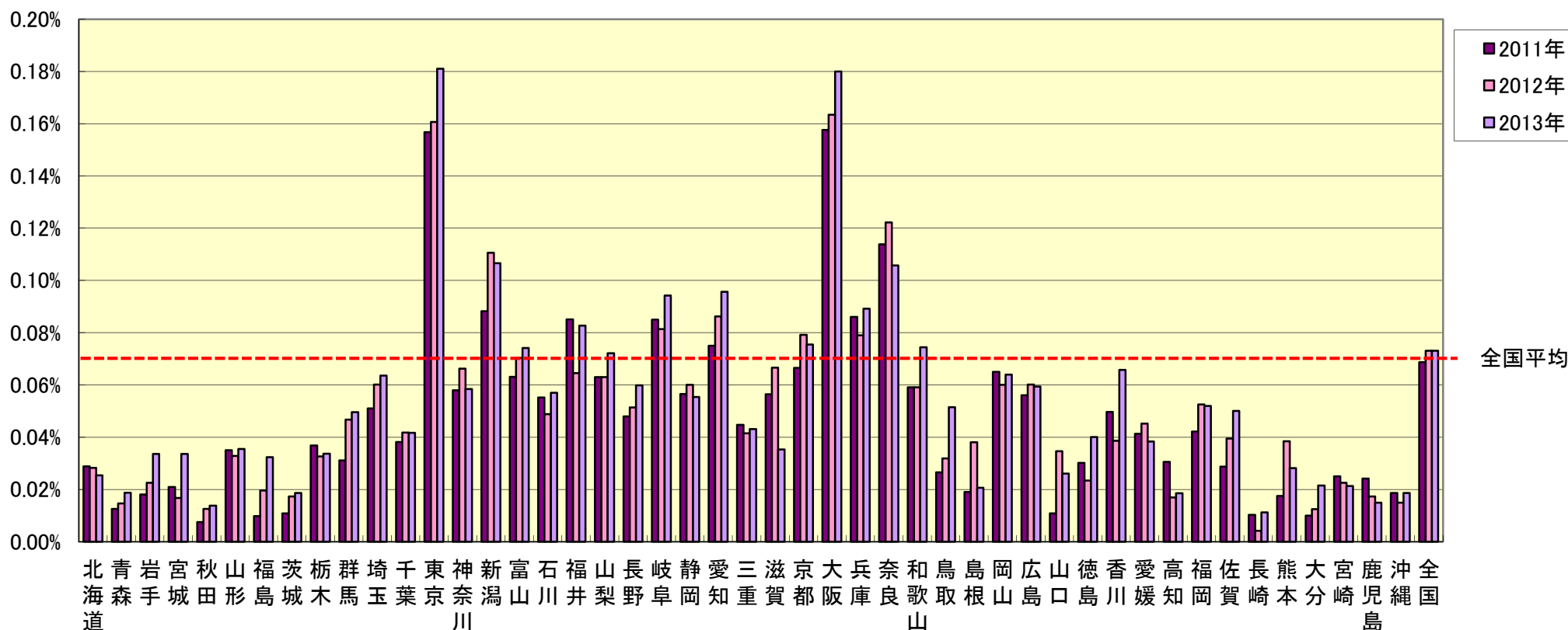
- 中小企業の意匠出願を都道府県別にみると、東京、大阪、愛知に出願が集中しており、全国の5割を占めている（2013年は51.8%）。
- 近年の推移を見ると、大阪のように増加回復をみせている地域もみられる。



# (10) 中小企業の意匠出願～都道府県別比率～

- 中小企業数に対する意匠出願中小企業数の割合（2013年）は、全国平均0.07%である。その中でも、東京や大阪のように漸増傾向にある地域もみられる。
- 全国平均を上回る都道府県は、東京、新潟、富山、福井、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山となっており、中部及び近畿地域に集中している。

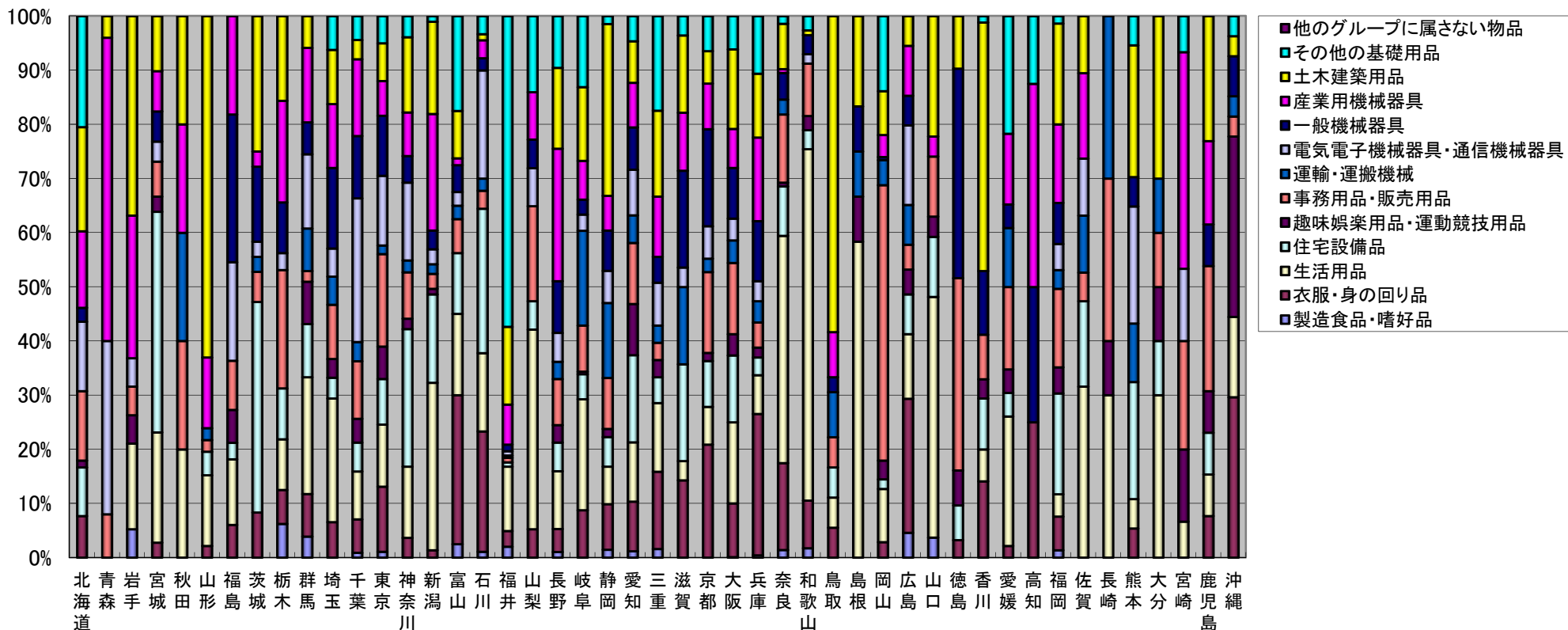
中小企業数に対する意匠出願中小企業数の割合



中小企業数は「中小企業白書2014年版付属統計資料」、特許出願中小企業数は「総務部普及支援課調べ」

■ 2013年の中小企業の意匠出願を都道府県別に意匠分類でみると、衣服・身の回り品の比率が高い兵庫県、生活用品の比率が高い佐賀県・大分県、事務用品の比率が高い岡山県、一般機械器具の比率が高い徳島県、産業用機械器具の比率が高い青森県・宮崎県、土木建築用品の比率が高い山形県など都道府県によって顕著な特徴が表れている。

## 中小企業意匠出願における意匠分類の構成(2013年)



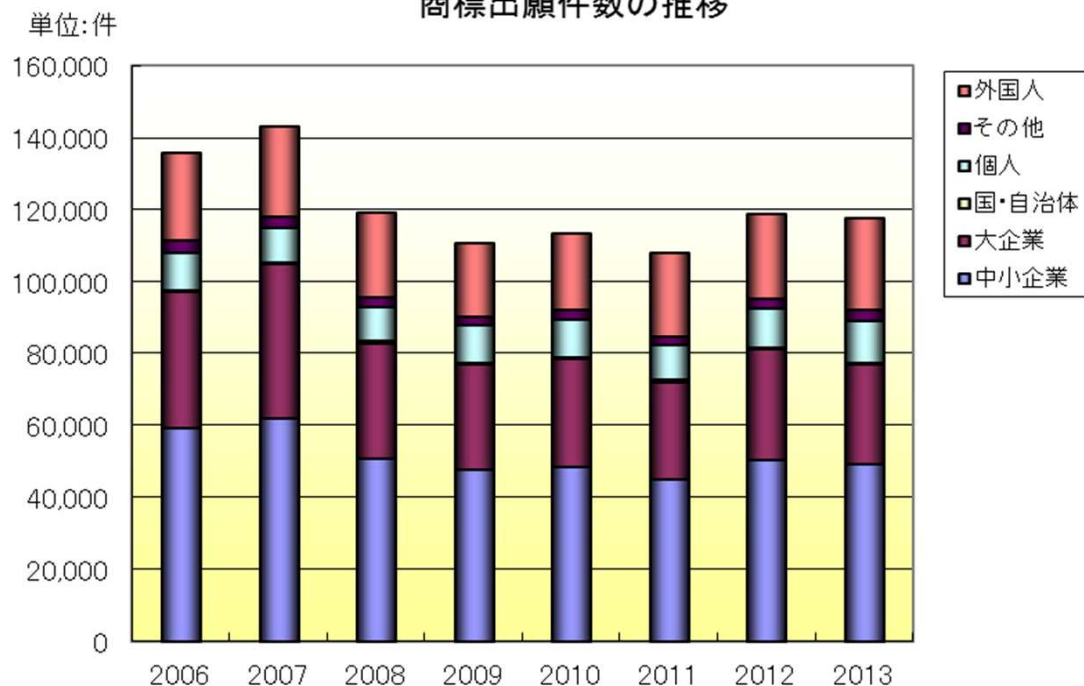
## 5. 商標関連

- (1) 中小企業の商標出願 ～出願件数～
  - (2) 中小企業の商標出願 ～出願者数～
  - (3) 中小企業の商標出願 ～業種別件数～
  - (4) 中小企業の商標出願 ～業種別企業数～
  - (5) 中小企業の商標出願 ～製造業別件数～
  - (6) 中小企業の商標出願 ～製造業別企業数～
  - (7) 中小企業の商標出願 ～商標分類別件数～
  - (8) 中小企業の商標出願 ～都道府県別件数～
  - (9) 中小企業の商標出願 ～都道府県別比率～
  - (10) 中小企業の商標出願 ～都道府県別商標分類構成～
  - (11) 地域団体商標の出願 ～都道府県別・産品別～
- 地域団体商標MAP

# (1) 中小企業の商標出願～出願件数～

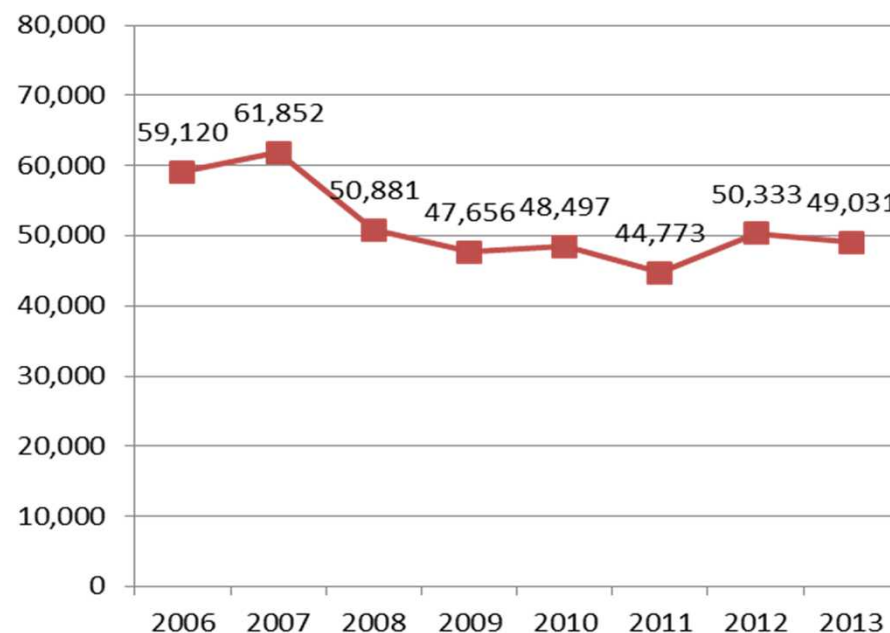
- 直近5年の年間商標出願件数（全体）は、11万～12万件で推移。そのうち、内国人出願に占める中小企業の出願比率は、52%～53%を堅持（2013年は53.0%）。
- 2013年の商標出願件数は、全体として対前年比1.1%減となり、内国人出願でも対前年比3.2%減となった。また、中小企業に限ってみても【右図】、対前年比2.6%減となっているが、ここ数年は横ばい傾向といえる。

商標出願件数の推移



総務部普及支援課調べ

中小企業の商標出願推移(件数)

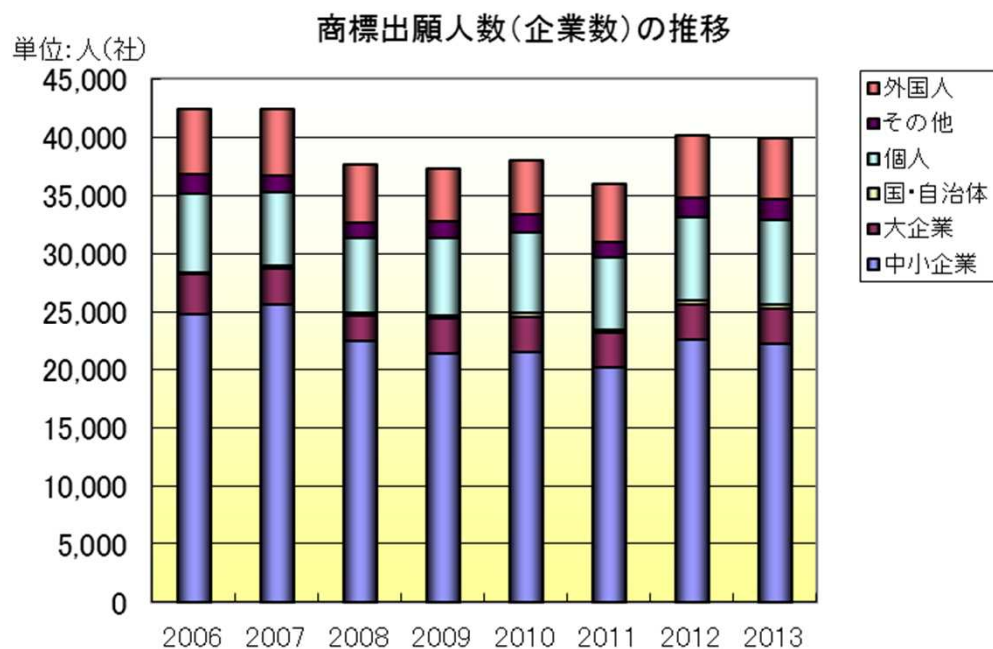


総務部普及支援課調べ

## (2) 中小企業の商標出願～出願者数～

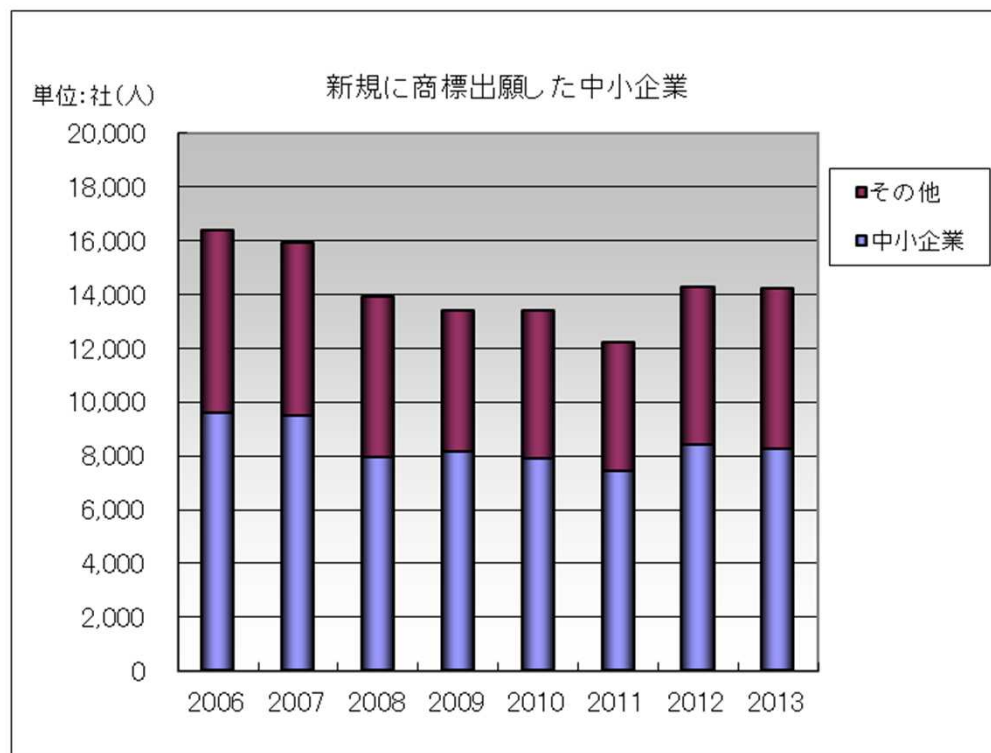
- 商標出願者数全体に占める中小企業数は、64%～65%（2013年は63.8%）と高い。出願件数・出願者数ともに中小企業は高い割合を占めており、商標出願全体に与える影響は大きい。
- しかし、2013年の中小企業の商標出願は、出願件数が減少しただけでなく、出願した企業数も減少に転じた（対前年比1.5%減）。
- 新規に商標出願する中小企業数は【右図】、近年増減を繰り返しており、2013年は対前年比で微減した（2.1%減）。

### 【出願者数】



総務部普及支援課調べ

### 【新規出願者数】

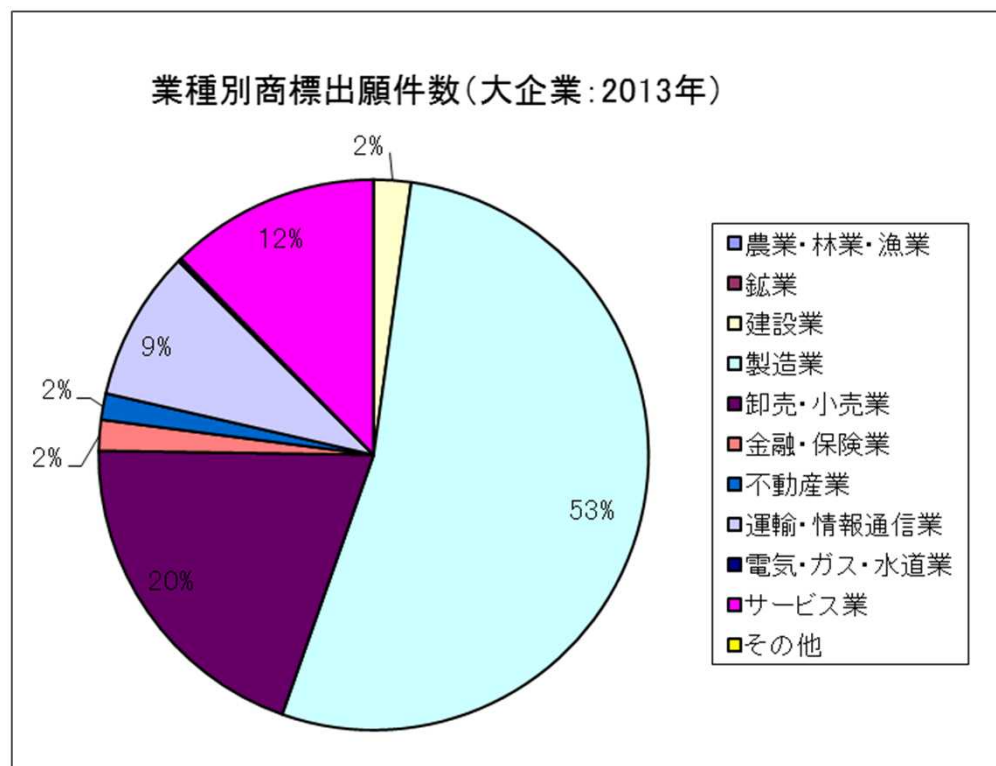


総務部普及支援課調べ

### (3) 中小企業の商標出願～業種別件数～

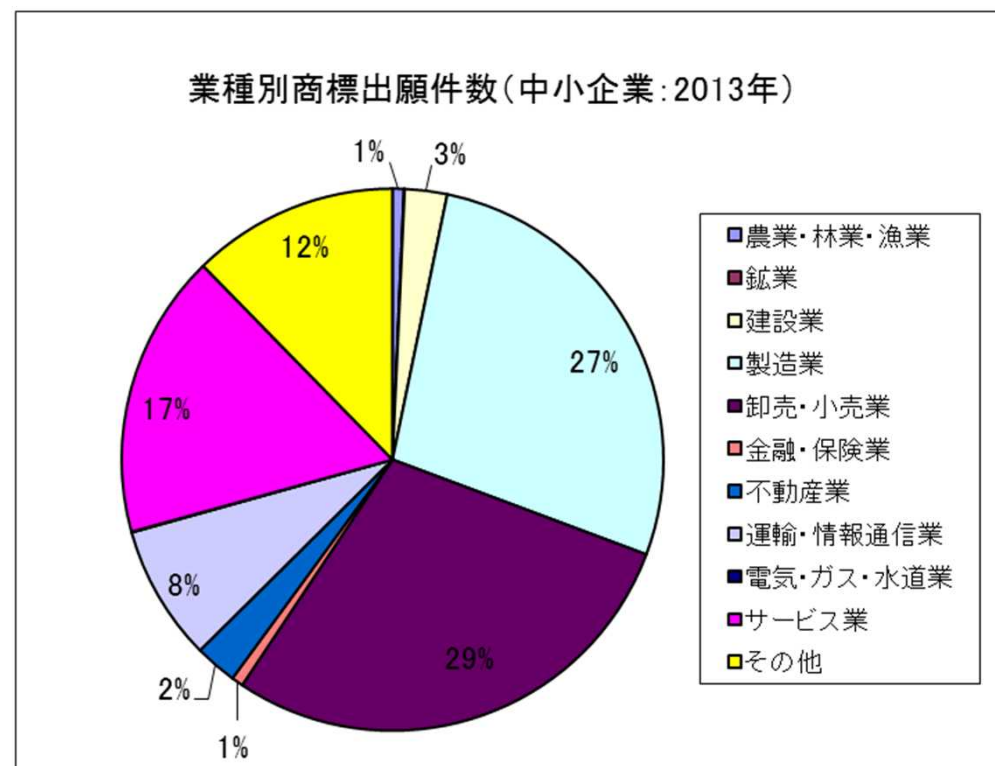
- 中小企業の商標出願件数を業種別にみると【右図】、卸売・小売業が全体の29%、製造業が27%、サービス業が17%を占めており、この3業種で全体の73%となっている。
- 大企業においては【左図】、製造業が53%、卸売・小売業が20%、サービス業が12%となっている。

【大企業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

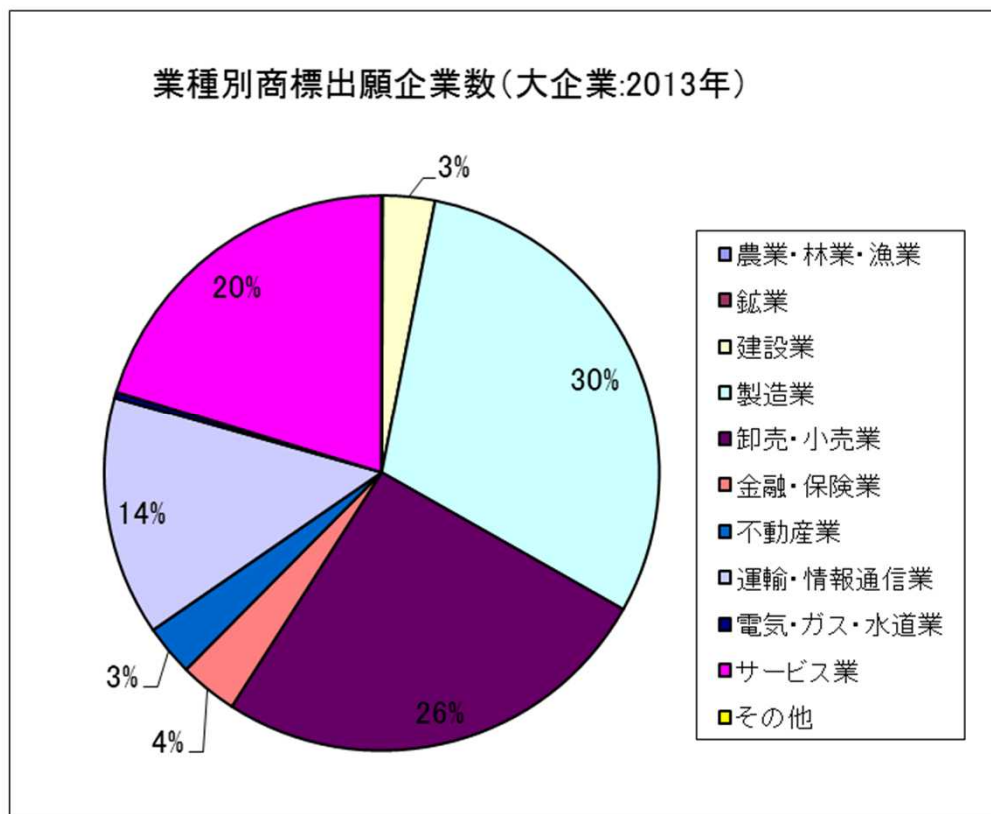


総務部普及支援課調べ

## (4) 中小企業の商標出願～業種別企業数～

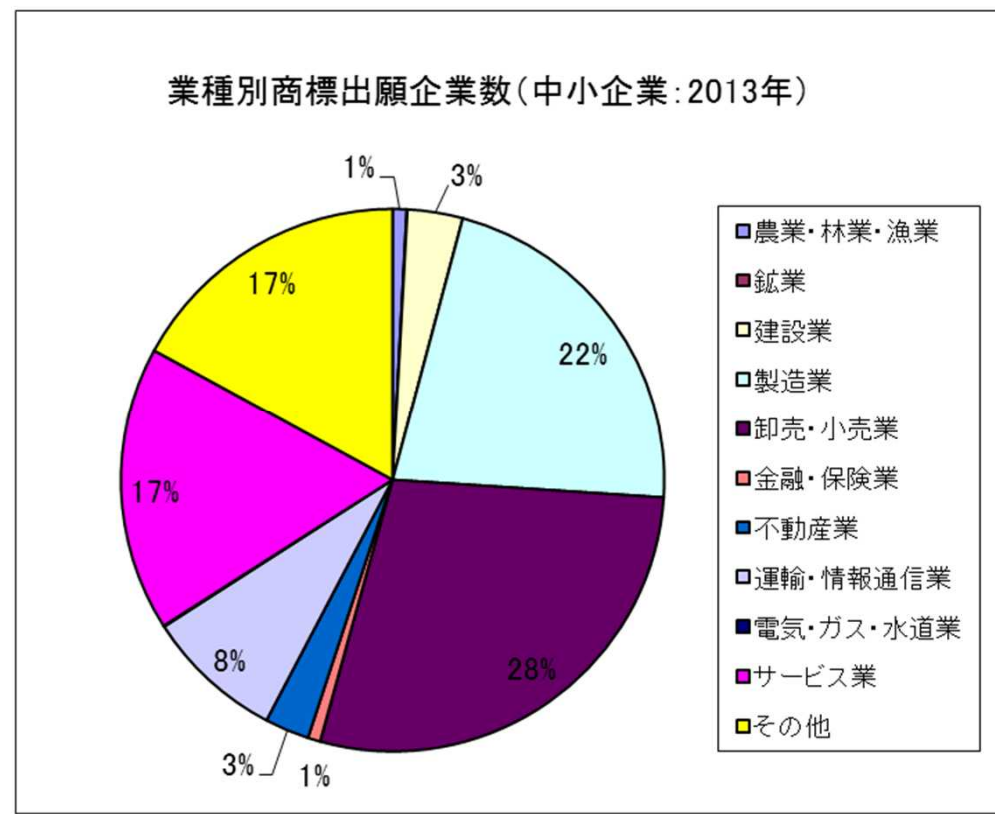
- 商標出願した中小企業数を業種別にみると【右図】、卸売・小売業が全体の28%、製造業が22%、サービス業が17%を占めており、この3業種で全体の67%となっている。
- 大企業においては【左図】、製造業が30%、卸売・小売業が26%、サービス業が20%となっている。

【大企業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

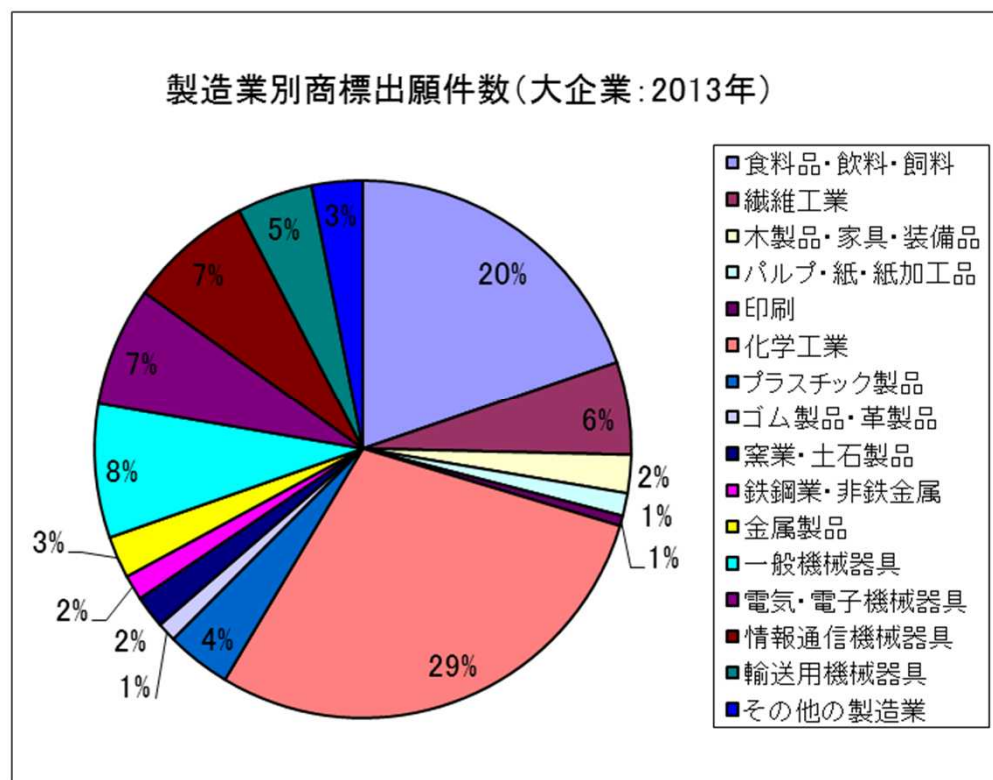


総務部普及支援課調べ

## (5) 中小企業の商標出願～製造業別件数～

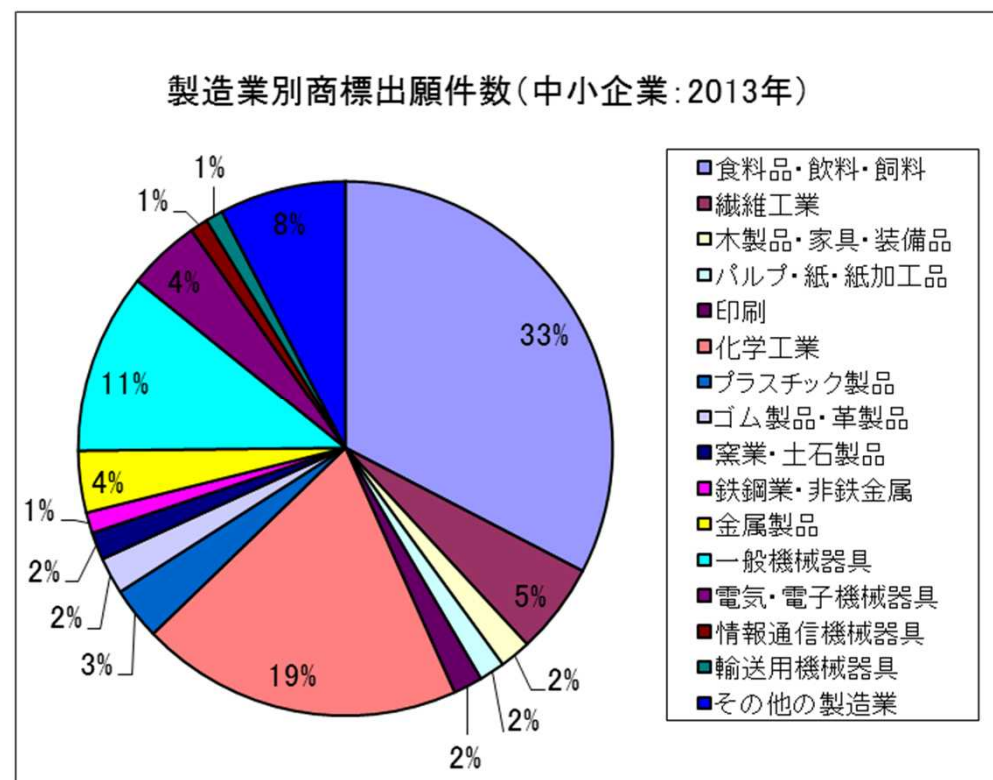
- 中小企業製造業の商標出願件数を分類別にみると【右図】、パン・菓子などの食料品・飲料・飼料製造業が全体の1/3を占め（33%）、次いで化粧品などの化学工業（19%）、サービス用・娯楽用機械器具や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（11%）の割合が高い。
- 大企業においては【左図】、医薬品などの化学工業（29%）、清涼飲料水や乳製品などの食料品・飲料・飼料製造業（20%）、発電・電動機などの一般機械器具製造業（8%）の順になっている。

【大企業製造業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

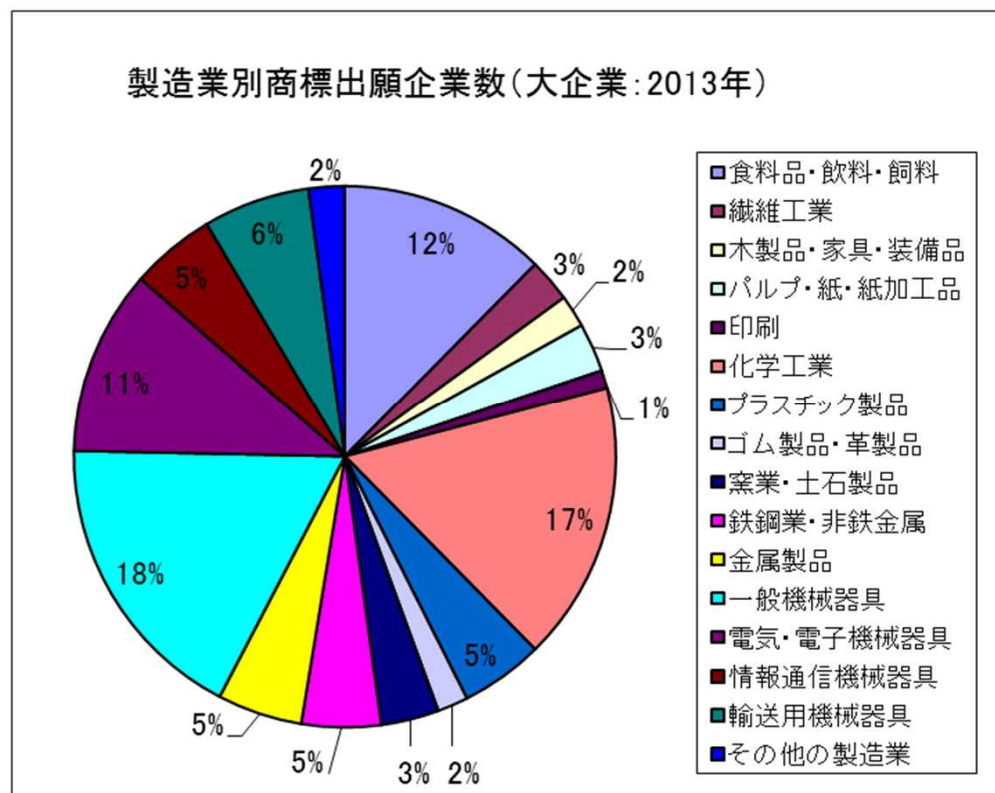


総務部普及支援課調べ

## (6) 中小企業の商標出願～製造業別企業数～

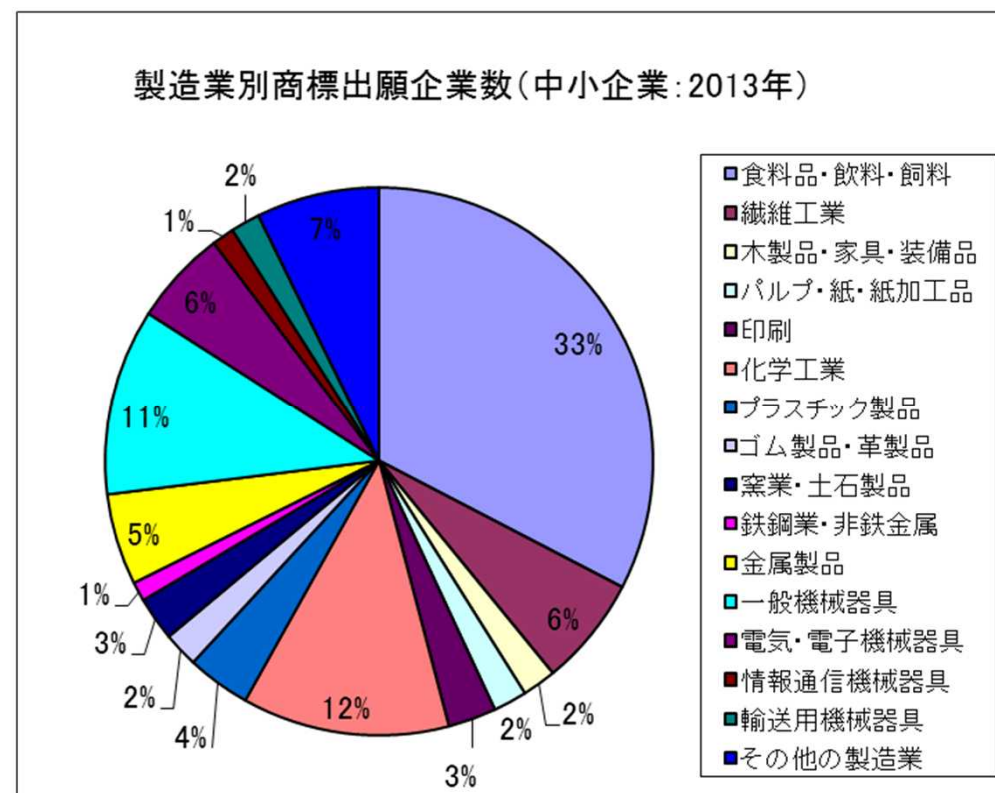
- 商標出願した中小企業製造業数を分類別にみると【右図】、水産食品や保存食料品などの食料品・飲料・飼料製造業が全体の1/3を占め（33%）、次いで化粧品などの化学工業（12%）、医療用機械器具や娯楽用機械器具などの一般機械器具製造業（11%）の割合が高い。
- 一方、大企業では【左図】、事務用機械器具、金属加工機械や医療用機械器具などの一般機械器具製造業（18%）、医薬品などの化学工業（17%）、畜産食料品などの食料品・飲料・飼料製造業（12%）、発電・送配電用電気機械器具などの電気・電子機械器具製造業（11%）の順になっている。

【大企業製造業】



総務部普及支援課調べ

【中小企業製造業】

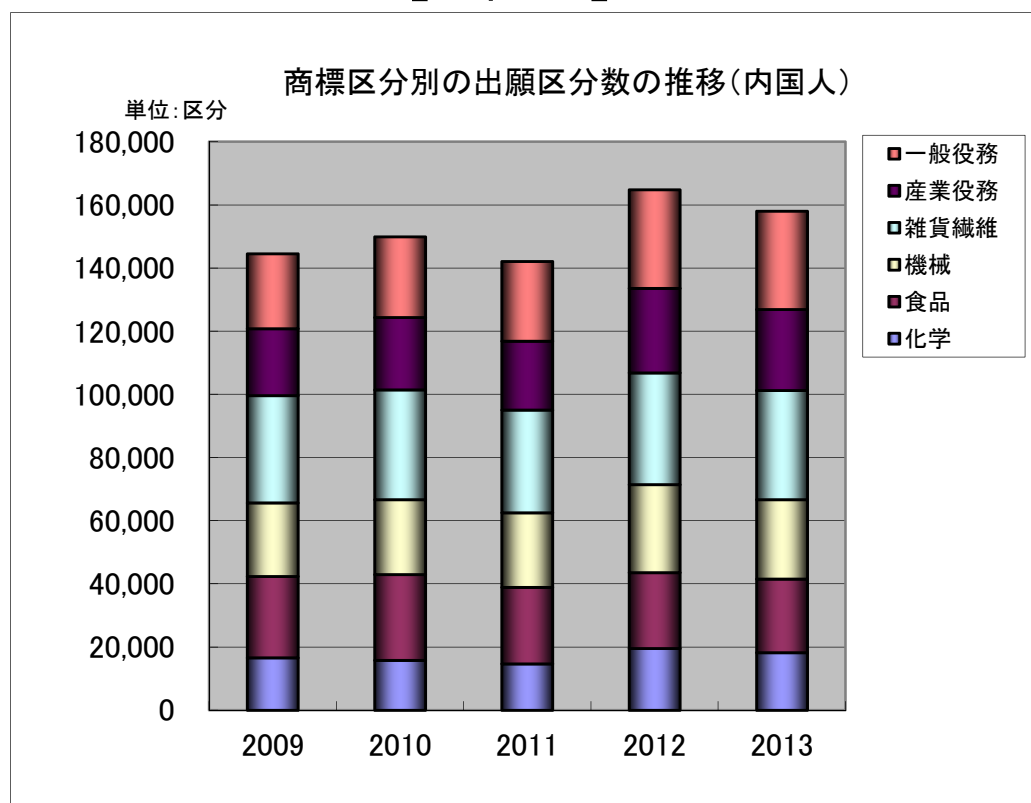


総務部普及支援課調べ

## (7) 中小企業の商標出願～商標分類別件数～

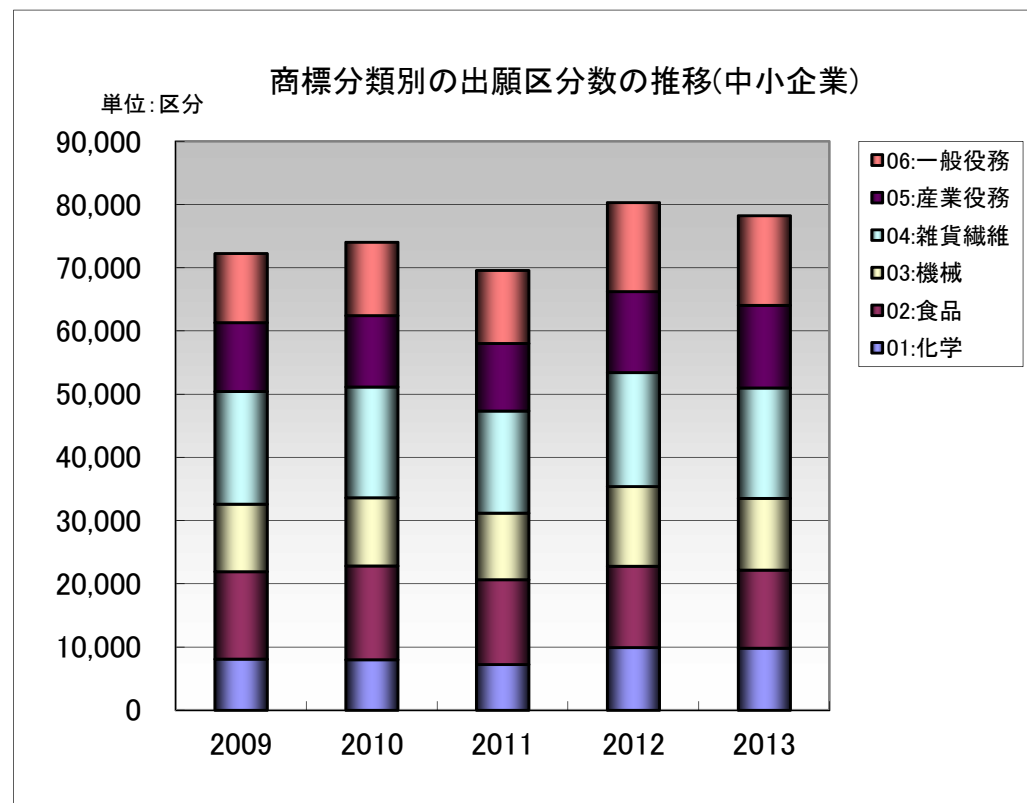
- 中小企業の商標出願件数を商標分類別にみると【右図】、被服・履物・紙・事務用品などの雑貨・繊維分野、教育・娯楽・スポーツ・文化活動などの一般役務分野の出願が多く、この2分野で全体の4割を占めている。
- また、内国人の商標出願件数【左図】でみても同様に、被服・履物・紙・事務用品などの雑貨・繊維分野、教育・娯楽・スポーツ・文化活動などの一般役務分野への出願が多く、この2分野で全体の4割を占めている。

【内国人】



総務部普及支援課調べ

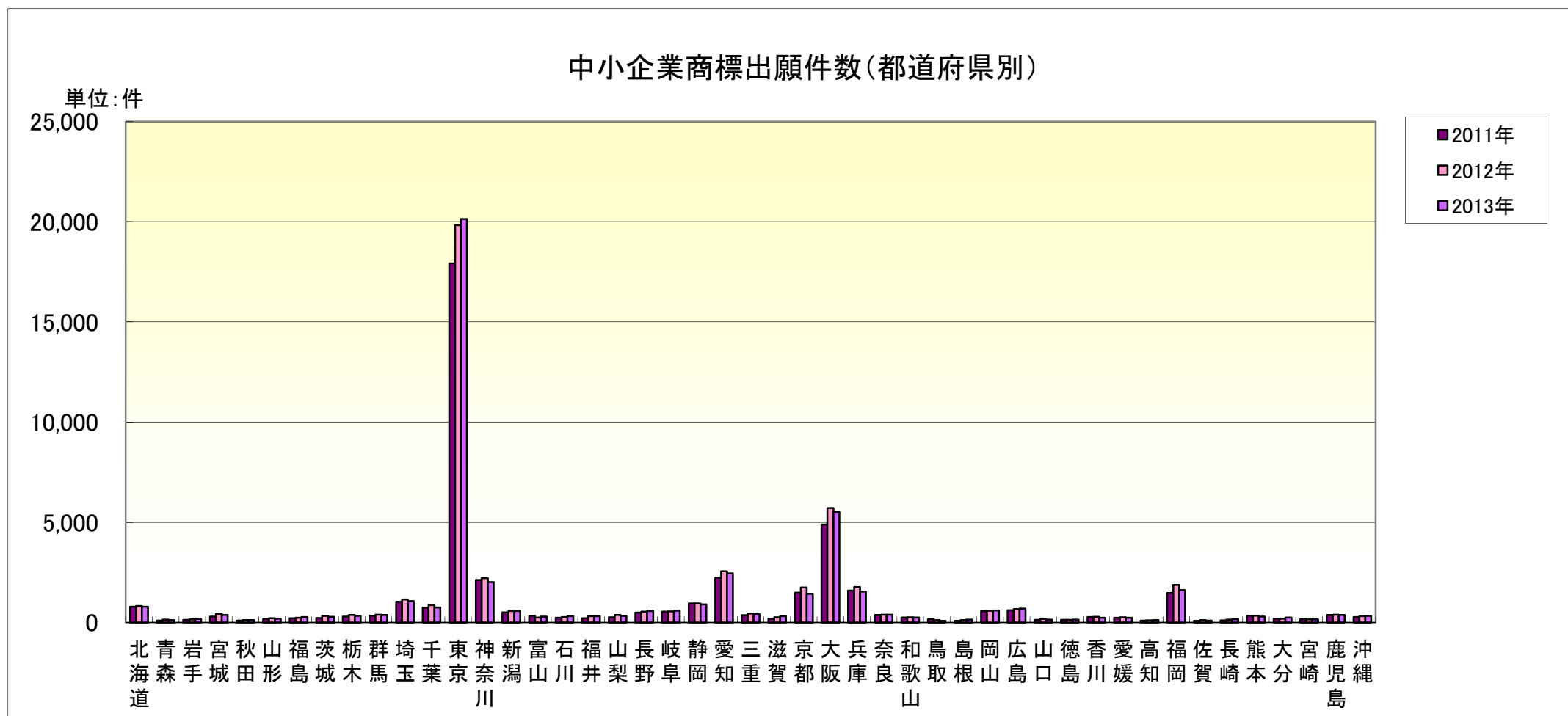
【中小企業】



総務部普及支援課調べ

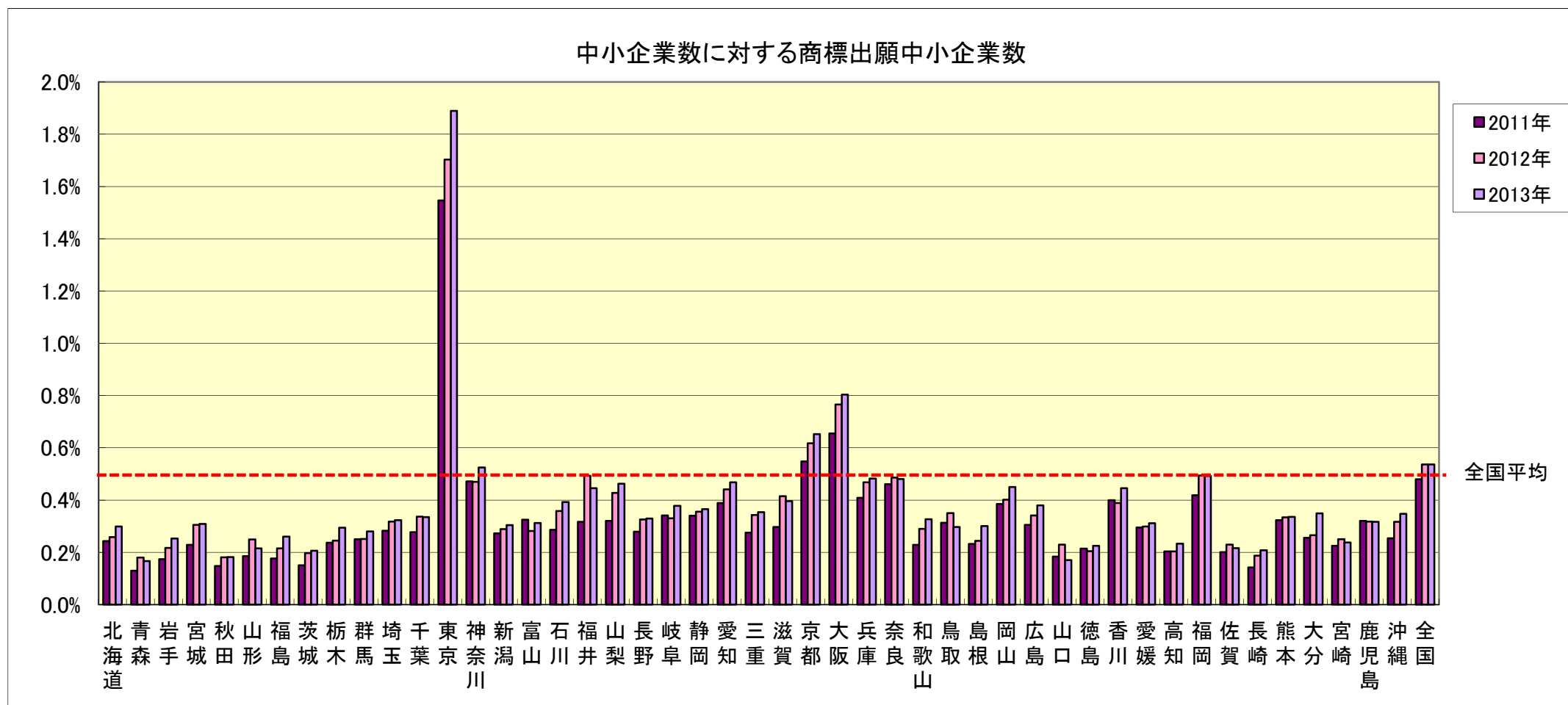
## (8) 中小企業の商標出願～都道府県別件数～

- 中小企業の商標出願を都道府県別にみると、東京に出願が集中しており、全国の4割（2013年は41.1%）を占めている。
- そのため、東京の出願の増減が中小企業全体の出願件数に影響を与えている。



## (9) 中小企業の商標出願～都道府県別比率～

- 中小企業数に対する商標出願企業数の割合は（2013年）、全国平均0.5%と低調である。
- 全国平均を上回る都道府県は、東京、京都、大阪のみとなっている。

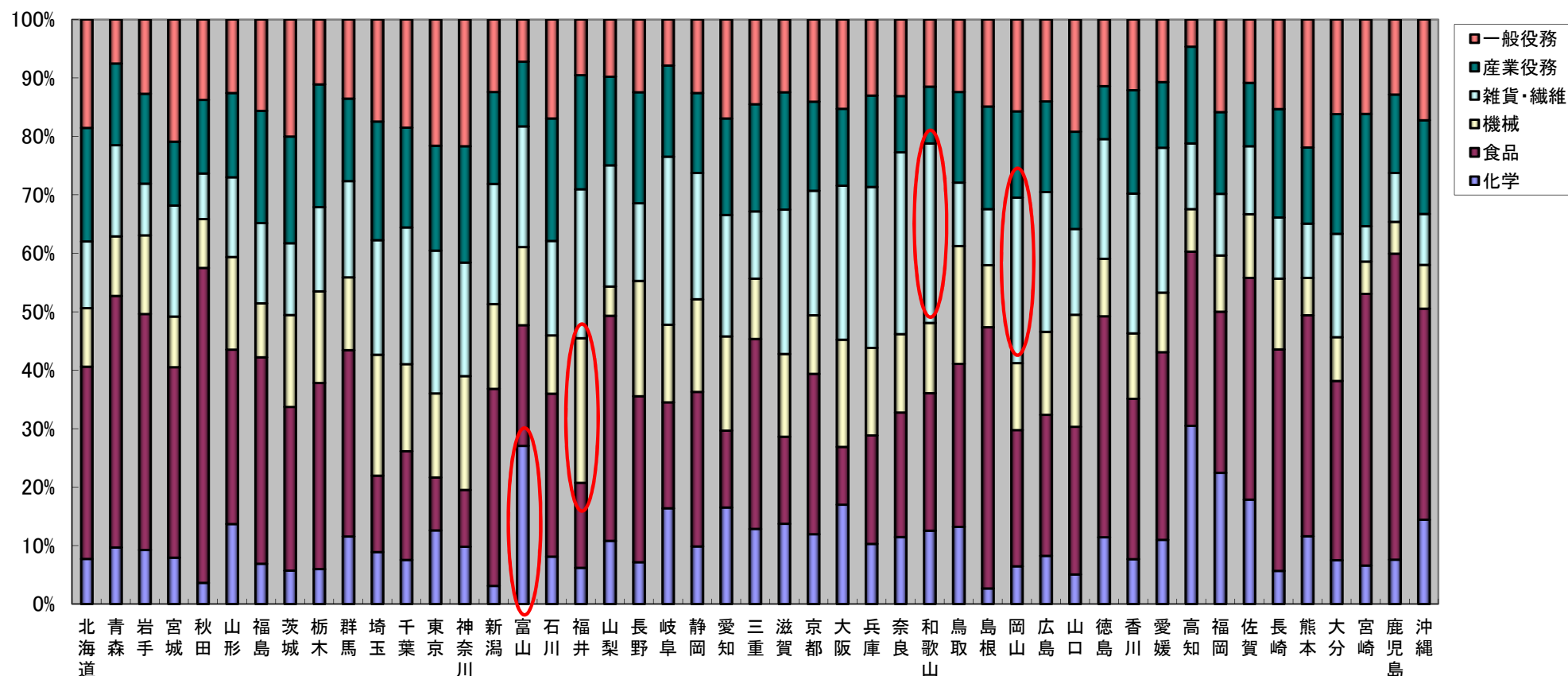


中小企業数は「中小企業白書2014年版付属統計資料」、特許出願中小企業数は「総務部普及支援課調べ」

# (10) 中小企業の商標出願～都道府県別商標分類構成～

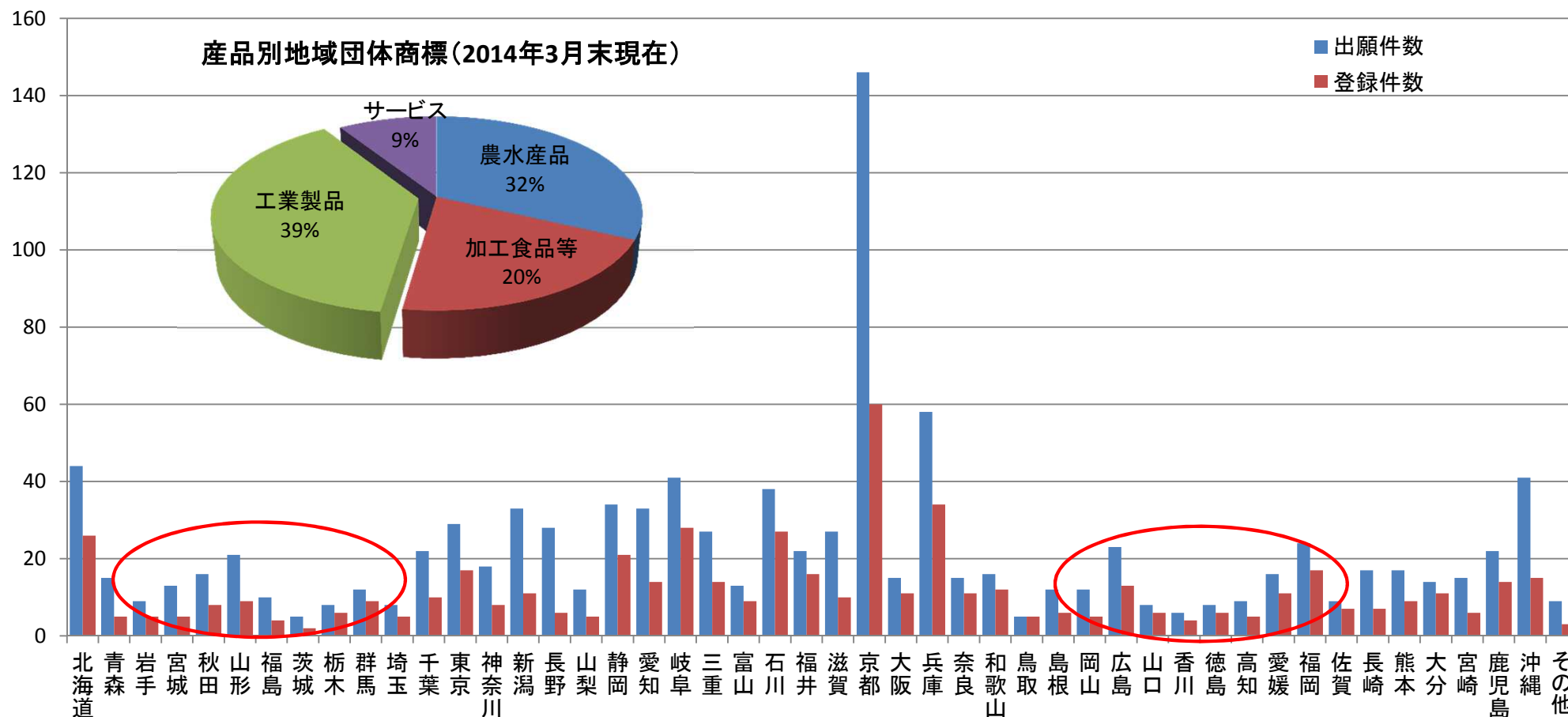
- 2013年の中小企業の商標出願を都道府県別に商標分類でみると、全体的に食品分野の出願構成比が高い都道府県が多い。
- また、特徴的な出願傾向としては、富山県の化学分野、福井県の機械分野、和歌山県や岡山県の雑貨・繊維分野などである。

中小企業の出願における商標分類の構成(2013年)



# (11)地域団体商標の出願～都道府県別・産品別～

- 地域団体商標の累計は、出願件数が1,057件、登録件数が556件（2014年3月末現在）となっているが、京都などの一部の都道府県に片寄った傾向がみられ、東北、中国、四国地域は低調である。
- また、産品別にみると、野菜・食肉・魚等の農水産物(32%)と水産物等の加工食品(20%)が全体の52%を占めており、織物・焼物等の工業製品は39%に留まっている。



# 地域団体商標MAP

平成26年3月31日までに登録された商標(556件)

## 海外

【イタリア国】  
PROSCIUTTO DI PARMA  
【カナダ国】  
カナダボーク  
【中国】  
鎮江香醋

## 九州

【福岡県】  
博多人形 博多織 小石原焼 合馬たけのこ  
上野焼 八女提灯 八女茶 福岡の八女茶  
八女福島仏壇 博多なす 久留米かすり  
久留米餅 原鶴温泉 博多焼酎 博多蕎麦  
はかた地どり 福岡のり

【佐賀県】  
神埼そうめん 佐賀のり 伊万里梨  
佐賀産和牛 小城羊羹 うれしの茶 唐津焼

【長崎県】  
長崎カステラ 五島うどん 五島手延うどん  
九十九島かき 小長井牡蠣 五島牛  
長崎和牛

【熊本県】  
球磨焼酎 黒川温泉 阿蘇たかな漬  
熊本名産からし蓮根 天草黒牛 小国杉  
くまもと畳表 菊池温泉 杖立温泉

【大分県】  
関あじ 関さば 大分麦焼酎 大分むぎ焼酎  
豊後別府湾ちりめん 豊後牛 日田梨  
小鹿田焼 豊後きのこカレー 岬ガザミ  
玖珠米

【宮崎県】  
宮崎牛 宮崎ハーブ牛 宮崎の本格焼酎  
北浦灘アジ 宮崎地頭鶏 都城和牛

【鹿児島県】  
かごしま知覧茶 知覧茶 本場奄美大島鮫  
本場大島鮫 薩摩焼 川辺仏壇 知覧紅  
かけろまきび酢 鹿児島黒牛 奄美黒糖焼酎  
桜島小みかん 枕崎鯉節 赤鶏さつま

## 沖縄

【沖縄県】  
石垣の塩 沖縄そば  
首里織 琉球びんがた  
琉球泡盛 本場久米島鮫  
沖縄黒糖 八重山かまぼこ  
石垣牛 壺屋焼 宮古上布  
琉球かすり 琉球餅  
沖縄赤瓦 読谷山花織

## 中国

【鳥取県】  
三朝温泉 東伯和牛 東伯牛  
因州和紙 大山ブロッコリー  
【鳥根県】  
石州瓦 しまね和牛 玉造温泉  
十六島紫菜 多伎いちじく  
石見和牛肉

【岡山県】  
岡山白桃 千屋牛 湯郷温泉  
湯原温泉 備前焼

【広島県】  
福山琴 広島みかん 広島はっさく  
広島酒 府中家具 広島かき  
高根みかん 広島レモン 広島針  
びんご畳表 三次ピアノ  
福山のくわい 大長レモン

【山口県】  
下関うに 北浦うに 長門ゆずきち  
厚保くり 下関ふく 長門湯本温泉

## 北陸

【富山県】  
入善ジャンボ西瓜 黒部米 高岡仏具  
高岡銅器 加積りんご  
富山名産昆布巻かまぼこ とやま牛  
大門素麺 富山湾のシロエビ

【石川県】  
金沢仏壇 七尾仏壇 加賀みそ 山代温泉  
和倉温泉 大野醤油 加賀友禅 山中温泉  
粟津温泉 美川仏壇 片山津温泉  
牛首細金箔箔 九谷焼 輪島塗 中島菜  
能州鮫 田鶴浜建具 加賀蒔絵 小松瓦  
加賀野菜 加賀太きゅうり 加賀れんこん  
能登牛 能登大納言 沢野ごぼう 能登井

【福井県】  
越前漆器 越前竹人形 越前瓦 若狭かいり  
若狭塗箸 越前がに 若狭くじ 若狭ふぐ  
越前打刃物 越前織 越前和紙 芦原温泉  
あわら温泉 越前水仙 越前さといも  
越前・若狭の地酒

## 東北

【青森県】  
たっこにんにく 嶽きみ 大間まぐろ  
大鰐温泉もやし 野辺地葉つきかぶ

【秋田県】  
秋田由利牛 比内地鶏 秋田諸越 白神山うど  
川連漆器 三梨牛 横手やきそば  
大館曲げわっぱ

【山形県】  
平田赤ねぎ 刈屋梨 米沢織 米沢牛  
山形佛壇 山形おきたま産デラウエア 置賜鮫  
米沢らーめん 山形名物玉こんにやく

【岩手県】  
いわて牛 いわて短角和牛 南部鉄器  
江刺りんご 真崎わかめ

【宮城県】  
仙台味噌 仙台みそ 仙台牛 仙台黒毛和牛  
仙台いちご

【福島県】  
土湯温泉 南郷トマト 会津みそ 大堰相馬焼

## 北海道

【北海道】  
十勝川西長いも 鶴川ししゃも 豊浦いちご  
はばまい昆布しょうゆ 大正メークイン  
大正長いも 大正だいこん 苦小牧産ほっき貝  
幌加内そば 虎杖浜たらこ ほべつメロン  
十勝川温泉 めむろごぼう めむろメークイン  
大黒さんま 十勝和牛 北海道味噌 東川米  
びらとりトマト 十勝若牛 いけだ牛 釧路ししゃも  
大雪山岳湧水 北海道米 ようてい男しゃく  
ようていメロン

## 関東・甲信越

【茨城県】  
本場結城紬 笠間焼  
【群馬県】  
本場結城紬 塩原温泉 鬼怒川温泉 川治温泉  
中山かぼちゃ 益子焼

【群馬県】  
高崎だるま 上州牛 伊香保温泉 草津温泉 十石みそ 桐生織 群馬の地酒  
嬌恋高原キャベツ 四万温泉

【埼玉県】  
江戸木目込人形 岩槻人形 草加せんべい 武州正藍染 西川材

【千葉県】  
房州びわ 八街産落花生 市川のなし 市川の梨 富里スイカ 矢切ねぎ  
小湊温泉 安房菜の花 船橋にんじん 銚子つりきんめ

【東京都】  
稲城の梨 江戸甘味噌 江戸押絵羽子板 江戸甲冑 江戸衣裳着人形  
江戸指物 江戸木目込人形 江戸木版画 江戸切子 江戸からかみ 東京銀器  
東京染小紋 江戸更紗 東京無地染 江戸小紋 東京手描友禅  
かつば橋道具街

【神奈川県】  
松輪サバ 湯河原温泉 足柄茶 横濱中華街 小田原ひもの 鎌倉彫  
小田原蒲鉾 小田原かまぼこ

【新潟県】  
小千谷縮 小千谷紬 新潟清酒 安田瓦 新潟茶豆 越後上布 加茂桐箆筥  
村上木彫彫末 越後湯沢温泉

【山梨県】  
やばいたいも 甲州手彫印章 南部の木 甲州水晶貴石細工 大塚にんじん

【長野県】  
市田柿 信州鎌 蓼科温泉 飯山仏壇 木曾漆器 佐久鯉

## 東海

【岐阜県】  
岐阜提灯 飛騨一位一刀彫 下呂温泉 飛騨牛乳 山岡細寒天 美濃焼  
飛騨ヨーグルト 飛騨高原牛乳 飛騨春慶 飛騨アイスクリーム 飛騨牛  
郡上鮎 飛騨のさるぼぼ みずなみ焼 飛騨の家具 飛騨・高山の家具  
美濃白川茶 関の刃物 飛騨の酒 長良川温泉 美濃和紙 飛騨ほうれんそう  
飛騨トマト 東濃柿 奥美濃カレー ひるがの高原だいこん

【静岡県】  
駿河清椀えび 由比桜えび 焼津鯉節 丹那牛乳 川根茶 静岡茶 駿河漆器  
沼津ひもの 掛川茶 伊東温泉 伊豆長岡温泉 熱海温泉 三ヶ日みかん  
遠州灘天然とらふぐ 三島烏鈴箸 掛川牛 東山茶 稲取キンメ 三方原烏鈴箸

【愛知県】  
三州瓦 常滑焼 有松鳴海絞 三河木綿 豊橋蕎麦 名古屋仏壇 一色産うなぎ  
蒲郡みかん 三河仏壇 西尾の抹茶 祖父江ぎんなん 尾張七宝 豊橋うなぎ  
瀬戸焼

【三重県】  
松阪牛 松阪肉 大内山牛乳 伊勢茶 伊勢たぐあん 伊勢ひじき 伊賀くみひも  
伊勢うどん みえ豚 伊勢赤どり 四日市萬古焼 伊勢型紙 伊賀焼  
美旗メロン

## 近畿

【滋賀県】  
雄琴温泉 近江牛 琵琶湖産鮎 信楽焼 近江の麻 近江ちぢみ 高島ちぢみ モリヤマメロン 彦根仏壇 甲賀のお茶

【京都府】  
京あられ 京おかき 京仏壇 京人形 間人ガニ 舞鶴かまぼこ 京石工芸品 鴨川納涼床 京つけもの 京漬物  
京都名産すき 京都名産干枚漬 北山丸太 京雛 京印章 京仏具 京くみひも 京房ひも 京甲冑 京仕立 京表具  
京小紋 京友禅 西陣川裾本綴織 西陣御召 西陣金襴 京鹿の子絞 京扇子 京うちわ 京味噌 京念珠 宇治茶  
京鮎 京せんべい 京都肉 京石塔 京都米 京の伝統野菜 京とうふ 京たご梨 京栗子 誂京染 湯の花温泉  
京焼・清水焼 京たまたみ 北山杉 京の色紙短冊和本帖 京竹工芸 京漆器 京象嵌 京陶人形 万願寺甘とう  
京和装小物 京七宝 京染 丹後とり貝 保津川下り 舞鶴かに 京手描友禅 京ゆば

【大阪府】  
大阪欄間 和泉木綿 泉州タオル 泉州水なす 大阪泉州桐箆筥 大阪仏壇 堺刃物 堺打刃物 泉だこ 堺線香  
八尾若ごぼう

【兵庫県】  
豊岡鮎 灘の酒 淡路瓦 豊岡杞柳細工 城崎温泉 龍野淡口醤油 明石鯛 加西ゴールドベリーA 播州毛鉤  
三田牛 三田肉 須磨海苔 神戸ビーフ 神戸肉 神戸牛 播州そろばん 但馬牛 但馬ビーフ 淡路ビーフ 有馬温泉  
播州織 三木金物 東条産山田錦 播州針 淡路島たまねぎ 出石皿そば 淡路島3年とらふぐ 丹波篠山黒豆  
姫路おでん 丹波篠山牛 黒田庄和牛 神戸シューズ

【奈良県】  
高山茶釜 吉野材 吉野本葛 吉野葛 大和肉鶏 吉野杉 吉野松 吉野割箸 吉野杉箸 平群の小菊 結崎ネブカ

【和歌山県】  
紀州うすい しもつみかん 有田みかん 和歌山ラーメン 紀州備長炭 紀州筆管 紀州みなべの南高梅  
すさみケンケン鰯 紀州梅干 南紀白浜温泉 龍神材 紀州勝浦産まぐろ

## 四国

【徳島県】  
渭東ねぎ なんと金時 徳島唐木仏壇  
鳴門らっきや 阿波しじら織 阿波山田錦

【香川県】  
庵治石 ひけた鱈 伊吹いりこ 讃岐牛

【愛媛県】  
真穴みかん 西宇のみかん 菊岡瓦  
西条の七草 今治タオル 道後温泉  
宇和島じゃこ天 戸島ぶり 大島石 中山栗

【高知県】  
土佐打刃物 四万十川の青のり 徳谷トマト  
四万十川の青のり 土佐あかうし

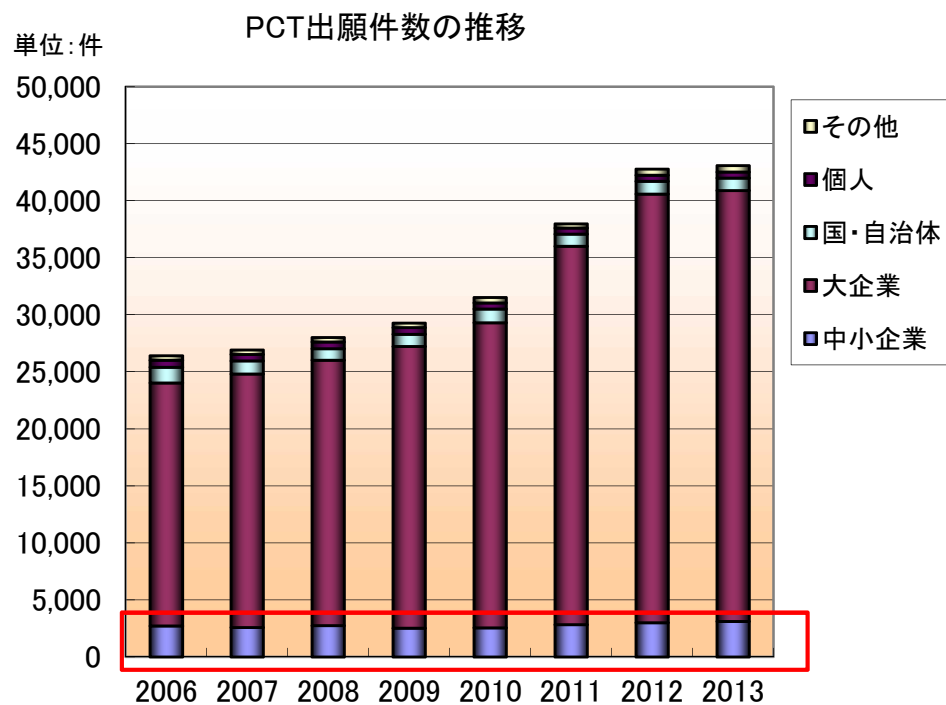
## 6. 海外出願関連

- (1) 中小企業の国際出願 ～PCT出願件数～
- (2) 中小企業の国際出願 ～PCT出願者数～
- (3) 中小企業の国際出願 ～都道府県別PCT出願～
- (4) 中小企業の国際出願 ～パリルート特許出願～
- (5) 中小企業の国際出願 ～パリルート特許出願②～
- (6) 中小企業の国際出願 ～パリルート意匠出願～
- (7) 中小企業の国際出願 ～商標マドプロ出願～
- (8) 中小企業の国際出願 ～都道府県別商標マドプロ出願～
- (9) 中小企業の国際出願 ～パリルート商標出願～

※日本から海外に出願される特許・商標のデータについては、1. に  
記載

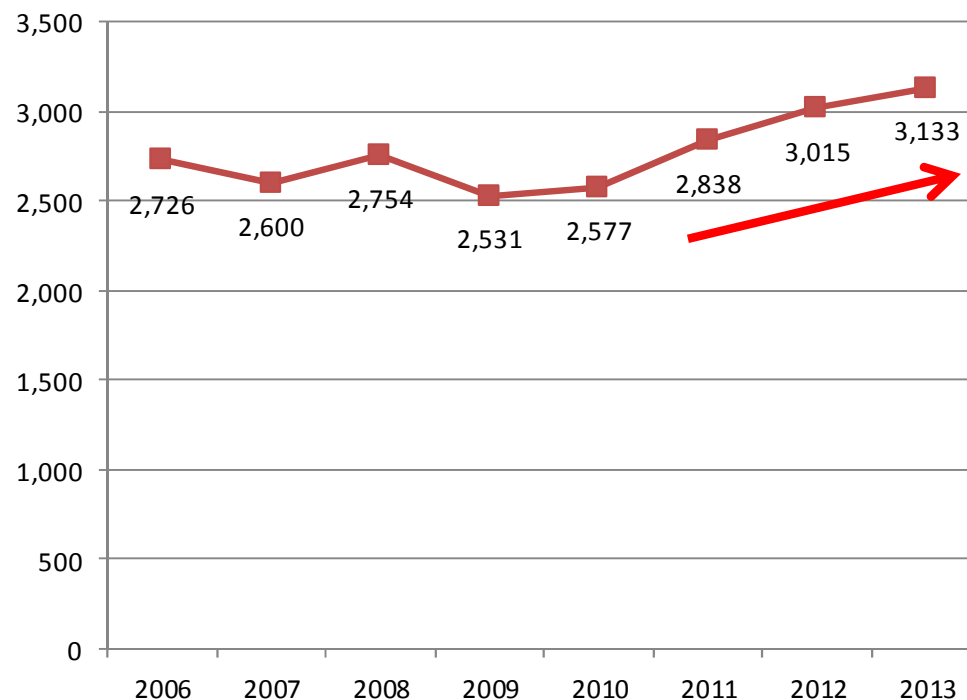
# (1) 中小企業の国際出願～PCT出願件数～

- PCT出願件数（全体）は、近年急増しており、2010年に3万件を超え、2012年には4万件を超えたが、2013年は微増に留まった。
- 2013年のPCT出願件数全体に占める中小企業の割合は、7.3%と少ないが、対前年比3.9%増となり、引き続き増加傾向にある（大企業は対前年比で0.5%増）。



総務部普及支援課調べ

## 中小企業のPCT出願推移(件数ベース)

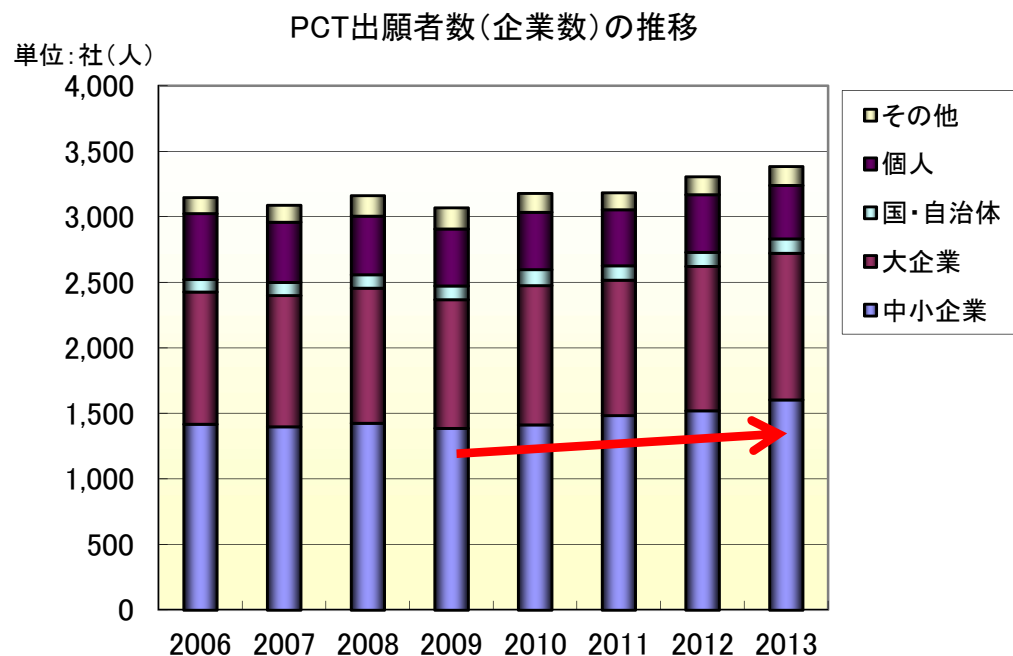


総務部普及支援課調べ

## (2) 中小企業の国際出願～PCT出願者数～

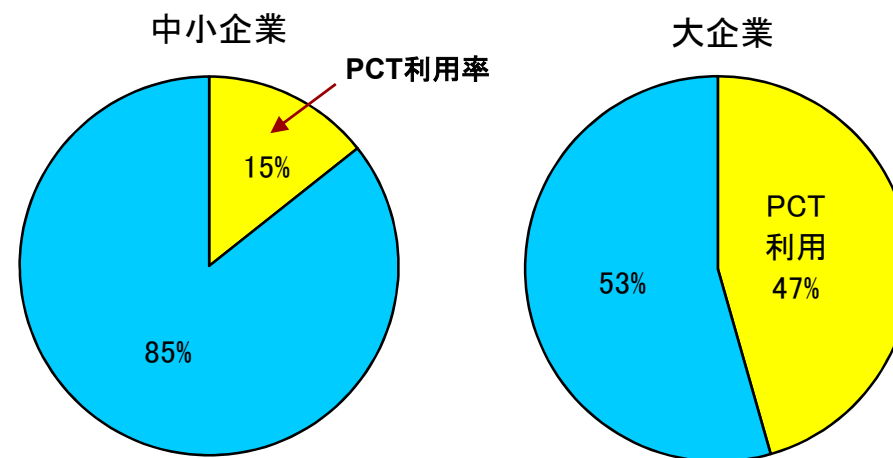
- PCT出願をした中小企業数をみると、近年増加傾向にあり、2013年是对前年度比5.5%増となり、PCT出願全体の47%を占めている。
- しかし、2013年に国内に特許出願した大企業のうち、47%の大企業がPCT出願も利用しているのに対し、中小企業においては、15%の利用に留まっている。

### 【出願者数】



総務部普及支援課調べ

### 【PCT出願利用率（2013年）】

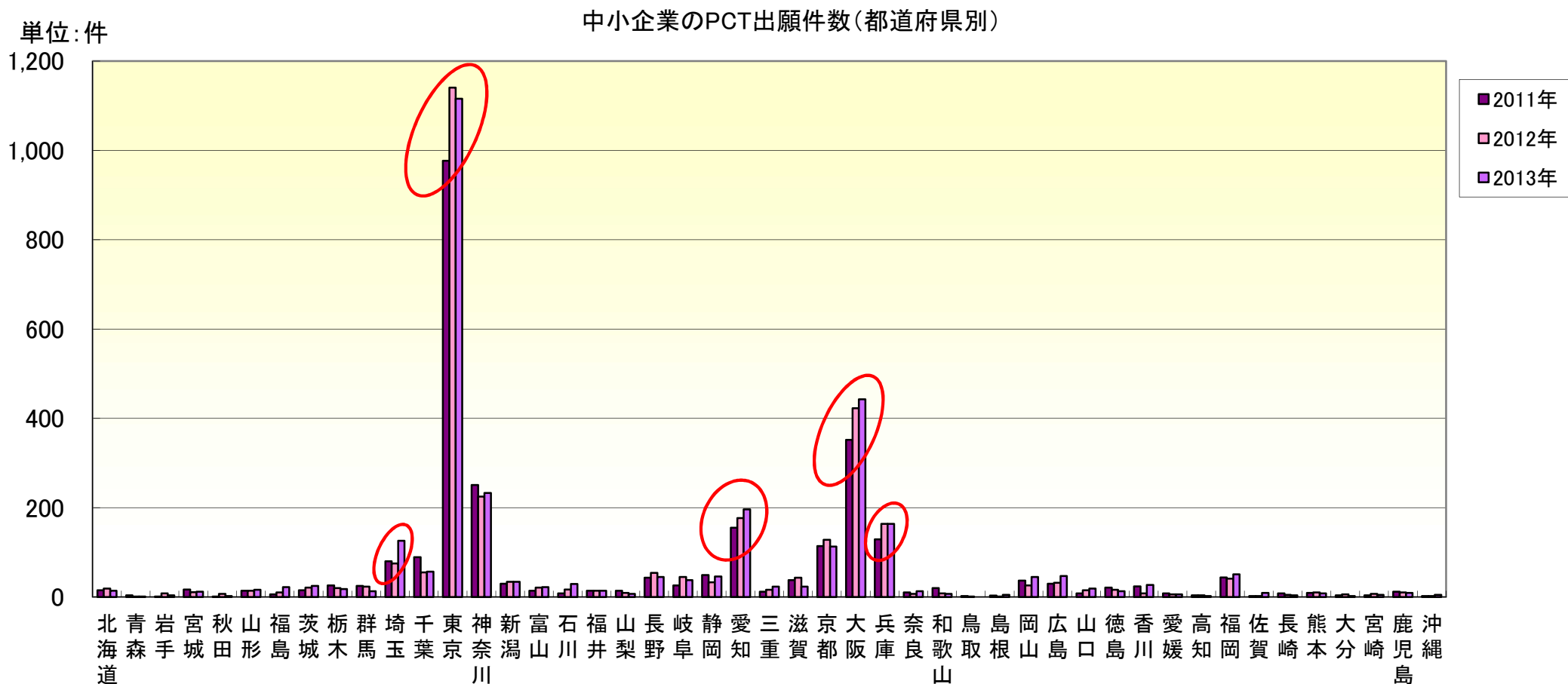


総務部普及支援課調べ

PCT出願利用率：日本国内に特許出願している企業数のうち、PCT出願をしている企業数の割合  
(PCT出願企業数／国内特許出願企業数)

### (3) 中小企業の国際出願～都道府県別PCT出願～

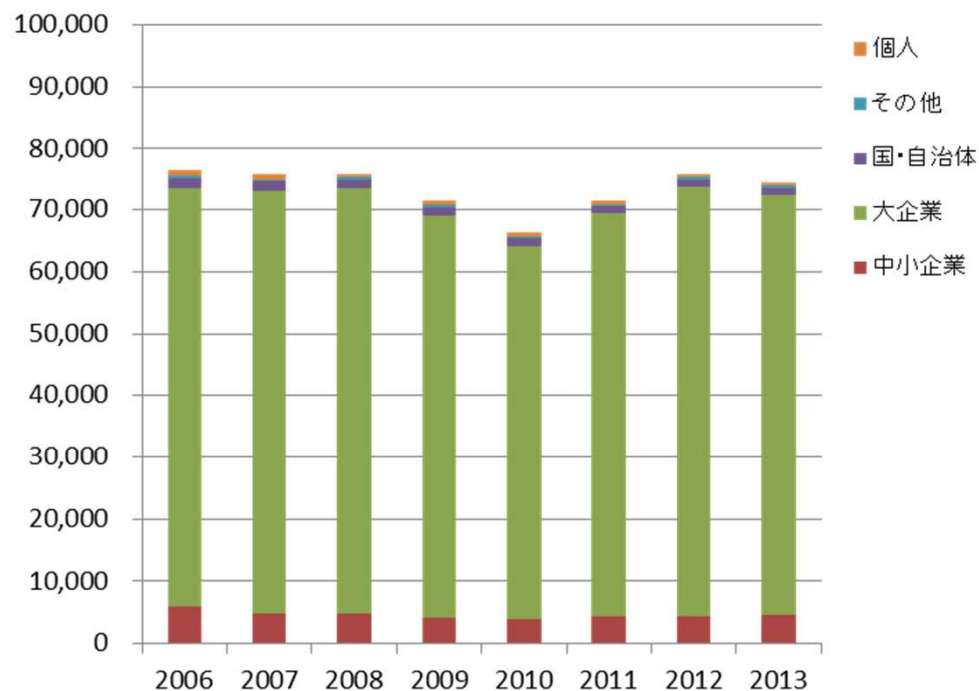
- 中小企業のPCT出願を都道府県別にみると、東京と大阪に出願が集中しており、全国の5割（2013年は49.8%）を占めている。
- 近年、大都市圏の出願が増加傾向にあり、中小企業全体の出願が増加している要因となっている。



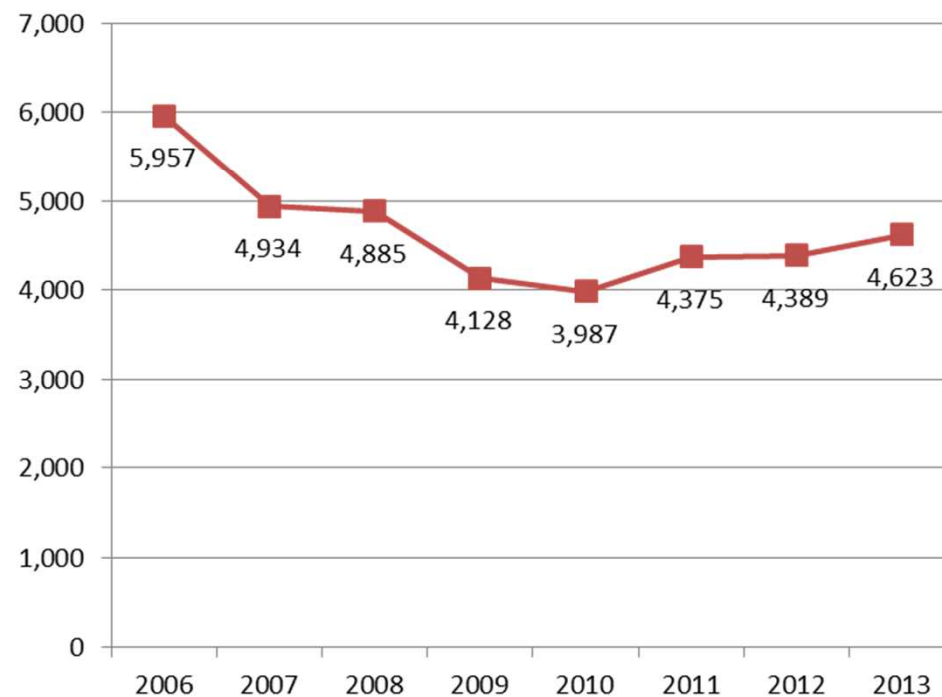
## (4) 中小企業の国際出願～パリルート特許出願～

■ 中小企業による海外特許出願は近年増加傾向にあり、PCT出願の増加に加えて、優先権主張を伴う出願（パリルート出願）も増加傾向にある。

パリルート特許出願件数



中小企業のパリルート出願推移(件数)

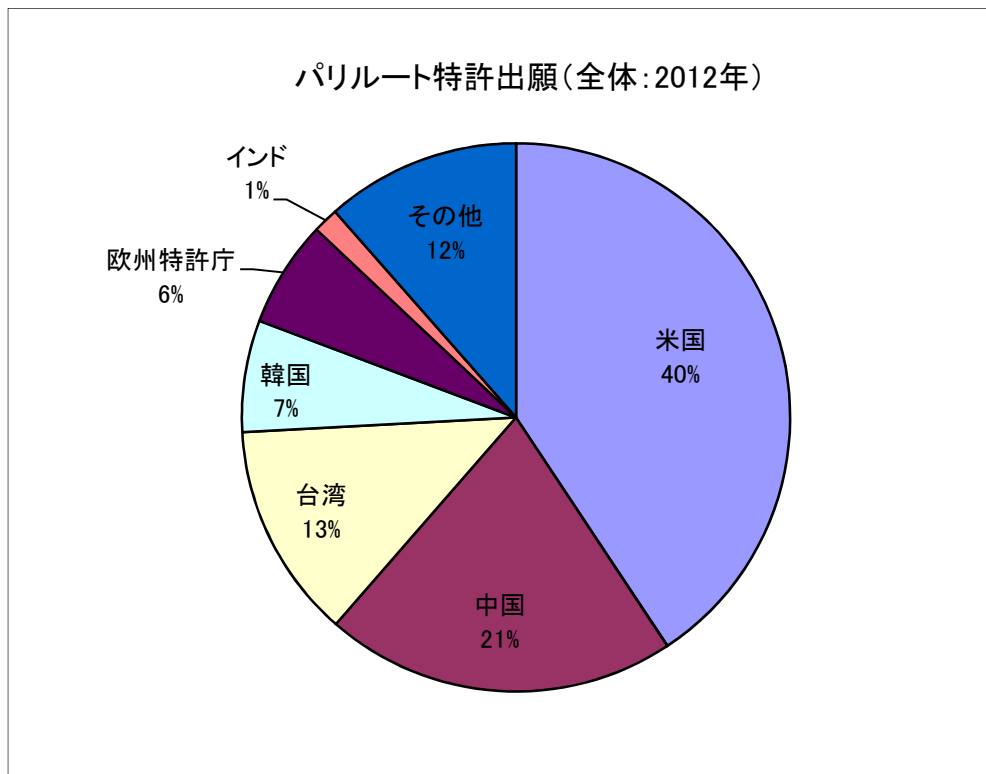


総務部普及支援課調べ（パリルート特許出願件数は、優先権証明書申請件数から推計）

## (5) 中小企業の国際出願～パリルート特許出願②～

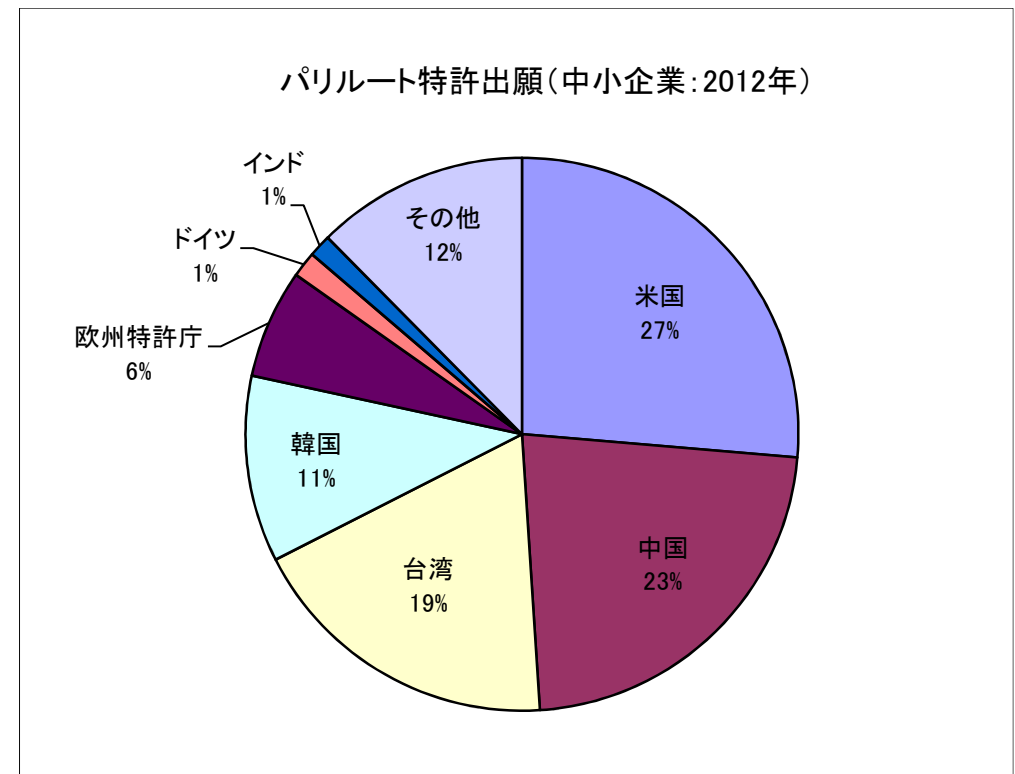
- 中小企業のパリルート特許出願は【右図】、40数ヶ国に及んでおり、中小企業においても国内出願から海外出願にシフトする傾向が強まっている（特許出願全体では約90ヶ国に出願）。
- 主な出願国は、米国、中国、台湾、韓国、欧州であり、この5ヶ国・地域で全体の86%を占めている（2012年の優先権証明書発行件数及び優先権データ交換件数から推計）。

【全体】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

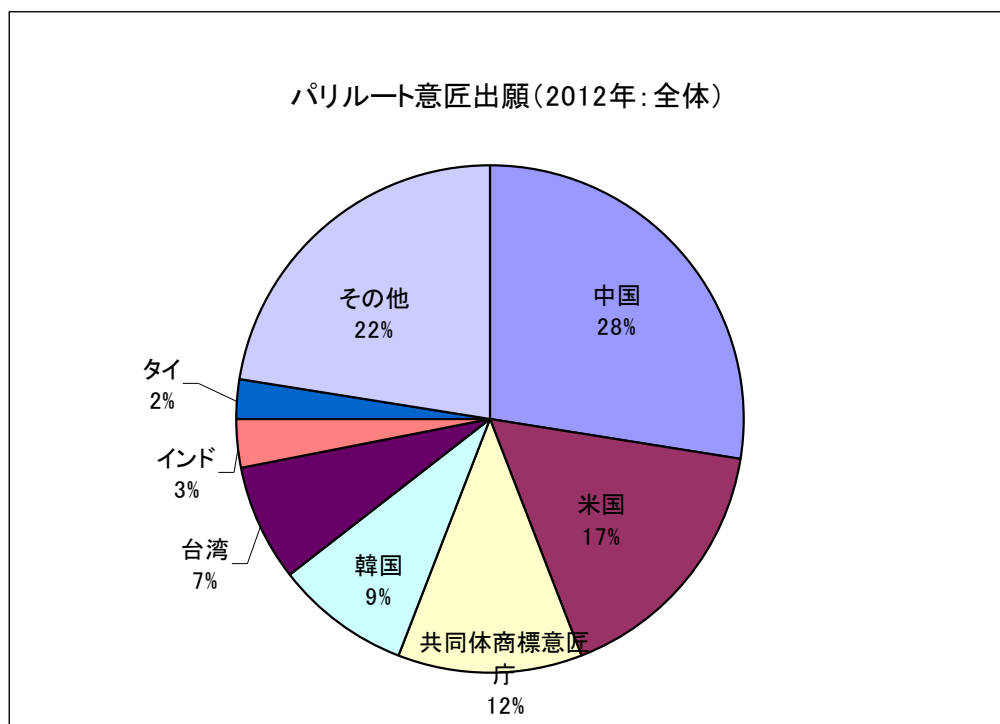


総務部普及支援課調べ

## (6) 中小企業の国際出願～パリルート意匠出願～

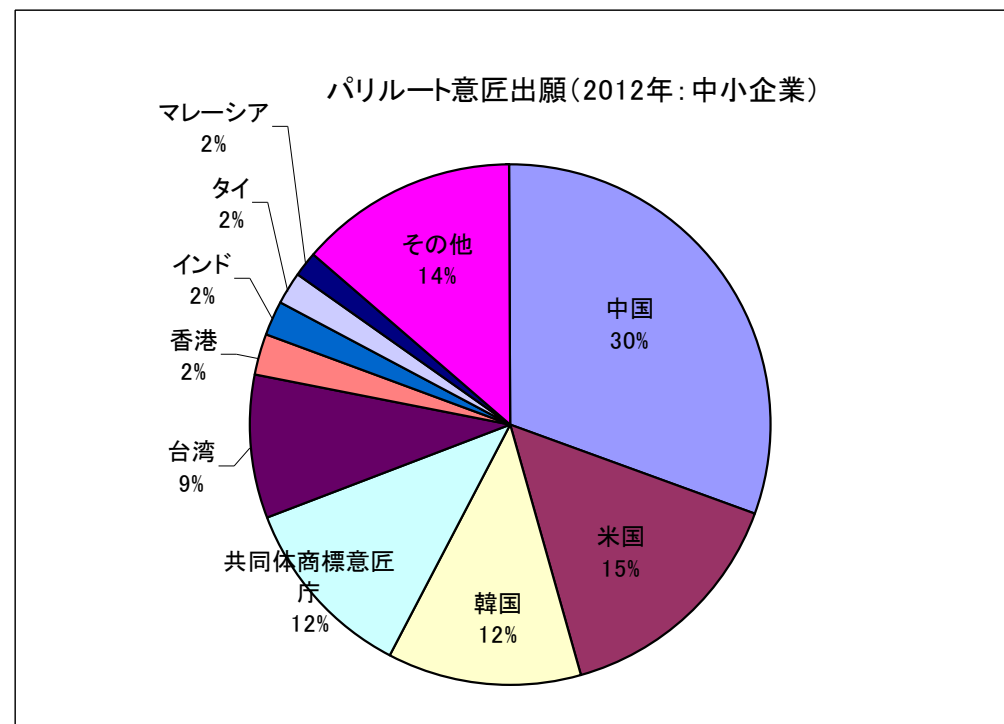
- 中小企業のパリルート意匠出願は【右図】、全体の12%と件数は少ないものの出願国は約60ヶ国に及んでおり、海外出願の傾向が高まっている（意匠出願全体では約80ヶ国に出願）。
- 主な出願国は、中国、米国、韓国、欧州、台湾であり、この5ヶ国・地域で全体の86%を占めている（2012年の優先権証明書発行件数から推計）。

【全体】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】

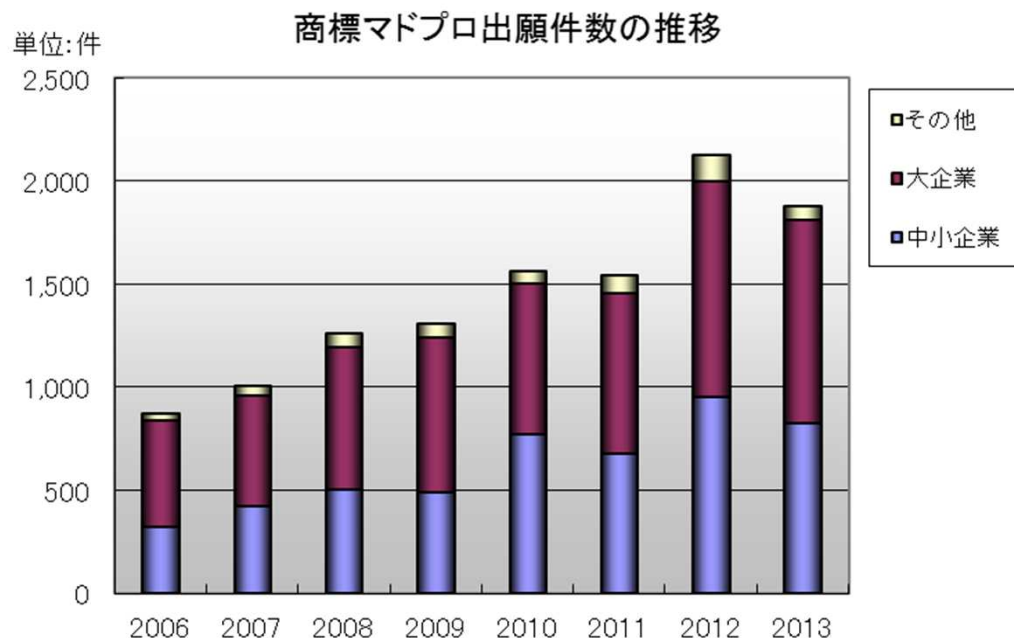


総務部普及支援課調べ

## (7) 中小企業の国際出願～商標マドプロ出願～

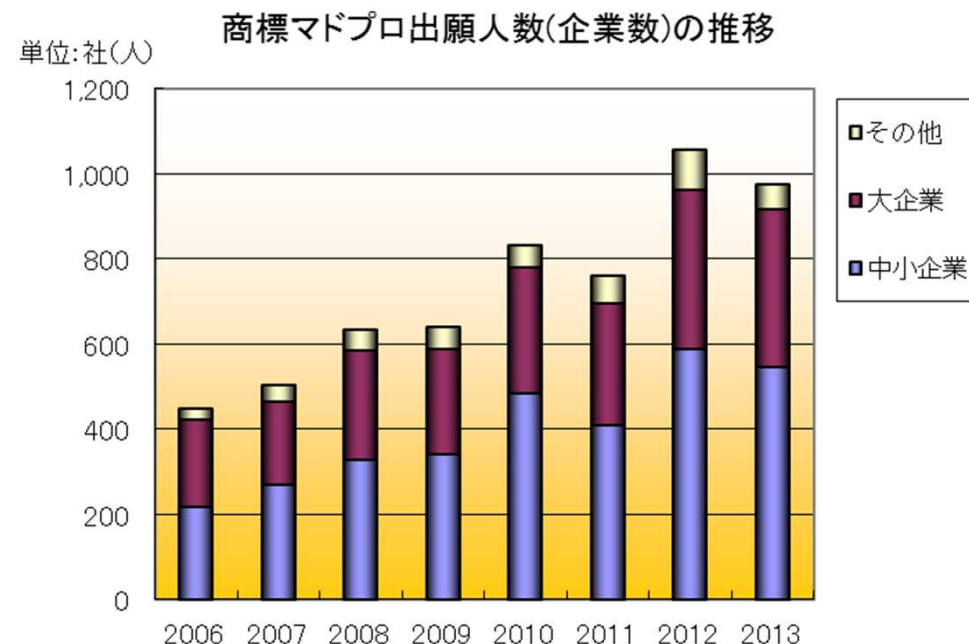
- 商標マドプロ出願は、この数年、出願件数・出願企業数ともに増加傾向にあったが、2013年は、出願件数全体で対前年比11.6%減、うち中小企業の出願は対前年比12.8%減。出願人数でみると、全体では対前年比7.8%減、うち中小企業の出願企業数は対前年比7.3%減となった（大企業の出願件数は対前年比6.3%減、企業数は0.5%減）。
- 商標マドプロ出願に占める中小企業の割合は、出願件数ベースで44%、出願企業数ベースでは56%となっている。

### 【出願件数】



総務部普及支援課調べ

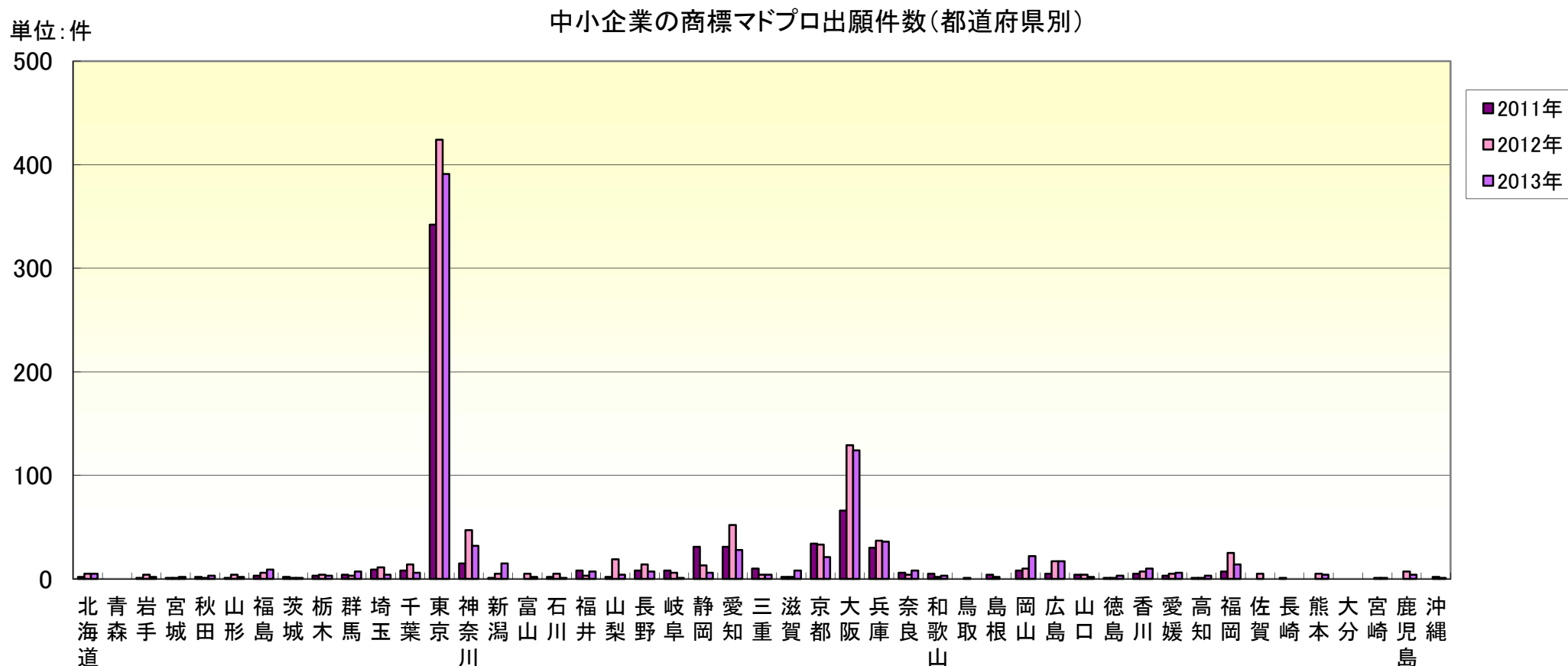
### 【出願人数】



総務部普及支援課調べ

## (8) 中小企業の国際出願～都道府県別商標マドプロ出願～

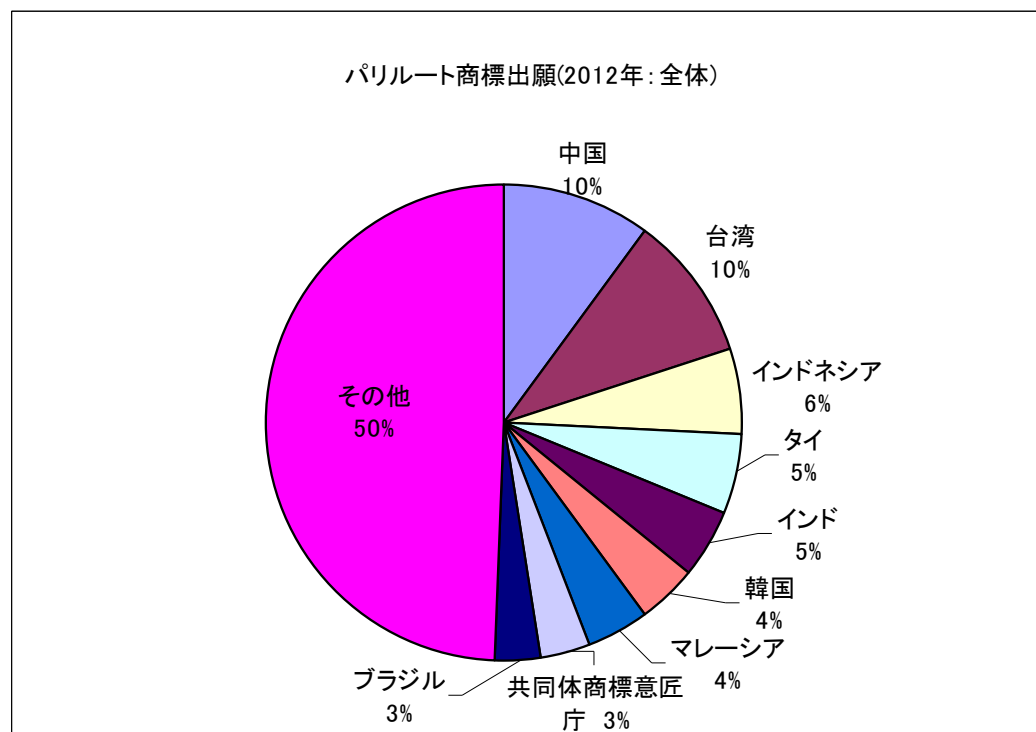
- 中小企業の商標マドプロ出願を都道府県別にみると、東京に出願が集中しており、全国の5割近くを占めている（2013年は47.2%）。
- そのため、東京の出願動向が中小企業全体の出願に影響を与えているが、近年は大阪の出願が増加傾向にあり、この2大都市で全国の6割（2013年は62.1%）となっている。



## (9) 中小企業の国際出願～パリルート商標出願～

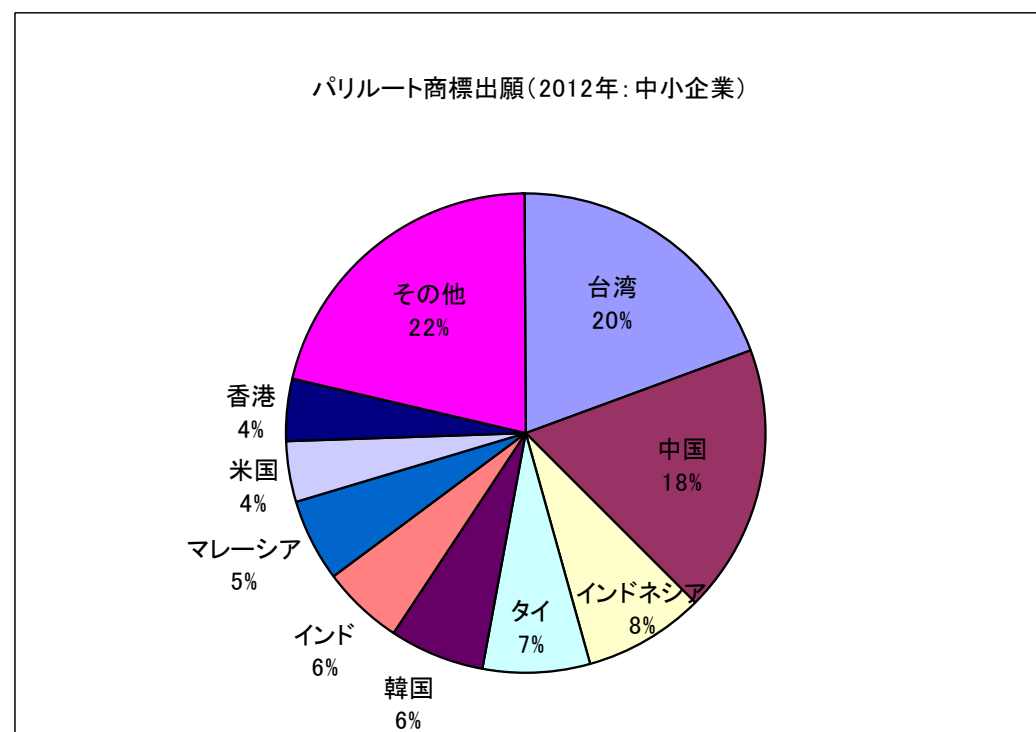
- 中小企業のパリルート商標出願は【右図】、50数ヶ国に及んでいる（商標出願全体では約150ヶ国に出願）。
- 主な出願国は、台湾、中国、インドネシア、タイ、韓国、インドであり、この6ヶ国・地域で全体の65%を占めている（2012年の優先権証明書発行件数から推計）。

【全体】



総務部普及支援課調べ

【中小企業】



総務部普及支援課調べ